

SIP4D 利活用システム

(旧名称：官民協働危機管理クラウドシステム)

セットアップマニュアル

Ver. 2.5

令和 3 年 06 月

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

改訂履歴

Ver	変更内容	改訂日
1.0	初版	H26.3.31
1.1	公共情報コモンズに関する注意事項の追記	H26.6.10
1.2	訓練モード、気象情報XMLに関する追記	H26.9.9
1.3	気象情報 XSLT 情報の設定について追記	H27.10.8
1.4	法人格名称の変更 問い合わせメールアドレスの変更	H28.8.8
2.0	セットアップマニュアル、県版セットアップマニュアルを統合し、時系列版を作成	H29.3.24
2.0	・体裁を見直し ・記載漏れ等を加筆	H29.06.29
2.0	人口インポートについて加筆	H29.07.21
2.0	1) 人口メッシュのインポートで、e-stat からデータをDLする手順追加 2) 集計リストの設定を追加 3) テーブルリセット対象属性情報を追加 4) エクセル帳票機能の設定方法を追加 エクセルファイルの作成方法 地物属性の紐づけのやりかた 集計マクロの記述方法など	H29.12.12
2.0	・自治体セットアップの章番号を変更 ・エクセル帳票の設定方法を追加 ・メニュータイプのエクセル帳票に関する説明を修正	H30.03.06
2.2	メニューテーブル情報に”ページング”項目を追加 6.1.3. に CKAN 対応を追加	H30.03.23
2.2	エクセル帳票メニューの出力レイヤ設定を追加	H30.04.03
2.2	・地図参照レイヤ情報に透過度設定を追加 ・ツールボックス情報設定を追加	H30.06.14
2.2	・投稿アプリ認証 QR 設定を追加	H30.07.17
2.2	・ページボタン ID16 のボタン名称を 再読み込み から 集計 に変更。	H30.07.20
2.3a	・ページボタン ID18 変更反映を追加 ・表「追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要」に㊟コピー先被害種別属性 ID を追加	H31.02.26
2.3b	投稿写真画面の設定を追加	R1.08.02
2.4	6.1.2.2 (3) メニューテーブル情報に”アコーディオン階層設定”等と”マルチ表示”項目を追加 A) ページボタン ID について、CSV 出力の概要を変更、旧 CSV 出力の行を追加	R2.06.30

	6.1.3.11 CKAN データ登録 にレイヤ公開設定を追記	
2.5	6.1.4.5 SIP4D アップロード設定を追記 6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定を追記	R3.6.10

－ 目 次 －

1.	はじめに	1
1.1.	SIP4D 利活用システムのセットアップ	1
2.	推奨環境	2
3.	管理画面へのログイン方法	3
3.1.	管理画面のアクセス権限について	4
4.	管理画面の基本構成	5
4.1.	トップ画面	5
4.2.	設定画面	6
4.2.1.	削除ダイアログ	7
4.2.2.	検索ダイアログ	8
5.	自治体セットアップ	9
5.1.	設定のインポート	9
5.2.	自治体グループ	9
5.2.1.	自治体グループを追加する	10
5.2.2.	自治体グループを編集する	11
5.2.3.	自治体グループの削除する	13
5.3.	ユーザ・メニュー階層の設定	13
5.4.	時系列化	14
5.5.	災害類型統合化	15
5.6.	ウィザード	16
5.6.1.	メニューの追加	16
5.7.	人口インポート	16
5.7.1.	ダウンロードページからデータをダウンロードする	18
5.7.1.1	統計データダウンロード	18
5.7.1.2	境界データダウンロード	20
5.7.2.	人口メッシュレイヤを作成する	23
6.	設定画面説明	24
6.1.	設定・管理メニュー(自治体)	24
6.1.1.	ログイン	24
6.1.1.1	班	24
(1)	班情報の編集	25
(2)	ユーザ情報	30
6.1.1.2	課	33
(1)	ユニット情報の編集	33
6.1.1.3	地方自治体情報	38
6.1.2.	システム全般	41
6.1.2.1	メニュー階層	41
(1)	メニュー設定情報の編集	42
(2)	メニュープロセス情報の編集	45
(3)	メニュータスク情報の編集	52
(4)	タスクメニュー情報	58
6.1.2.2	メニュータスク種別	63
(1)	タスク種別情報の編集	63

(2)	メニュー情報の編集	66
(3)	メニューテーブル情報の編集	83
(4)	テーブルリスト項目情報	87
(5)	属性行スタイル情報	93
(6)	ページボタン表示情報	96
(7)	地図レイヤ情報	101
(8)	地図レイヤ属性情報	107
(9)	地図KMLレイヤ情報	112
(10)	地図参照レイヤ情報	116
(11)	地図ベースレイヤ情報	120
(12)	メニュー地図情報	124
(13)	通知デフォルト情報	128
6.1.2.3	地図マスター情報	132
(1)	地図マスター情報の編集	132
(2)	テーブルマスター情報	136
(3)	テーブル演算項目情報の編集	139
(4)	テーブル演算情報	141
(5)	テーブルリセット対象属性情報	143
6.1.2.4	テンプレートメニュー	145
(1)	タスク種別情報(テンプレート)の編集	145
(2)	災害別タスク種別情報	148
(3)	タスク種別情報(テンプレートから生成)	148
6.1.3.	外部地図データ	149
6.1.3.1	クリアリングハウス事前データ情報	149
6.1.3.2	クリアリングハウス検索情報	149
6.1.3.3	メタデータデフォルト設定情報	151
6.1.3.4	クリアリングハウスデータ登録	153
6.1.3.5	集計リスト情報	156
6.1.3.6	集計リスト項目情報	158
6.1.3.7	認証情報	159
6.1.3.8	CKAN 事前データ情報	160
6.1.3.9	CKAN 検索情報	161
6.1.3.10	CKAN メタデータデフォルト設定情報	163
6.1.3.11	CKAN データ登録	164
6.1.3.1	CKAN 認証情報	166
6.1.4.	JSON 連携	167
6.1.4.1	GeoJSON 取込設定	167
6.1.4.2	GeoJSON 出力設定	168
6.1.4.3	JSON 連携 API 設定	170
6.1.4.4	JSON 連携更新対象レイヤ	171
6.1.4.5	SIP4D アップロード設定	172
6.1.4.6	SIP4D 情報種別設定	175
6.1.5.	通知	177
6.1.5.1	通知グループ情報	177
(1)	通知グループ情報の編集	178
(2)	通知グループ連絡先情報の編集	182
(3)	通知グループユーザ情報の編集	185

6.1.5.2	通知連絡先情報	188
6.1.5.3	通知テンプレート	190
(1)	通知テンプレートの編集	190
6.1.5.4	安否応答状況情報	194
6.1.5.5	アラーム	195
(1)	アラームメッセージ設定	195
(2)	アラームメッセージ設定の編集	195
6.1.6.	監視観測	199
6.1.6.1	気象情報	199
(1)	気象情報取得情報の登録	199
(2)	気象情報 XSLT 情報	201
6.1.6.2	河川情報	202
(1)	テレメータ	202
(2)	メニュー設定	204
(3)	観測地点	207
(4)	判定	217
6.1.6.3	JAlert	223
(1)	Jalert サーバ情報	223
(2)	JAlert 情報取得情報	223
6.1.7.	避難勧告・指示	225
6.1.7.1	避難勧告レイヤ	225
6.1.8.	本部設置	226
6.1.8.1	職員参集情報	226
(1)	職員参集情報の編集	226
6.1.8.2	体制区分	231
(1)	体制区分の編集	231
6.1.8.3	体制レイヤ	235
6.1.9.	広報	237
6.1.9.1	Twitter 設定	237
6.1.9.2	Facebook 設定	238
6.1.9.3	Facebook 投稿先情報	239
6.1.9.4	e コミ GW 投稿先情報	241
6.1.10.	意思決定支援	243
6.1.10.1	避難者推定	243
(1)	意思決定支援レイヤ情報の編集	243
6.1.11.	公共情報コモンズ	246
6.1.11.1	公共情報コモンズ避難勧告情報	246
6.1.11.2	公共情報コモンズ避難所情報	247
6.1.11.3	公共情報コモンズ発信先データ	249
6.1.12.	その他	250
6.1.12.1	被災項目情報	250
(1)	被災項目情報の編集	250
6.1.12.2	ランドマーク	253
(1)	目標物情報の編集	253
6.1.12.3	一括削除	255
6.1.12.4	投稿写真レイヤ	255
(1)	投稿写真レイヤの編集	255

(2)	投稿写真画面の設定	259
6.1.12.5	ツールボックス情報	260
(1)	ツールボックス情報の編集	260
6.1.12.6	投稿アプリ認証 QR 設定	262
(1)	投稿アプリ認証 QR 設定の編集	263
6.2.	設定・管理メニュー(システム)	266
6.2.1.	ログイン	266
6.2.1.1	地方自治体種別	266
6.2.1.2	地方自治体情報	266
6.2.2.	システム全般	269
6.2.2.1	メニュータイプマスタ	269
6.2.2.2	テーブル項目マスタ	269
6.2.2.3	ページボタンマスタ	269
6.2.3.	通知	269
6.2.3.1	通知種別マスタ	269
(1)	通知種別マスタの編集	269
6.2.3.2	通知テンプレート種別マスタ	271
6.2.3.3	アラーム	271
(1)	アラームタイプマスタ	271
6.2.3.4	テロップ種別マスタ	271
6.2.4.	監視観測	271
6.2.4.1	気象情報	271
(1)	気象・地震・火山情報/市区町村等コードマスタ	271
(2)	気象情報等取得種別マスタ	272
(3)	地震速報エリア情報	272
(4)	火山名マスタ	272
(5)	河川マスタ	272
(6)	河川区域マスタ	272
(7)	雨量エリアマスタ	272
6.2.4.2	河川情報	273
(1)	監視観測マスタ	273
(2)	データ判定式マスタ	273
6.2.4.3	JAlert	274
(1)	JAlert 種別マスタ	274
6.2.5.	本部設置	275
6.2.5.1	安否確認状況マスタ	275
6.2.5.2	体制マスタ	275
6.2.6.	広報	276
6.2.6.1	Twitter マスタ	276
6.2.6.2	Facebook マスタ	276
6.2.7.	意思決定支援	276
6.2.7.1	意思決定支援レイヤタイプマスタ	276
6.2.8.	多言語対応	277
6.2.8.1	言語管理	277
(1)	言語情報の編集	277
6.2.8.2	言語インポート	279
6.2.8.3	言語エクスポート	279

7. その他の設定	280
7.1. エクセル帳票	280
7.1.1. エクセル帳票機能とは	280
7.1.2. エクセル帳票の管理画面の設定方法	281
7.1.3. エクセル帳票テンプレートファイルの作成方法	282
8. e コミマップのセットアップ	286
8.1. 用語の説明	286
(1) 地物	286
(2) 項目（レイヤ）	286
(3) 属性	286
(4) 背景地図	286
(5) 主題図	286
(6) 基本地図	286
8.2. 画面構成	287
8.2.1. 地図一覧画面（e コミマップの地図一覧画面）	287
8.2.2. 管理画面（e コミマップの管理画面）	288
8.2.3. 地図画面（e コミマップの地図画面）	289
8.3. マスタマップの作成	291
8.3.1. マップの作成	291
8.3.1.1 地図一覧画面から地図を作成	291
(1) マップが新規作成される。	292
8.3.1.2 管理画面から地図を作成	293
8.3.2. マップに主題図と基本地図を追加	295
8.3.2.1 管理画面から主題図と基本地図を追加	295
8.3.2.2 地図画面から地図を追加	299
8.4. 項目（レイヤ）の作成	300
8.4.1. 地図一覧画面から項目を作成	300
8.4.1.1 管理画面から項目を作成	302
8.4.2. 地図画面から項目を作成	304
8.4.2.1 「項目の新規作成」から作成する方法	304
8.4.2.2 Shape データから項目を作成する方法	306
8.5. 属性の設定	309
8.5.1. 管理画面から属性を設定	309
8.5.2. 地図画面から属性を設定	311
8.6. 地物の登録	313
8.6.1. 一つずつ地物を登録	313
8.6.2. 一括して地物を登録	315
8.6.2.1 データの一括登録	315
8.6.2.2 位置情報の取得	317
9. 問い合わせ先	319

1. はじめに

本マニュアルは、SIP4D 利活用システムのセットアップ方法について説明をまとめたものであり、自治体の技術担当者様向けに作成されている。

本システムは『e コミマップ』をGISエンジンとして、ユーザインターフェースを構築するシステムとなっている。このためGIS情報を管理する『マスタマップ』の設定等の操作はe コミマップ管理画面から行う。

1.1. SIP4D 利活用システムのセットアップ

SIP4D 利活用システムは、「設定画面説明」にて説明した様々な設定情報を登録することで、平常時・災害時や利用者（自治体等）ごとの固有の特性（体制や部署構成、災害時の動き方等）に合致した利用者画面を構成できるようになる。

また、「e コミマップのセットアップ」にて説明したマップや地物を事前登録情報（被災想定結果（ハザードマップ）、避難所の配置及び諸元、緊急輸送道路など）として予め入力しておくことで、災害対応業務に必要な情報を一元管理することが可能であり、官民の各機関からリアルタイムで災害情報の取得を行い、状況把握と事態の推移の見通しを立てることが出来るため、発災時に迅速かつ円滑に災害対応業務を行えるようになる。

上記のように、SIP4D 利活用システムのセットアップは、柔軟に利用者画面を構成し、発災時の迅速かつ円滑な災害対応業務のために重要な作業である一方、設定する項目も多岐に渡っている。

一から設定するのではなく、ダウンロードページにある推奨設定テンプレートファイルを使って自治体をインポートし、それをベースにこの資料をもとに柔軟な設定を行うことを推奨する。自治体の作成方法については、インストールマニュアルの「5.自治体の作成」を参照のこと。

2. 推奨環境

SIP4D 利活用システムは下記のクライアント環境での使用を推奨する。

- ハードウェア
下記の OS を搭載した PC の使用を推奨する
 - Microsoft Windows 7 以降

- ソフトウェア
下記の Web ブラウザの使用を推奨する
 - Internet Explorer 11
 - MicrosoftEdge
 - Firefox
 - Google Chrome

3. 管理画面へのログイン方法

管理画面にアクセスするには「<http://サーバー名/SaigaiTask/admin/>」の URL をブラウザで開くと、下図の様なログイン画面が表示される。

ログインユーザは2種類用意されており、災害時では班でログインし、平常時では課でログインする。※システム管理者（admin）は災害時の班の方でログインする。

また、班と課には複数の個人（構成員）を登録し管理することができる。

図 3-1 ログイン画面

表 3-1 ログイン画面の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	班名	班名を入力する。	システム管理
②	パスワード入力エリア	班名に紐づくパスワードを入力する。	admin
③	言語コード	ログイン後に表示する言語を指定する。	

3.1. 管理画面のアクセス権限について

管理画面は「システム管理者」と呼ばれる SIP4D 利活用システム全体の設定管理を行うユーザのほかに、管理権限が与えられているユーザがアクセスすることができる。

システム管理者は登録されている全自治体の設定の確認および変更を行うことができる。また、SIP4D 利活用システムの基幹となるシステム設定(各種マスタ情報)を行うことができる。

管理権限が与えられたユーザは、そのユーザが属している自治体に関する情報の設定および確認を行うことはできるが、システム設定は行うことができない。また、管理画面にログイン時、システム設定に関する項目が表示されないようになっている。

管理権限が与えられてないユーザは、管理画面にログインを行う際、権限がない旨が表示され、管理画面にアクセスすることができない。

以下に権限毎の操作概要を示す。

表 3-2 権限毎の操作概要

操作	概要	権限		
		システム管理者	管理権限を持つユーザ	その他
自治体設定	自治体ごとのユーザ管理や各種設定、表示項目等の設定を行う	○	○ ※1	×
システム設定	各種マスタ設定を行う	○	×	×

※1 ただし、ユーザが属している自治体のみ設定の確認、変更が可能

4. 管理画面の基本構成

4.1. トップ画面

管理画面の基本構成を下図に示す。



図 4-1 トップ画面

表 4-1 トップ画面の各名称及び概要

番号	名称	概要
①	ヘッダーエリア	「ログインユーザ名」「e コミマップへのリンク」が表示される。「ログインユーザ名」にカーソルを当てるとログアウトボタンが表示され、ログアウトボタンを押下するとログイン画面に遷移する。「e コミマップへのリンク」を選択すると e コミマップサイトへ画面が遷移する。
②	メニューエリア	選択したメニューに対する情報を一覧で表示する。
③	情報グリッド表示 エリア	選択したメニューの設定画面を表示する。

4.2. 設定画面

設定・管理メニューの一覧よりメニュー項目を選択した時に表示される設定画面を下図に示す。

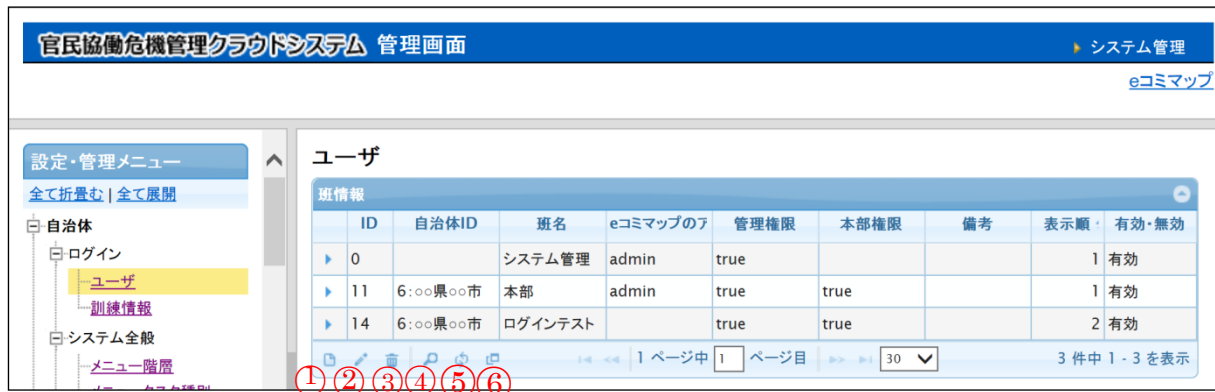


図 4-2 設定画面

表 4-2 設定画面の各名称と概要

番号	名称	概要
①	登録	詳細項目を登録するための詳細入力ダイアログが表示される。
②	編集	登録済み詳細項目を編集するための詳細入力ダイアログが表示される。
③	削除	登録済み詳細項目を削除するための確認ダイアログが表示される。
④	検索	検索ダイアログが表示される。
⑤	更新	データの再読み込みを行う。
⑥	コピー	登録済み詳細項目の情報をコピーし、それをもとに新たにデータを作成する。

編集ボタン押下時に表示されるダイアログについて、複数情報が登録されているとき、右矢印または、左矢印にて選択状態を移動させることができる。

4.2.1. 削除ダイアログ

設定画面より削除を行いたい対象の情報を指定し、削除ボタン押下時に下図のダイアログが表示される。但し、対象とする情報によってダイアログの名称は異なる。表示されたダイアログの削除ボタン押下時に指定された情報の削除を行う。

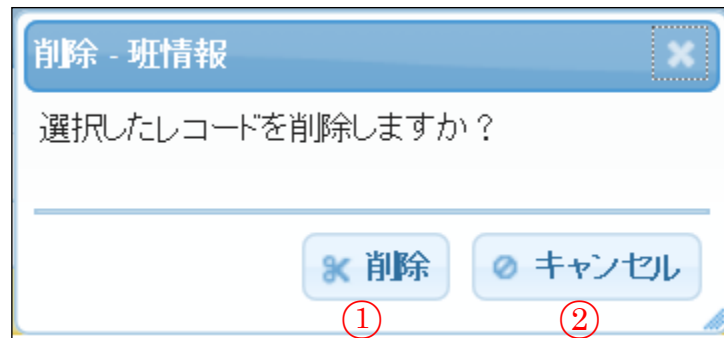


図 4-3 削除ダイアログ

表 4-3 削除ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要
①	削除	開かれているダイアログが閉じ、対象の情報が削除される。
②	キャンセル	開かれているダイアログが閉じ、削除処理が取り消される。

4.2.2. 検索ダイアログ

設定画面の検索ボタン押下時に下図のダイアログが表示される。指定された列名を対象にキーワード検索を行い、検索条件に一致する情報を表示させる。

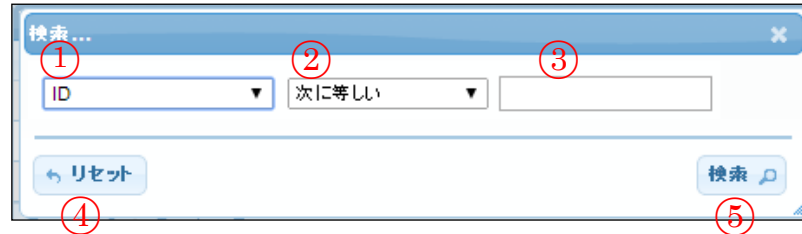


図 4-4 検索ダイアログ

表 4-4 検索ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	検索対象の列名	検索対象とする列をドロップダウンリストから指定する。	自治体 ID
②	検索条件	検索条件をドロップダウンリストから指定する。	次に等しい
③	キーワード入力エリア	検索を行うキーワードを入力する。	〇〇県〇〇市
④	リセット	入力項目、選択項目を初期状態に戻す。また、検索が行われている場合、表示されているリストを初期状態に戻す。	
⑤	検索	検索を実行する。検索結果が設定画面の検索ボタンが押下された階層の一覧に反映される。	

5. 自治体セットアップ

自治体セットアップとは時系列化・災害類型統合など自治体全体に関係する機能や、管理画面の設定を補助するためのツールなどを総称して自治体セットアップと呼ぶ。

メニューエリアにある自治体セットアップのリンクを開くと、自治体セットアップにアクセスできる。



5.1. 設定のインポート

自治体を作成する。自治体の作成方法については、インストールマニュアルの「5.自治体の作成」を参照。

自治体作成画面の、「設定のインポート」で、防災科学技術研究所より配布の推奨設定ファイルを設定テンプレートで選択する。

設定のインポート	
インポート方法	☒ インポートしない ☐ 自治体設定とマスタマップのインポート ☐ 自治体設定とマスタマップのインポートと、システムマスタの入れ替え ※システムマスタの入れ替えは、すでに存在する自治体のデータも消去されます。
パスワード	 インポートで作成される『班』と『課』に対してパスワードを初期設定します。
eコミマップユーザアカウント	 インポートで作成される『班』と『課』に対してeコミマップユーザアカウントを初期設定します。
設定テンプレート	アップロード アップロード済みの設定テンプレート システムバージョン:2.0 ファイルを選択 選択されていません
マスタマップの復元先	☒ 新規作成 ☐ 選択 サイト名称:

5.2. 自治体グループ

自治体グループを作成する。自治体グループを作成すると、グループ内で災害情報の管理、訓練の実施、メッセージ機能による情報のやり取りを実施することができる。

親の自治体が削除された場合、グループは削除される。子の自治体が削除された場合、その自治体グループの所属が解除される。

自治体グループ一覧

自治体グループID	10
自治体グループ名	テストグループ
親組織	15: 開発用
子組織	16: 開発用
表示順	60
有効・無効	有効

自治体グループID	12
自治体グループ名	テストグループ 1 6
親組織	16: 開発用
子組織	15: 開発用 13: 00
表示順	80
有効・無効	有効

編集

削除

グループの追加

図 5-1 自治体グループ一覧

5.2.1. 自治体グループを追加する

「グループの追加」ボタンをクリックすると自治体グループ登録画面に遷移する。
こちらの画面では、自分を親組織とした自治体グループを追加する。
自治体グループ情報を入力後、「保存」ボタンをクリックして登録する。

自治体グループ登録画面

自治体グループ名

親組織

8: test市 ▼

子組織

子組織	表示順
0: 未指定 ▼	10

子組織を追加

※子組織から削除する場合は未指定を選択してください。

表示順

30

有効・無効

☒有効 ☐無効

保存

図 5-2 自治体グループ登録画面

5.2.2. 自治体グループを編集する

自分が親のグループが存在する場合、自治体グループ一覧に「編集」ボタンが表示される。

自治体グループ一覧	
自治体グループID	10
自治体グループ名	テストグループ
親組織	15: 開発用
子組織	16: 開発用
表示順	60
有効・無効	有効
自治体グループID	12
自治体グループ名	テストグループ 1 6
親組織	16: 開発用
子組織	15: 開発用 13: 00
表示順	80
有効・無効	有効
編集 削除	

「編集」ボタンをクリックすると、自治体グループ編集画面に遷移する。
自治体グループ情報を入力後、「保存」ボタンをクリックして登録する。

自治体グループ編集画面								
自治体グループID	12							
自治体グループ名	テストグループ 1 6							
親組織	16: 開発用 ▼							
子組織	<table border="1"> <thead> <tr> <th>子組織</th> <th>表示順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15: 開発用 ▼</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>13: 00 ▼</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	子組織	表示順	15: 開発用 ▼	10	13: 00 ▼	20	子組織を追加
子組織	表示順							
15: 開発用 ▼	10							
13: 00 ▼	20							
※子組織から削除する場合は未指定を選択してください。								
表示順	80							
有効・無効	☒ 有効 ☐ 無効							

5.2.3. 自治体グループの削除する

自分が親のグループが存在する場合、自治体グループ一覧に「削除」ボタンが表示される。「削除」ボタンをクリックすると、自治体グループが削除される。

自治体グループ一覧	
自治体グループID	10
自治体グループ名	テストグループ
親組織	15: 開発用
子組織	16: 開発用
表示順	60
有効・無効	有効
自治体グループID	12
自治体グループ名	テストグループ 1 6
親組織	16: 開発用
子組織	15: 開発用 13: 00
表示順	80
有効・無効	有効
編集 削除	

5.3. ユーザ・メニュー階層の設定

自治体をインストールすると、ユーザ・メニュー階層を利用することが出来る。

ユーザごとに、メニューの階層、メニューの順番、表示秘法を指定することが出来る。表示するメニューにはチェックボックスを入力し、表示順を入力する。削除する場合は、チェックボックスを外し、「保存」ボタンをクリックして登録する。

自治体情報

ユーザ・メニュー階層

時系列化

災害類型統合化

ウィザード

人口インポート

ログインユーザの管理とメニュー階層の設定

利用するメニューにチェックと表示順をいれてください。

タスク	サブタスク	メニュー	本部	総務担当	広報担当	消防本部	避難所担当	保健担当	道路担当	港
1.監視・観測	A.監視・観測情報	①監視・観測情報（一元表示）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		②監視カメラ情報	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		③テレメータ潮位情報	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		④テレメータ水位情報	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		⑤テレメータ雨量情報	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		⑥ダム放流情報	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

5. 4. 時系列化

マップ・レイヤーを時系列変換する。マップ一覧の時系列レイヤ変換にはマスターマップレイヤに未変換のレイヤがあれば未変換と表示される。

自治体情報

ユーザ・メニュー階層

時系列化

災害類型統合化

ウィザード

人口インポート

時系列化

すべてのマップ・レイヤーを時系列変換します。
時系列レイヤに変換していないレイヤがあります。時系列化を行ってください。

マップ一覧

種別	地図タイトル	時系列レイヤ変換
マスターマップ	愛知マスターマップ	未変換
訓練マップ	【訓練】訓練	未変換

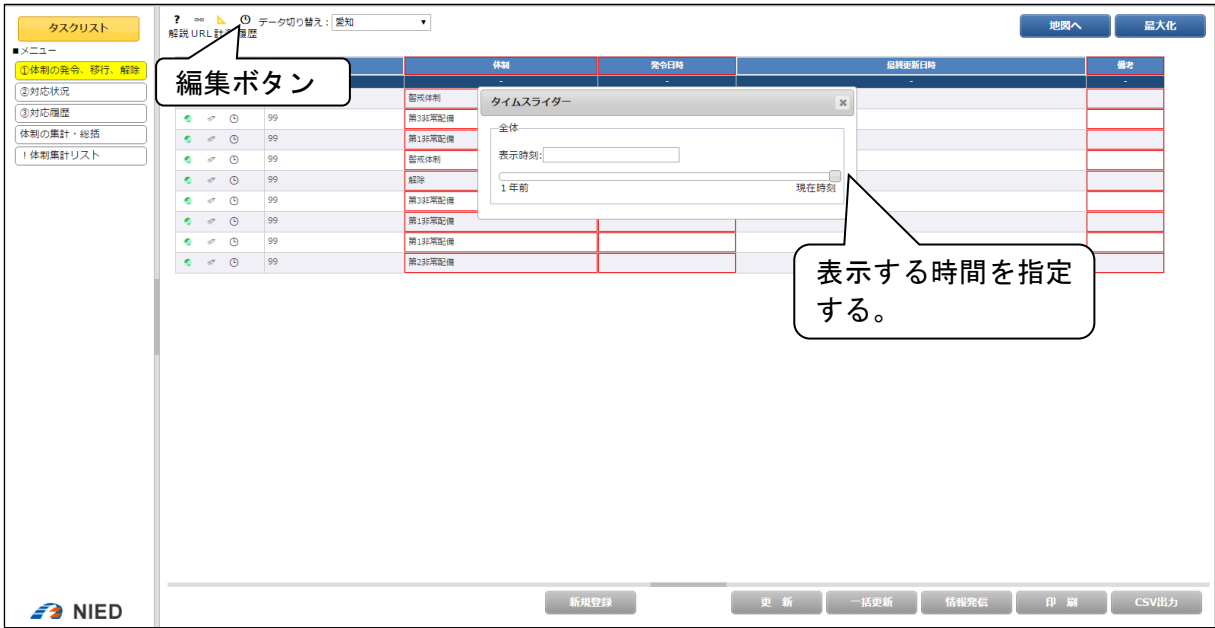
マスターマップレイヤー一覧

種別	レイヤID	レイヤ名称	時系列レイヤ変換
レイヤ情報	c1	駅	変換済み
レイヤ情報	c2	入山規制ポイント	変換済み
レイヤ情報	c3	土砂災害警戒情報	変換済み
レイヤ情報	c4	みなし避難所	変換済み
レイヤ情報	c5	協定業者	変換済み
レイヤ情報	c6	実火山災害（火口）状況	変換済み
レイヤ情報	c7	火山災害（火口）想定結果	変換済み
レイヤ情報	c8	テレメータ（水位計）	変換済み
レイヤ情報	c9	ダム放流情報	変換済み
レイヤ情報	c10	警察	変換済み
レイヤ情報	c11	体制	変換済み
レイヤ情報	c12	消防	変換済み
レイヤ情報	c13	病院	変換済み
レイヤ情報	c14	避難者名簿	変換済み
レイヤ情報	c15	福祉避難所避難者名簿	変換済み
レイヤ情報	c16	職員	変換済み
レイヤ情報	c17	防災ヘリポート	変換済み
レイヤ情報	c18	土石流センサー	変換済み
レイヤ情報	c19	空港	変換済み
レイヤ情報	c20	港湾	変換済み
レイヤ情報	c21	公園	変換済み
レイヤ情報	c22	サンクトピランド	変換済み
レイヤ情報	c23		変換済み
レイヤ情報	c24		変換済み
レイヤ情報	c25		変換済み

時系列変換することで、利用者画面に履歴ボタンが表示され、タイムスライダーによってレイヤの履歴を確認することができる。なお、履歴表示時には、情報の更新が制御され

14

る。



5.5. 災害類型統合化

システム Ver.2.0 前では地震・津波災害、地震災害、水土砂災害、火山災害の災害類型によってシステムが分かれていたが、システム Ver.2.0 で災害類型が統合化され、一つのシステムで複数の災害を扱うことができる。

保存ボタンを押すと災害類型が統合化される。

ログインユーザの管理とメニュー階層の設定																
すでに災害類型統合化済です。																
タスク	サブタスク	メニュー	本部	総務担当	広報担当	消防本部	避難所担当	保健担当	道路担当	河川担当	商工担当	施設担当	民政担当	上位機関	管理者	
1.監視・観測	A.監視・観測情報 (一元表示)	①監視・観測情報	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		②監視カメラ情報	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		③テレメータ潮位情報	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		④テレメータ水位情報	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		⑤テレメータ雨量情報	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		⑥ダム放流情報	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
2.本部設置	A.体制発令	①体制の発令、移行、解除	1													1
		②対応状況	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		③対応履歴	3													3
		体制の集計・総括	4													
		！体制集計リスト	5													
	B.庁舎の被災状況確認	①建物の被災状況確認	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1
		②ライフラインの被災と復旧見込	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			2
		③代替地点への移行	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			3

5.6. ウィザード

テンプレートなタスク、サブタスク、メニューを設置することができる。(テンプレートについては 6.1.2.4 を参照すること。)

5.6.1. メニューの追加

本機能から追加したメニューは「追加情報」タブの下に作成される。ウィザード機能を使用するごとに、サブタスクが追加される。なお、ウィザード機能から設置されたタスク、サブタスク、メニューは災害に紐づいているため、災害を終了すると削除される。

The screenshot shows a dialog box titled 'メニューウィザード' (Menu Wizard). It contains the following elements:

- A dropdown menu with the text 'メニューを追加する災害を選択して下さい' (Please select the disaster to add the menu to). The selected option is '73: 大雪警報(2019/02/18発表)'.
- A text input field with the label '追加情報タブに追加するメニューの名称を設定して下さい。' (Please set the name of the menu to be added to the Additional Information tab). The label '名称:' is to the left of the input field.
- Two buttons at the bottom right: '追加' (Add) and '中止' (Cancel).

Callouts explain the fields:

- A callout pointing to the dropdown menu says: 'メニューを追加する災害を選択する' (Select the disaster to add the menu to).
- A callout pointing to the text input field says: '追加するメニューの名称を入力する' (Enter the name of the menu to be added).
- A callout pointing to the '追加' button says: '追加情報タブにメニューを追加する' (Add the menu to the Additional Information tab).

5.7. 人口インポート

地図画面の距離、面積の計測で人口と世帯数を表示するためのデータをインポートする。計測機能については「ユーザマニュアル 2.4.3.4 距離、面積の計測」を参照する。

統計テキストデータ、境界 Shape データをアップロードすると、人口メッシュレイヤが自動で作られる。

人口インポートツール

[ダウンロードページへ](#)

レイヤID: ※ 空欄の場合は新規にレイヤを作成します

統計テキストデータ

選択されていません

境界Shapeデータ (ZIP形式)

選択されていません

送信

統計テキストデータ、境界 Shape データをダウンロードするページへ移動する。

人口メッシュレイヤを作成する。

図 5-3 人口インポート

5.7.1. ダウンロードページからデータをダウンロードする

ダウンロードページからデータをダウンロードする方法を説明する。

人口と世帯数の計算には 500m メッシュを用いること。(250mメッシュ、1km メッシュは対象外)

また、2010 年の国勢調査のみ動作確認しており、2015 年の国勢調査ではデータ項目が変更されているためアップロードできないことに注意すること。

5.7.1.1 統計データダウンロード

ダウンロードページを開き、「統計データダウンロード」を選択する。

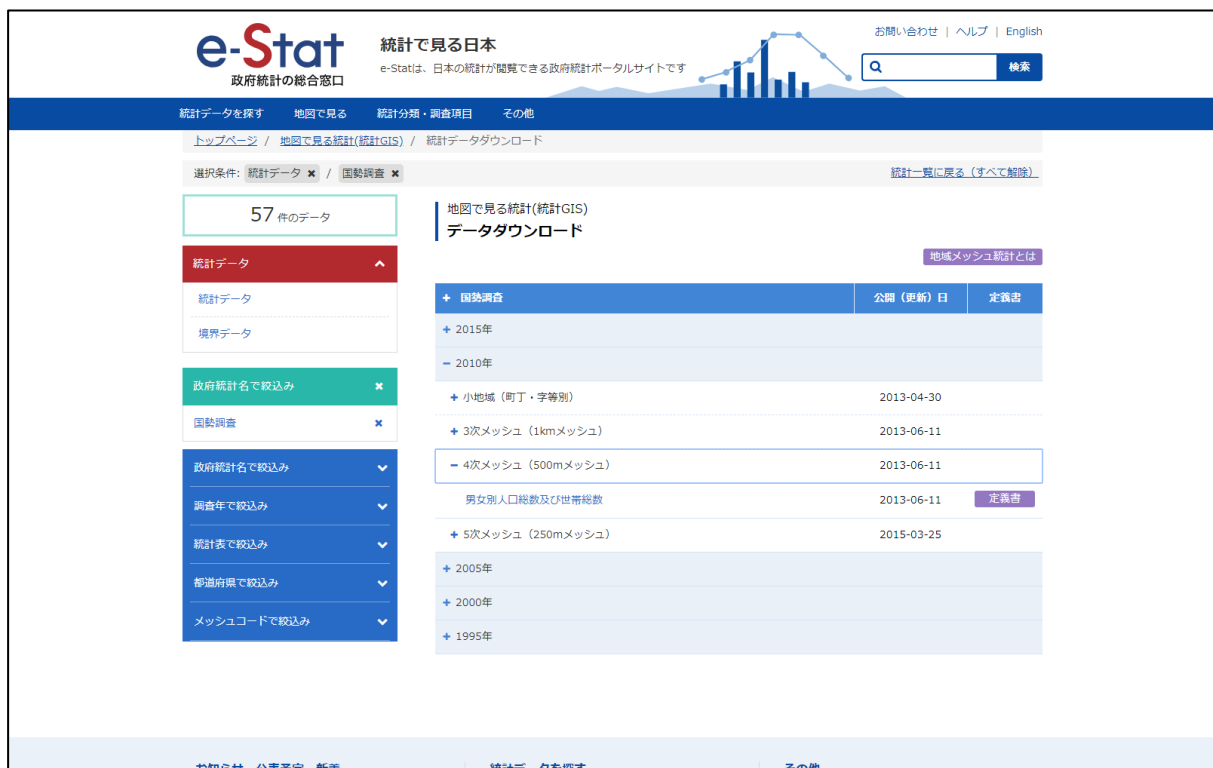


The screenshot shows the e-Stat website interface. At the top, there's a header with the e-Stat logo, the text '統計で見る日本' (Statistics by Map Japan), and a search bar. Below the header, there's a navigation bar with links like '統計データを探す' (Find Statistics Data), '地図で見る' (View by Map), '統計分類・調査項目' (Statistics Classification/Investigation Items), and 'その他' (Others). The main content area is titled '地図で見る統計(統計GIS)' (Statistics by Map (GIS)). It contains a description of the GIS system, a notice about the 2019 school census, and links to 'Statistics by Map (JSTAT MAP)', 'Statistics Data Download', and 'Boundary Data Download'.

政府統計名のリストから「国勢調査」を選択する。



2010 年の 4 次メッシュのみ対応しているため国勢調査のリストから「2010 年」->「4 次メッシュ(500m メッシュ)」->「男女別人口総数及び世帯総数」を選択する。



対象地域の「CSV」をクリックし、統計データをダウンロードする。

The screenshot shows the e-Stat website interface. The top navigation bar includes '統計データを探す', '地図で見る', '統計分類・調査項目', and 'その他'. The main content area is titled '地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード'. It features a sidebar on the left with filters for '統計データ' (151 items), '統計データ', and '境界データ'. The main table lists various census data items, including '男女別人口総数及び世帯総数' for different regions and years. The table has columns for '統計表', '地域', '公開(更新)日', and '形式' (CSV). The page number '1/8ページ' is displayed at the bottom right.

5.7.1.2 境界データダウンロード

ダウンロードページを開き、「境界データダウンロード」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface for 'Boundary Data Download'. The top navigation bar is the same as the previous page. The main content area is titled '地図で見る統計(統計GIS)'. It includes a description of the system and a list of available data. The page is divided into sections for '地図で見る統計 (jSTAT MAP)' and '統計データダウンロード'. The '統計データダウンロード' section includes a description of the data and a link to '境界データダウンロード'. The '境界データダウンロード' section includes a description of the data and a link to '境界データダウンロード'.

「4次メッシュ(500mメッシュ)」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface. At the top, there's a header with the e-Stat logo and navigation links. Below the header, there's a main navigation bar with options like '統計データを探す', '地図で見る', '統計分類・調査項目', and 'その他'. The main content area is divided into sections. On the left, there's a sidebar with '4件のデータ' and a list of data types: '境界データ', '統計データ', and '境界データ'. The main content area has a title '地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード' and a list of data types: '境界一覧', '小地域', '3次メッシュ (1kmメッシュ)', '4次メッシュ (500mメッシュ)', and '5次メッシュ (250mメッシュ)'. At the bottom, there's a footer with three columns: 'お知らせ・公表予定・新着', '統計データを探す', and 'その他'.

データ形式一覧から「世界測地系緯度経度・Shape 形式」を選択する。

The screenshot shows the e-Stat website interface with the 'Data Format List' section selected. The sidebar on the left now shows '5件のデータ' and a list of data types: '境界データ', '統計データ', and '境界データ'. The main content area has a title '地図で見る統計(統計GIS) データダウンロード' and a list of data types: 'データ形式一覧', '世界測地系緯度経度・Shape形式', '世界測地系緯度経度・KML形式', '世界測地系緯度経度・GML形式', '世界測地系平面直角座標系・Shape形式', and '世界測地系平面直角座標系・GML形式'. At the bottom, there's a footer with three columns: 'お知らせ・公表予定・新着', '統計データを探す', and 'その他'.

対象地域の「世界測地系緯度経度・Shape 形式」をクリックし、統計データをダウンロードする。



統計で見る日本
e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです

お問い合わせ | ヘルプ | English

検索

[統計データを探す](#)
[地図で見る](#)
[統計分類・調査項目](#)
[その他](#)

[トップページ](#) /
 [地図で見る統計\(統計GIS\)](#) /
 [境界データダウンロード](#)

選択条件: [境界データ](#) /
 [4次メッシュ \(500mメッシュ\)](#) /
 [世界測地系緯度経度・Shape形式](#)
[境界一覧に戻る \(すべて解除\)](#)

175 件のデータ

[境界データ](#)

[統計データ](#)

[境界データ](#)

[境界一覧で絞り込み](#)

[4次メッシュ \(500mメッシュ\)](#)

[データの形式で絞り込み](#)

[世界測地系緯度経度・Shape形式](#)

[境界一覧で絞り込み](#)

[データの形式で絞り込み](#)

地図で見る統計(統計GIS)
データダウンロード

[1次メッシュ情報](#)
[定義書](#)

<< < 1 2 3 4 5 > >>

1/9ページ

地域*	公開(更新)日*	形式
M3036	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3622	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3623	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3624	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3631	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3641	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3653	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3724	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3725	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3741	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式
M3823	2010-12-08	世界測地系緯度経度・Shape形式

5.7.2. 人口メッシュレイヤを作成する

レイヤを自動で新規作成する場合は、人口インポートツールのレイヤ ID は空欄にしておくこと。レイヤ ID を入力した場合はそのレイヤに地物の追加を行う。

「ダウンロードページからデータをダウンロードする」でダウンロードした統計データを解凍したものをアップロードし、境界データは ZIP 形式のままアップロードし、「送信」をクリックする。

The screenshot shows the '人口インポートツール' (Population Import Tool) interface. It includes a 'レイヤID' (Layer ID) input field, a '統計テキストデータ' (Statistical Text Data) section with a 'ファイルを選択' (Select File) button, and a '境界Shapeデータ (ZIP形式)' (Boundary Shape Data (ZIP format)) section with a 'ファイルを選択' (Select File) button. A '送信' (Send) button is at the bottom. Four numbered callouts provide instructions:

- ①レイヤ ID を入力する。
- ②統計テキストデータ(txt ファイル)をアップロードする。
- ③境界 Shape データ(zip ファイル)をアップロードする。
- ④人口メッシュレイヤを作成する。

図 5-4 人口メッシュレイヤの作成

6. 設定画面説明

6.1. 設定・管理メニュー(自治体)

設定・管理メニュー(自治体)は、システム管理者及び、管理権限が与えられたユーザが設定を行うことができる。以下に、各メニューでの基本操作について説明する。

6.1.1. ログイン

本項では、ユーザの追加、編集、削除、権限変更を行う「ユーザ」画面について説明する。

6.1.1.1 班

自治体>ログイン>班を選択すると下図のような画面が表示される。班情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。この画面では、SIP4D 利活用システムにアクセスするユーザの追加、編集、削除、権限変更等の設定を行うことができる。

設定・管理メニュー		班													
全て折畳む 全て展開		班情報													
自治体		ID	自治体ID	班名	eコマツ	管理権限	本部権限	ホーム (Wi)	解像度 (デ)	班名カナ(ニ)	電話番号(ニ)	FAX番号(ニ)	EメールA	住所(コモ)	ドメイン(ニ)
ログイン		0	0 : 0	admin		true	false		指定なし						
班		1	1 : 愛知	本部	admin	true	true		指定なし						
班		2	1 : 愛知	総務担当	admin	false	false		指定なし						
班		3	1 : 愛知	広報担当	admin	false	false		指定なし						
班		4	1 : 愛知	消防本部	admin	false	false		指定なし						
班		5	1 : 愛知	遊園所担当	admin	false	false		指定なし						
班		6	1 : 愛知	保健担当	admin	false	false		指定なし						
班		7	1 : 愛知	道路担当	admin	false	false		指定なし						
班		8	1 : 愛知	河川担当	admin	false	false		指定なし						
班		9	1 : 愛知	農工担当	admin	false	false		指定なし						
班		10	1 : 愛知	施設担当	admin	false	false		指定なし						
班		11	1 : 愛知	民生担当	admin	false	false		指定なし						
班		12	1 : 愛知	上位機関	admin	false	false		指定なし						
班		13	1 : 愛知	管理者	admin	true	true		指定なし						
システム		14件中 1 - 14 を表示													

図 6-1 班画面

(1) 班情報の編集

SIP4D 利活用システムでは、ユーザは「本部」「総務担当」等の部署名で登録され、このユーザのことを「班」として管理している。以下ではこの班情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 班情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・班情報ダイアログが表示される。

班情報

ID	自治体ID	班名	eコミマップ	管理権限	本部権限	ホーム (WKT)	解像度 (デ	班名カナ(コ	電話番号(コ	FAX番号(コ	Eメール(コ	住所(コモン	ドメイン(コ	備考	表示順	有効・無効
0	0:0	admin		true	false		指定なし									1 有効
1	1:愛知	本部	admin	true	true		指定なし							推薦設定用		1 有効
2	1:愛知	総務担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		4 有効
3	1:愛知	広報担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		5 有効
4	1:愛知	消防本部	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		10 有効
5	1:愛知	遊覧所担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		11 有効
6	1:愛知	保健担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		12 有効
7	1:愛知	道路担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		20 有効
8	1:愛知	河川担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		21 有効
9	1:愛知	農工担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		32 有効
10	1:愛知	施設担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		40 有効
11	1:愛知	民生担当	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		45 有効
12	1:愛知	上位機関	admin	false	false		指定なし							推薦設定用		101 有効
13	1:愛知	管理者	admin	true	true		指定なし							推薦設定用		

追加・班情報ダイアログが表示される

登録ボタン

追加・班情報

自治体ID(*) 1:愛知 ①

班名(*) ②

ログインパスワード(*) ③

eコミマップのアカウント(*) ④

管理権限(*) false ⑤

本部権限(*) false ⑥

ホーム (WKT) ⑦ ⑧地図へ

解像度 (デフォルト0) (目安) 指定なし ⑨

班名カナ(コモンズ発信作成組織情報) ⑩

電話番号(コモンズ発信作成組織情報) ⑪

FAX番号(コモンズ発信作成組織情報) ⑫

Eメールアドレス(コモンズ発信作成組織情報) ⑬

住所(コモンズ発信作成組織情報) ⑭

ドメイン(コモンズ発信作成組織情報) ⑮

備考 ⑯

表示順(*) 1000 ⑰

有効・無効(*) 有効 ⑱

保存 ⑲ キャンセル ⑳

「*」は必須入力項目

図 6-2 登録ボタン>追加・班情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-1 追加・班情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	班が所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	班名	班名を入力する。災害時のログインIDになる。	総括班（防災危機管理課）
③	ログインパスワード	利用者画面及び、管理画面に入るためのパスワードを設定する。	password
④	e コミマップのアカウント	e コミマップで設定したアカウントを設定する。	user
⑤	管理権限	管理権限をドロップダウンリストから設定する。詳細は下記 A) を参照。	true
⑥	本部権限	本部権限をドロップダウンリストから設定する。詳細は下記 B) を参照。	true
⑦	ホーム(WKT)	地図の初期表示位置を WKT で設定する。	POLYGON((136.71 35.33,137.09 35.33,137.09 34.94,136.71 34.94,136.71 35.33))
⑧	地図へ	地図の初期表示位置を WKT で設定する地図画面を開く。	
⑨	解像度(デフォルト 0)(目安)	地図の初期表示縮尺を設定する。	0
⑩	班名カナ(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報としてカタカナで班名を入力する。	ソウカツハン
⑪	電話番号(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報として電話番号を入力する。	01-2222-3333
⑫	FAX 番号(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報として FAX 番号を入力する。	01-2222-4444
⑬	E メールアドレス	コモンズの発信作成組織情報として	commons@comm

	(コモンズ発信作成組織情報)	E メールアドレスを入力する。	ons. co. jp
⑭	住所(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報として住所を入力する。	〇〇県〇〇市
⑮	ドメイン(コモンズ発信作成組織情報)	コモンズの発信作成組織情報としてドメインを入力する。	domain. co. jp
⑯	備考	備考欄。	(なし)
⑰	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で班一覧が表示されるとき、上位に表示される。	1
⑱	有効・無効	班情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑲	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑳	キャンセル	追加・班情報ダイアログが閉じる。	

A) 管理権限について

管理権限は、SIP4D 利活用システムの管理画面にアクセスして、閲覧・編集できるかの制限を行う。true/false で管理を行っており、true の場合は、管理画面にアクセスし、閲覧・編集を行うことができる。false の場合は、管理画面にアクセスすることが出来ず、管理画面のログイン時に権限が無い旨のメッセージが表示される。

B) 本部権限について

本部権限は本部固有の機能である、本部の設置/廃止、体制発令/移行/解除、避難発令、本部会議録、被災状況、集計の機能を使用できるかの制限を行う。true/false で管理を行っており、true の場合は、本部固有の機能を利用することが出来る。必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、班情報一覧にデータが新規追加される。

2) 班情報を編集する

編集を行いたい班情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・班情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された班情報のデータが設定されている。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

A) API キーについて

班情報の編集から危機管理アシスト(SIP4D 利活用システムスマートフォンアプリケーション)を利用するための API キーを発行することができる。

「再発行」をクリックすると API キーが新たに生成され、以前の API キーが使用できなくなる。「削除」をクリックすると、API キーが削除される。

編集 - 班情報

ID 68

自治体ID(*) 8 : test test市 ▼

班名(*) 管理者

ログイン/パスワード(*)

eコママップのアカウント(*) admin

管理権限(*) true ▼

本部権限(*) true ▼

ホーム (WKT)

解像度 (デフォルト0) (目安) 指定なし ▼

班名カナ(コモンズ発信作成組織情報)

電話番号(コモンズ発信作成組織情報)

FAX番号(コモンズ発信作成組織情報)

Eメールアドレス(コモンズ発信作成組織情報)

住所(コモンズ発信作成組織情報)

ドメイン(コモンズ発信作成組織情報)

APIキー 67e1d662-fa1a-4040-a31b-8ae2b6b091a8 ☒ 再発行 ☐ 削除

備考

表示順(*) 999

有効・無効(*) 有効 ▼

保存 キャンセル

図 6-3 API キーについて

3) 班情報を削除する

データの削除を行いたい班情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・班情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の班情報を削除することができる。削除・班情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 班情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに班の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 班情報をコピーする

登録済み班の情報をコピーし、それをもとに新たに班を作成することができる。

コピー元となる班情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・班情報ダイアログが表示される。

全コピーのチェックを入れると、「班」に紐づく「ユーザ情報」を含めてコピーを行う。

班情報一覧

ID	自治体ID	班名	eコミマップ	管理権限	本部権限	ホーム	Wi	解像度	班名カナ	電話番号	FAX番号	Eメール	住所	ドメイン	備考	表示順	有効・無効
0	0:0	admin		true	false			指定なし								1	有効
1	1:愛知	本部	admin	true	true			指定なし								推薦設定用	1 有効
2	1:愛知	総務担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	4 有効
3	1:愛知	広報担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	5 有効
4	1:愛知	消防本部	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	10 有効
5	1:愛知	避難所担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	11 有効
6	1:愛知	保健担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	12 有効
7	1:愛知	道路担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	20 有効
8	1:愛知	河川担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	21 有効
9	1:愛知	農工担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	32 有効
10	1:愛知	施設担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	40 有効
11	1:愛知	民生担当	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	45 有効
12	1:愛知	上位機関	admin	false	false			指定なし								推薦設定用	101 有効
13	1:愛知	管理者	admin	true	true			指定なし								推薦設定用	999 有効

レコードコピー・班情報ダイアログ

自治体ID(*) 1:愛知 ▼

班名(*) 本部

ログインパスワード(*)

eコミマップのアカウント(*) admin

管理権限(*) true ▼

本部権限(*) true ▼

ホーム (WKT)

解像度 (デフォルト0) (目安) 指定なし ▼

班名カナ(コモンズ発信作成組織情報)

電話番号(コモンズ発信作成組織情報)

FAX番号(コモンズ発信作成組織情報)

Eメールアドレス(コモンズ発信作成組織情報)

住所(コモンズ発信作成組織情報)

ドメイン(コモンズ発信作成組織情報)

備考

表示順(*) 1

有効・無効(*) 有効 ▼

☐ 全コピー

図 6-4 コピーボタン>レコードコピー・班情報ダイアログ

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに班が作成される。全コピーにチェックを入れて保存ボタンを押下した場合、選択されている班情報の下位の階層に登録されているデータをコピーして、班の作成が行われる。

(2) ユーザ情報

登録されているユニット情報の下位の階層には、ユーザ情報が存在する。ユーザ情報では、班に属している構成員の個人情報を管理することができる。以下にユーザ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

班

課

訓練演習

地方自治体演習

システム全般

外部地図データ

通知

課

ユニット情報

	ID	自治体ID	ユニット名	eコミマップの	管理権限	ホーム (WKT)	解像度 (デフォ	代表電話番号	FAX番号	メールアドレス	備考	表示順	有効・無効	
▼	1	1: 愛知	本部Aユニット1	admin	false		指定なし					1	有効	
◆	ユーザ情報													
	ID	班ID	ユニットID	職員番号など	名前	役割	電話番号	携帯電話番号	メールアドレス	携帯電話のメ	PUSH通知	備考	表示順	有効・無効
	1	1: 本部	1: 本部Aユニ		本部Aユニット								1	有効
	2	1: 本部	1: 本部Aユニ		本部Aユニット								2	有効
	1件中 1 - 2 を表示													
▶	2	1: 愛知	本部Aユニット2	admin	false		指定なし					2	有効	
1件中 1 - 2 を表示														

1) ユーザ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・ユーザ情報ダイアログが表示される。

課

ユーザ情報

ID 自治体ID ユニット名 eコママップの: 管理権限 ホーム (WKT) 解像度 (デフォ) 代表電話番号 FAX番号 メールアドレス 備考 表示順 有効・無効

1 1: 愛知 本部Aユニット1 admin false 指定なし 1 有効

ユーザ情報

ID 現ID ユニットID 職員番号など 名前 役割 電話番号 携帯電話番号 メールアドレス 携帯電話のメ PUSH通知 備考 表示順 有効・無効

1 1: 本部 1: 本部Aユニ: 本部Aユニット 1 有効

2 1: 本部 1: 本部Aユニ: 本部Aユニット 2 有効

1: 愛知 本部Aユニット2 admin false 指定なし 2 有効

1 ページ中 1 ページ目 30

2 件中 1-2 を表示

2 件中 1-2 を表示

「*」は必須入力項目

登録ボタン

課

追加・ユーザ情報

ID(*) 0: admin ①

ユニットID(*) 1 ②

職員番号など ③

名前(*) ④

役割 ⑤

電話番号 ⑥

携帯電話番号 ⑦

メールアドレス ⑧

携帯電話のメールアドレス ⑨

Push通知用トークン ⑩

備考 ⑪

表示順(*) 3 ⑫

有効・無効(*) 有効 ⑬

保存 キャンセル ⑭ ⑮

追加・ユーザ情報ダイアログが表示される

図 6-6 登録ボタン>追加・ユーザ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-2 追加・ユーザ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	班 ID	ユーザ情報の班を選択する。	1：総括班（防災危機管理課）
②	ユニット ID	所属しているユニット（課）の ID が自動で割り当てられる。	
③	職員番号など	職員番号などを記載する。	111
④	名前	ユーザの名前を記載する。	防災 太郎
⑤	役割	所属や役職などの役割を記載する。	課長
⑥	電話番号	ユーザの（固定）電話番号を記載する。	000-000-0000
⑦	携帯電話番号	ユーザの（携帯）電話番号を記載する。	090-090-0909
⑧	メールアドレス	（PC）メールアドレスを記載する。	tarou@aa.city.jp
⑨	携帯電話のメールアドレス	（携帯）メールアドレスを記載する。	090090@xx.net.jp
⑩	Push 通知用トークン	Push 通知用トークンを入力する。Android の場合は、「android:」、iPhone の場合は「iphone:」とトークンの前につける。	android:aaa00
⑪	備考	備考欄。	（なし）
⑫	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でユーザ情報が表示されるとき、上位に表示される。	5
⑬	有効・無効	ユーザ情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑭	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはユーザ情報一覧に表示される。	
⑮	キャンセル	追加・ユーザ情報ダイアログを閉じる。	

必須情報及び、任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、ユーザ情報一覧にデータが新規追加される。

2) ユーザ情報を編集する

編集を行いたいユーザ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ユーザ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたユーザ情報のデータが設定される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-2 を参照。設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) ユーザ情報を削除する

データの削除を行いたいユーザ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ユーザ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のユーザ情報を削除することができる。削除・ユーザ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) ユーザ情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにユーザ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) ユーザ情報をコピーする

登録済みユーザ情報をコピーし、それをもとに新たにユーザ情報を作成することができる。コピーボタンを押下するとレコードコピー・ユーザ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-2 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにユーザ情報が作成される。

6.1.1.2 課

(1) ユニット情報の編集

登録されている班情報の下位の階層には、ユニット情報が存在する。班に所属している構成員をグループ単位で管理することができる。そのグループを管理するのがユニット情報である。以下にユニット情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

ID	自治体ID	ユニット名	eコママップの	管理権限	ホーム (WKT)	解像度 (デフォ)	代表電話番号	FAX番号	メールアドレス	備考	表示順	有効・無効
1	1: 愛知	本部Aユニット1 admin		false		指定なし					1	有効
2	1: 愛知	本部Aユニット2 admin		false		指定なし					2	有効

図 6-7 ユニット情報一覧

1) ユニット情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・ユニット情報ダイアログが表示される。

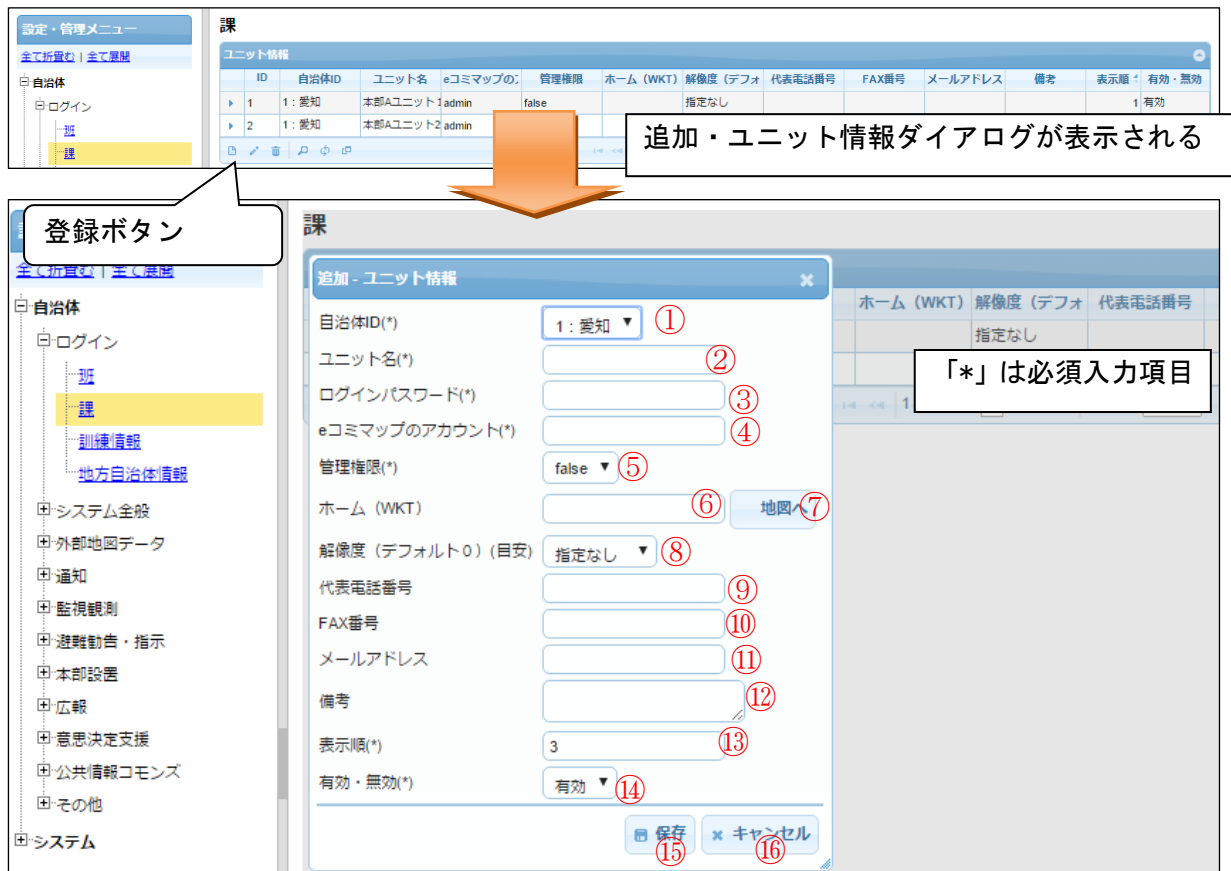


図 6-8 登録ボタン>追加・ユニット情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-3 追加・ユニット情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属している班の ID が自動で割り当てられる。	
②	ユニット名	ユニット（課）名称を設定する。平常時のログイン ID になる。	総務課
③	ログインパスワード	利用者画面及び、管理画面に入るためのパスワードを設定する。	password
④	e コミマップのアカウント	e コミマップで設定したアカウントを設定する。	user
⑤	管理権限	管理権限をドロップダウンリストから設定する。詳細は 6.1.1.1 A) を参照。	true
⑥	ホーム (WKT)	地図の初期表示位置を WKT で設定する。	POLYGON((136.71 35.33,137.09 35.33,137.09 34.94,136.71 34.94,136.71 35.33))
⑦	地図へ	地図の初期表示位置を WKT で設定する地図画面を開く。	
⑧	解像度 (デフォルト 0) (目安)	地図の初期表示縮尺を設定する。	0
⑨	代表電話番号	ユニット代表者の連絡先を記載する。	000-000-0000
⑩	FAX 番号	ユニット代表者の FAX 番号を記載する。	000-000-0000
⑪	メールアドレス	ユニット代表者のメールアドレスを記載する。	uni@aa.city.jp
⑫	備考	備考欄。	(なし)
⑬	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でユニット情報が表示されるとき、上位に表示される。	1
⑭	有効・無効	ユニット情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑮	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはユニット情報一覧に表示される。	
⑯	キャンセル	追加・ユニット情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、ユニット情報一覧にデータが新規追加される。

2) ユニット情報を編集する

編集を行いたいユニット情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ユニット情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたユニット情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-3 を参照すること。(API キーについては A) API キーについてを参照すること。)

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

A) API キーについて

ユニット情報の編集から危機管理アシスト(SIP4D 利活用システムスマートフォンアプリケーション)を利用するための API キーを発行することができる。

「再発行」をクリックすると API キーが新たに生成され、以前の API キーが使用できなくなる。「削除」をクリックすると、API キーが削除される。

編集 - ユニット情報

ID 4

自治体ID(*) 8 : test test市 ▼

ユニット名(*) ユニット2

ログインパスワード(*)

eコママップのアカウント(*) admin

管理権限(*) false ▼

ホーム (WKT) 地図へ

解像度 (デフォルト0) (目安) 指定なし ▼

代表電話番号

FAX番号

メールアドレス

APIキー 再発行 削除

備考

表示順(*) 3

有効・無効(*) 有効 ▼

保存 キャンセル

図 6-9 API キーについて

3) ユニット情報を削除する

データの削除を行いたいユニット情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ユニット情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のユニット情報を削除することができる。削除・ユニット情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) ユニット情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにユニット情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) ユニット情報をコピーする

登録済みユニット情報をコピーし、それをもとに新たにユニット情報を作成することができる。コピーボタンを押下するとレコードコピー・ユニット情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-3 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにユニット情報が作成される。

6.1.1.3 地方自治体情報

自治体>ログイン>地方自治体情報を選択する。

連携したい市町村の「地方自治体情報」の都道府県（自治体 ID）に、都道府県の ID を指定する。

編集 - 地方自治体情報

ID 16

自治体毎のドメイン(*) 2.3.saigaitask.fal ①

システム名 官民協働危機管理クラウドシ ②

地方自治体種別(*) 1 : 県 ▼ ③

都道府県(自治体ID) ▼ ④

県名(*) 開発用 ⑤

県コード(*) 00 ⑥

市区町村 ⑦

市区町村コード ⑧

予備 ⑨

自動発報フラグ(*) false ▼ ⑩

自動発報時の班名(コモンズ発信作成組織情報) 168 : 本部A ▼ ⑪

アラームの取得間隔(*) 120 ⑫

SMTPサーバ ⑬

送信用メールアドレス(*) ⑭

座標 10 進法表示(*) 無効 ▼ ⑮

言語コード 2 : ja ▼ ⑯

ロゴ画像ファイル ⑰

ロゴ画像ファイルアップロード ファイルを選択 選択されていません ⑱

備考 ⑲

有効・無効(*) 有効 ▼ ⑳

◀ ▶ 保存 × キャンセル

表 6-4 地方自治体情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体毎のドメイン	システムのドメイン	xxx.xx.xx
②	システム名	システムの名称	災害対応システム

③	地方自治体種別	自治体の区分を選択する。	2:市区町村
④	都道府県（自治体 ID）	③が「市区町村」のとき、県との連携を設定する場合に登録されている自治体の ID を指定する。 なお県コードを入力しないとリストに項目が表示されないので注意。	1:〇〇県
⑤	県名	自治体の所属する県の名称	〇〇県
⑥	県コード	自治体の所属する県のコード	15
⑦	市区町村	自治体の所属する市区町村	△△市
⑧	市町村コード	自治体の所属する市区町村のコード	204
⑨	予備	未使用	
⑩	自動発報フラグ	自動的にアラームを発報するかを指定する。 true にすると利用者画面のヘッダ部の自動発報ボタンが「自動発報有効」となり、false にすると「自動発報無効」となる。 利用者画面から設定することも可能。	True
⑪	自動発報時の班名（コモンズ発信作成組織情報）	班情報に登録された情報の ID を選択する。 Lアラートに情報発信する際の発信元情報になる。	1:災害対策本部
⑫	アラーム取得間隔	テロップとアラームの循環チェックの間隔（秒） この設定でサーバへの定期的な通信が発生する。	120
⑬	SMTP サーバ	SMTP サーバアドレスを設定する。ここで設定されるサーバでメール送信処理を行う。	xx. xx. xx
⑭	送信用メールアドレス	システムから送信されるメールの From アドレスの設定をする。	xxxx@xx.xx.xx
⑮	座標 10 進法表記	座標の 10 進法表記を設定する。 無効:60 進法（度分秒） 有効:10 進法	無効
⑯	言語コード	システムの言語を設定する。 1:en 英語 2:ja 日本語	2:ja
⑰	ロゴ画像ファイル	システムの左下に表示するロゴ画像のファイルパスが表示される	/images/logo /16/ban_nied.png
⑱	ロゴ画像ファイル	システムの左下に表示するロゴ画像をアッ	ban_nied.png

	アップロード	プロードする。	
①9	備考	備考欄	(なし)
②0	有効・無効	自治体の有効・無効を切り替える。	有効

6.1.2. システム全般

本項では、SIP4D 利活用システムで表示されるメニューや画面表示項目の設定、外部機能との連携、及び、e コミマップで作成された地図を表示するための設定を行う機能について説明する。

6.1.2.1 メニュー階層

自治体>システム全般>メニュー階層 を選択すると下図のような画面が表示される。

メニュー設定情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

ユーザと災害種別に紐づいてメニュー階層が構成されており、その最上位階層である、ユーザと災害種別の組み合わせが、メニュー設定情報として一覧で表示される。

メニュー階層は、プロセス>タスク>メニュー のような構造をしている。プロセスは災害対応業務の基本項目、タスクはプロセスの詳細業務項目、メニューはタスクの処理区分を示しており、それぞれ個別に設定を行うことができる。

メニュー階層は利用者画面を構成している。メニュー階層の最下位の階層（タスクメニュー情報）まで設定を行うことで、利用者画面が表示されるようになる。

ID	メニュー名	プロセス	タスク	メニュー	ステータス
131	125-避難所(防災危機管理課)	2-地震・津波	避難所	避難所	有効
140	132-応急対応(防災危機管理課)	2-地震・津波	応急対応	避難所	有効
141	133-避難所(避難所)	2-地震・津波	避難所	避難所	有効
143	134-避難所(避難所)	2-地震・津波	避難所	避難所	有効
144	135-避難所(避難所)	2-地震・津波	避難所	避難所	有効
171	157-社会福祉対策(福祉保健課)	2-地震・津波	社会福祉対策	避難所	有効
172	160-消防本部	2-地震・津波	消防本部	避難所	有効
173	155-消防救助隊(消防課)	2-地震・津波	消防救助隊	避難所	有効
174	156-消防救助隊(消防課)	2-地震・津波	消防救助隊	避難所	有効
176	161-消防	2-地震・津波	消防	避難所	有効
177	154-消防救助隊(消防課)	2-地震・津波	消防救助隊	避難所	有効
178	162-GUST	2-地震・津波	GUST	避難所	有効

図 6-10 メニュー階層画面

(1) メニュー設定情報の編集

SIP4D 利活用システムでは、ユーザと災害種別に紐づいてメニューが構成されており、その最上位階層である、ユーザと災害種別の組み合わせが、メニュー設定情報として取り扱われている。以下ではこのメニュー設定情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) メニュー設定情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュー設定情報ダイアログが表示される。

The screenshot shows the '岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面' (Iwate Prefecture Kamaishi City Official-Citizen Collaboration Disaster Management Cloud System Management Screen). The left sidebar contains a '設定・管理メニュー' (Setting/Management Menu) with options like 'ログイン', 'システム全般', 'メニュー階層', 'メニュータスク種別', '地図マスター情報', '属性ソート情報', '外部地図データ', '通知', '監視観測', and '本部設置'. The 'メニュー階層' (Menu Hierarchy) section is active, displaying a table of menu settings.

ID	班ID	災害種別
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波
60	152:広報班(広報広報課)	2:地震・津波
61	153:総務班(総務課)	2:地震・津波
63	156:避難対策班(地域づくり推進課)	2:地震・津波
64	159:建設班(建設課)	2:地震・津波
71	157:社会福祉対策班(地域福祉課)	2:地震・津波
72	160:消防本部	2:地震・津波
73	155:財政輸送担当班(財政課)	2:地震・津波
74	158:産業対策班(商工労政課)	2:地震・津波
75	161:岩手県	2:地震・津波
76	154:情報対策班(総合政策課)	2:地震・津波
78	162:GUEST	2:地震・津波

A callout box labeled '登録ボタン' (Register Button) points to the bottom of the table. An orange arrow points from this button to the '追加・メニュー設定情報ダイアログ' (Add Menu Setting Information Dialog) shown in the second part of the image.

The dialog box, titled '追加 - メニュー設定情報', contains the following fields:

- 班ID(*): 125:総括班(防災危機管理課) (1)
- 災害種別(*): 1:水・土砂 (2)
- 備考: (3)
- 有効・無効(*): 有効 (4)

Buttons at the bottom are '保存' (Save) (5) and 'キャンセル' (Cancel) (6). A note indicates that fields marked with an asterisk (*) are required input items.

図 6-11 登録ボタン>追加・メニュー設定情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-5 追加・メニュー設定情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	班 ID	メニュー設定情報と紐づく班 ID をドロップダウンリストにより選択する。	125:総括班(防災危機管理課)
②	課 ID	メニュー設定情報と紐づく課 ID をドロップダウンリストにより選択する	本部 A ユニット 1
③	災害種別	1:災害時、0:平常時を選択する。	1:災害時
④	備考	備考欄。	〇〇市用
⑤	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効
⑥	保存	設定された情報を保存します。保存されたデータはメニュー設定情報一覧に表示する。	
⑦	キャンセル	追加・メニュー設定情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、メニュー設定情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニュー設定情報を編集する

編集を行いたいメニュー設定情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュー設定情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュー設定情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-5 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) メニュー設定情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー設定情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュー設定情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー設定情報を削除することができる。削除・メニュー設定情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュー設定情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュー設定情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュー設定情報をコピーする

登録済みメニュー設定情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー設定情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュー設定情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-5 を参照。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 本部設置
- 広報
- 公共情報 commons
- その他

メニュー階層

ID	種ID	災害種別
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波
60	152:広報班(広報広報課)	2:地震・津波
61	153:総務班(総務課)	2:地震・津波
63	156:避難対策班(地域づくり推進課)	2:地震・津波
64	159:建設班(建設課)	2:地震・津波
71	157:社会福祉対策班(地域福祉課)	2:地震・津波
72	160:消防本部	2:地震・津波
73	155:財政輸送担当班(財政課)	2:地震・津波
74	158:産業対策班(商工労働課)	2:地震・津波
76	161:岩手県	2:地震・津波
77	154:情報対策班(総合政策課)	2:地震・津波
78	162: GUEST	2:地震・津波

コピーボタン

レコードコピー・メニュー設定情報ダイアログが表示される

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム

メニュー階層

レコードコピー・メニュー設定情報

種ID(*) 125:総括班(防災危機管理課)

災害種別(*) 2:地震・津波

備考 釜石市用

有効・無効(*) 有効

全コピー 送信 キャンセル

図 6-12 コピーボタン>レコードコピー・メニュー設定情報ダイアログ

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュー設定情報が作成される。全コピーにチェックを入れて送信ボタンを押下した場合、選択されているメニュー設定情報の下位の階層に登録されているデータをコピーして、メニュー設定情報の作成が行われる。

(2) メニュープロセス情報の編集

登録されているメニュー設定情報の下位の階層には、メニュープロセス情報が存在する。メニュープロセス情報では災害対応業務の基本項目であるプロセスを管理することができる。以下にメニュープロセス情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管)

メニュー階層

設定・管理メニュー

全て所蔵を|全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー階層

メニュータスク種別

地図マスター情報

属性ソート情報

外部地図データ

通知

監視観測

本部設置

広報

公共情報コモンズ

その他

ID	種ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュープロセス情報

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31	1.避難勧告・指示	true	1		有効
58	31	2.津波到達前の住民避難	true	2		有効
59	31	3.被災状況の集約	true	3		有効
60	31	4.人命救助	true	4		有効
61	31	5.本部設置	true	5		有効
62	31	6.避難所	true	6		有効
63	31	7.道路規制・閉鎖	true	7		有効
988	31	8.倉庫管理	true	8		有効
989	31	9.災機材管理	true	9		有効

1ページ中 1 ページ目 30

9件中 1 - 9 を表示

60	152:広報班(広報広報課)	2:地震・津波	釜石市用	有効
61	153:総務班(総務課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

図 6-13 メニュープロセス情報一覧

1) メニュープロセス情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。



図 6-14 登録ボタン>追加・メニュープロセス情報ダイアログ



また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-6 追加・メニュープロセス情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニュー設定情報	選択されているメニュー設定情報の ID が自動入力される。	
②	名称	メニュープロセス名称を記載する。第 1 階層のタブ名称になる。	1. 避難勧告・指示
③	重要フラグ	メニュープロセスタブに重要度を表す☆マークを付ける。	true
④	表示・非表示	利用者画面上への表示可否を設定する。 詳細は下記 A) を参照。	true
⑤	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑥	備考	備考欄。	(なし)
⑦	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効
⑧	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはメニュープロセス情報一覧に表示される。	
⑨	キャンセル	追加・メニュープロセス情報ダイアログを閉じる。	

A) 表示・非表示項目について

表示・非表示設定は、該当項目の利用者画面上への表示可否を設定する。

true/false で管理を行っており、true の場合は、該当項目が利用者画面上に表示される。false の場合は、利用者画面に項目の表示が行われない。



図 6-15 該当項目の表示



図 6-16 該当項目の非表示

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、メニュープロセス情報一覧にデータが新規追加される。

但し、メニュープロセス情報に関して、メニュープロセス情報の最下位の階層にあるタスクメニュー情報の設定を行うまで利用者画面上に追加情報が反映されない。

釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称 現在の体制

なし 自動発報有効 3/7 シンポジウム 更新 体制なし

タイムライン 会議録

1. 避難勧告・指示 2. 津波到達前の住民避難 3. 被災状況の集約 4. 人命救助 5. 本部設置 6. 避難所 7. 道路規制・啓蒙 8. 食糧管理 9. 資機材管理

A. 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令

タスクリスト

■メニュー

- ①発令状況の確認と訂正
- ②公共情報コモンズ(メディア)発信
- ③公共情報コモンズ(緊急速報メール)発信
- ④Facebookによる周知
- ⑤twitterによる周知
- ⑥対応状況
- ⑦対応履歴

解説 URL表示 最終更新日

	管理番号	地区名	発令状況	発令時刻	対象世帯数	追加箇所 (表示順が最後の場合)
合計	-	-	-	-	14110	
地域	98	その他			6500	17205
地域	38-2	大字平田第9地割	避難勧告		198	535
地域	65-2	唐丹町字根幹	避難指示			2014/03/07 16:19:37
地域	66	東那町	避難指示		166	374
地域	96	岡石町第5地割	なし		49	127
地域	95	岡石町第4地割	なし		49	127
地域	94	岡石町第3地割	なし		49	127
地域	93	岡石町第2地割	避難準備情報		49	127
地域	91	片岸町第10地割	なし		36	95
地域	90	片岸町第9地割	なし		36	95
地域	89	片岸町第8地割	なし		36	95
地域	88	片岸町第6地割	なし		36	95
地域	87	片岸町第5地割	なし		36	95
地域	86	片岸町第4地割	なし		36	95
地域	85	片岸町第3地割	なし		36	95
地域	84	片岸町第2地割	なし		36	95

新規登録 更新 一括更新 情報発信 印刷 CSV出力

図 6-17 利用者画面への反映（メニュープロセス情報）

メニュープロセス情報を編集する

編集を行いたいメニュープロセス情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュープロセス情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-6 を参照。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ
その他

メニュー階層

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
31	125:総括種(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効		
57	31	1.避難勧告・指示	true	1		有効
58	31	2.津波到達前の住民避難	true	2		有効
59	31	3.被災状況の集約	true	3		有効
60	31	4.人命救助	true	4		有効
61	31	5.本部設置	true	5		有効
62	31	6.避難所	true	6		有効
63	31	7.道路規制・啓開	true	7		有効
988	31	8.倉庫管理	true	8		有効
989	31	9.資機材管理	true	9		有効

編集ボタン

編集・メニュープロセス情報ダイアログが表示される

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ

メニュー階層

編集 - メニュープロセス情報

ID 57

メニュー設定情報(*) 31

名称(*) 1.避難勧告・指示

表示・非表示(*) true

表示順(*) 1

備考

有効・無効(*) 有効

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

ID	メニュー設定情報	名称
31	125:総括種(防災危機管理課)	2:地震・津波
31	1.避難勧告・指示	
31	2.津波到達前の住民避難	
31	3.被災状況の集約	
31	4.人命救助	
31	5.本部設置	
31	6.避難所	
31	7.道路規制・啓開	

図 6-18 編集ボタン>メニュープロセス情報ダイアログ

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。また、利用者画面上の該当項目も更新される。



図 6-19 利用者画面への反映

2) メニュープロセス情報を削除する

データの削除を行いたいメニュープロセス情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュープロセス情報を削除することができる。削除・メニュープロセス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

3) メニュープロセス情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュープロセス情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

4) メニュープロセス情報をコピーする

登録済みメニュープロセス情報をコピーし、それをもとに新たにメニュープロセス情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュープロセス情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-6 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュープロセス情報が作成される。

(3) メニュータスク情報の編集

登録されているメニュープロセス情報の下位の階層には、メニュータスク情報が存在する。メニュータスク情報ではプロセスの詳細業務項目であるタスクを管理することができる。以下にメニュータスク情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管)

ホームマップ

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー階層

メニュータスク情報

地図マスター情報

属性ノート情報

外部地図データ

通知

監視観測

本部設置

広範

公共情報コモンズ

その他

メニュー階層

メニュー設定情報

ID

種ID

災害種別

備考

有効・無効

31

125:総括班(防災危機管理課)

2:地震・津波

釜石市用

有効

メニュープロセス情報

ID

メニュー設定情報

名称

表示・非表示

表示順

備考

有効・無効

57

31

1.避難勧告・指示

true

1

有効

58

31

2.津波到達前の住民避難

true

2

有効

59

31

3.被災状況の集約

true

3

有効

メニュータスク情報

ID

プロセスID

タスク種別

名称

表示・非表示

表示順

備考

有効・無効

52

59:3.被災状況の集約

52:A.位置情報付き写真のA.位置情報付き写真の登録

true

1

有効

53

59:3.被災状況の集約

53:B.被害情報の登録

B.被害情報の登録

true

2

有効

54

59:3.被災状況の集約

54:C.被災エリアの登録

C.被災エリアの登録

true

3

有効

55

59:3.被災状況の集約

55:D.監視・観測情報

D.監視・観測情報

true

4

有効

56

59:3.被災状況の集約

56:E.上位機関への報告

E.上位機関への報告

true

5

有効

60

31

4.人命救助

true

4

有効

61

31

5.本部設置

true

5

有効

1 ページ中 1 ページ目

30

5件中1-5を表示

図 6-20 メニュータスク情報一覧

1) メニュータスク情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュータスク情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管理)

設定・管理メニュー

全庁検索 | 全庁展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー階層

メニュータスク情報

メニュープロセス情報

メニュータスク情報

登録ボタン

追加・メニュータスク情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

編集 - メニュータスク情報

ID 1027

プロセスID(*) 574

タスク種別(*) 103 : 1-A.監視・観測情報 (地震・津波:2-B/地震:2-B)

名称(*) A.監視・観測情報

重要フラグ(*) false

表示・非表示(*) true

表示順(*) 1

備考

有効・無効(*) 有効

保存 キャンセル

重要フラグ

true

true

true

true

true

true

true

1 ページ目 30

図 6-21 登録ボタン>メニュータスク情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-7 追加・メニュータスク情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	プロセス ID	選択されているメニュープロセス情報の ID が自動入力される。	
②	タスク種別	タスク種別を選択する。「自治体>システム全般>メニュータスク情報」のタスク種別に登録されているタスク名をドロップダウンリストから選択する。	47 : A. 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令
③	名称	タスク名称を入力する。第2階層タブの名称になる。	A. 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令
④	重要フラグ	メニュータスクタブに重要度を表す☆マークを付ける。	false
⑤	表示・非表示	利用者画面上への表示可否を設定する。 詳細は 6.1.2.1(2)1A) を参照。	true
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でメニュータスク情報が表示されるとき、上位に表示される。	1
⑦	備考	備考欄。	(なし)
⑧	有効・無効	メニュータスク情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑨	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑩	キャンセル	追加・メニュー情報ダイアログが閉じる。	

※タスク種別について「自治体>システム全般>メニュータスク情報」のタスク種別情報にデータが登録されていない場合は何も表示・選択されない。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニュータスク情報一覧にデータが新規追加される。

但し、メニュータスク情報に関して、メニュータスク情報の最下位の階層にあるタスクメニュー情報の設定を行うまで利用者画面上に追加情報が反映されない。



図 6-22 利用者画面への反映

2) メニュータスク情報を編集する

編集を行いたいメニュータスク情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュータスク情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュータスク情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-7 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。また、利用者画面上の該当項目も更新される。



図 6-23 利用者画面への反映

3) メニュータスク情報を削除する

データの削除を行いたいメニュータスク情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュータスク情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュータスク情報を削除することが出来る。削除・メニュータスク情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュータスク情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュータスク情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュータスク情報をコピーする

登録済みメニュータスク情報をコピーし、それをもとに新たにメニュータスク情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュータスク情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-7 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュープロセス情報が作成される。

(4) タスクメニュー情報

登録されているメニュータスク情報の下位の階層には、タスクメニュー情報が存在する。タスクメニュー情報とは、利用者画面に表示されるメニューの一覧であり、1つのタスクに対して複数のメニューを設定することができる。

メニューの設定を行う際、必ず初期画面となるページの作成を行う必要がある。初期画面とは、タスクを選択時に最初に表示される画面のことである。タスク選択時は、初期画面が表示され、各メニューを選択して画面遷移を行うという画面構成になっているため、メニューの設定時は初期画面となる項目を設定する。

以下に、タスクメニュー情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面 総括班(防災危機管) [eコマース](#)

設定・管理メニュー

全て折畳み | 全て展開

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - メニュー階層**
 - メニュータスク種別
 - 地図マスター情報
 - 属性ソート情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 本部設置
- 広報
- 公共情報 commons
- その他

メニュー階層

ID	種ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュープロセス情報

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31:1.避難勧告・指示	1.避難勧告・指示	true	1		有効

メニュータスク情報

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
47	57:1.避難勧告・指示	47:A.避難勧告・指示の発	A.避難勧告・指示の発令状 true		1		有効

タスクメニュー情報

ID	タスクID	メニューID	表示順
788	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	218:初期画面	1
791	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	219:の発令状況の確認と訂正	2
797	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	220:公共情報 commons(メディア)発信	3
798	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	221:公共情報 commons(緊急連絡メール)発信	4
799	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	222:Facebookによる周知	5
800	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	223:twitterによる周知	6
801	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	224:対応状況	7
858	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	225:対応履歴	8

1 ページ中 1 ページ目 30 8件中 1 - 8を表示

1 ページ中 1 ページ目 30 1件中 1 - 1を表示

図 6-24 タスクメニュー情報

1) タスクメニュー情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) [コミマップ](#)

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報 commons
その他

メニュー階層

ID	種ID	災害種別	備考	有効・無効
31	125:総括班(防災危機管理課)	2:地震・津波	釜石市用	有効

メニュープロセス情報

ID	メニュー設定情報	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
57	31:1.避難勧告・指示		true	1		有効

メニュータスク情報

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示	表示順	備考	有効・無効
47	57:1.避難勧告・指示	47:A.避難勧告・指示の発	A.避難勧告・指示の発令状況	true	1		有効

タスクメニュー情報

ID	タスクID	メニューID	表示順
788	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	218:初期画面	1
791	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	219:の発令状況の確認と訂正	2
797	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	220:公共情報 commons(メディア)発信	3
798	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	221:公共情報 commons(緊急連絡メール)発信	4
	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	222:Facebookによる周知	5
	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	223:Twitterによる周知	6
	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	224:の対応状況	7
858	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	225:の対応履歴	8

登録ボタン

追加・タスクメニュー情報ダイアログが表示される

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報 commons

メニュー階層

追加・タスクメニュー情報

タスクID(*) 47 ①

メニューID(*) 218:初期画面 ②

表示順(*) 9 ③

保存 ④ キャンセル ⑤

「*」は必須入力項目

災害種別 2:地震・津波 釜石市

名称 表示・非表示 true

メニュータスク情報

ID	プロセスID	タスク種別	名称	表示・非表示
47	57:1.避難勧告・指示	47:A.避難勧告・指示の発	A.避難勧告・指示の発令状況	true

タスクメニュー情報

ID	タスクID	メニューID
788	47:A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	218:初期画面

図 6-25 登録ボタン>追加・タスクメニュー情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-8 追加・タスクメニュー情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	タスク ID	自動採番。	
②	メニューID	利用者画面で表示するメニュー画面を設定する。 「自治体>システム全般>メニュータスク種別>タスク種別情報>メニュー情報」に登録されているメニューID をドロップダウンリストで表示する。	219：①発令状況の確認と訂正
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面でタスクメニュー情報が表示されるとき、上位に表示される。	2
④	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑤	キャンセル	追加・タスクメニュー情報ダイアログが閉じる。	

※メニューID について、「自治体>システム全般>メニュータスク種別>タスク種別情報>メニュー情報」にデータが登録されていない場合は何も表示・選択されない。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存されタスクメニュー情報一覧にデータが新規追加される。また、今回作成したタスクメニュー情報が利用者画面に反映される。

金石市 官民協働危機管理クラウドシステム

気象庁からの情報 発令状況 避難勧告/指示 災害名称 現在の体制

なし 自動発報有効 3/7 シンポジウム 更新 体制なし

タイムライン 会議録

1.避難勧告・指示 2.津波到達前の住民避難 3.被災状況の集約 4.人命救助 5.本部設置 6.避難所 7.道路規制・啓蒙 8.食糧管理 9.資機材管理

A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令

タスクリスト

■メニュー

- ①発令状況の確認と訂正
- ②公共情報コモンズ(メディア)発信
- ③公共情報コモンズ(緊急速報メール)発信
- ④Facebookによる周知
- ⑤twitterによる周知
- ⑥対応状況
- ⑦対応履歴

追加箇所
(表示順が最後の場合)

解説 URL表示 最終更新日 平成26年3月7日 16時19分 地図へ 最大化

	管理番号	地区名	発令状況	発令時刻	対象世帯数	対象人数	備考	最終更新日時
合計	-	-	-	-	14110	36244	-	-
地域	98	その他			6500	17205		
地域	38-2	大字平田第9地割	避難勧告		198	535		2014/03/06 20:45:51
地域	65-2	唐丹町字桜峠	避難指示					2014/03/07 16:19:37
地域	66	東前町	避難指示		166	374		2014/03/06 20:45:51
地域	96	両石町第5地割	なし		49	127		
地域	95	両石町第4地割	なし		49	127		
地域	94	両石町第3地割	なし		49	127		
地域	93	両石町第2地割	避難準備情報		49	127		2014/03/06 20:45:51
地域	91	片岸町第10地割	なし		36	95		
地域	90	片岸町第9地割	なし		36	95		
地域		片岸町第8地割	なし		36	95		

記録 更新 一括更新 情報発信 印刷 CSV出力

図 6-26 利用者画面への反映

2) タスクメニュー情報を編集する

編集を行いたいタスクメニュー情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたタスクメニュー情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-8 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。また、利用者画面上の該当項目も更新される。

3) タスクメニュー情報を削除する

データの削除を行いたいタスクメニュー情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のタスクメニュー情報を削除することができる。削除・タスクメニュー情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) タスクメニュー情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにタスクメニュー情報の絞り込みを行うことが出来る。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) タスクメニュー情報をコピーする

登録済みタスクメニュー情報をコピーし、それをもとに新たにタスクメニュー情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・タスクメニュー情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-8 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにタスクメニュー情報が作成される。

6.1.2.2 メニュータスク種別

自治体>システム全般>メニュータスク種別 を選択すると下図のような画面が表示される。タスク種別情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

メニュータスク種別はタスクに紐づくメニューを管理する。1つのタスクに対して複数のメニューを設定することが可能であり、その最上位階層であるタスクの名称が、タスク種別情報として一覧で表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管)

メニュー

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー種別

メニュータスク種別

地図マスター情報

属性ソート情報

外部地図データ

通知

監視観測

本部設置

広報

公共情報コンソ

その他

タスク種別情報

タスク種別情報					
	ID	自治体ID	名称	表示順	備考
	47	14:岩手県釜石市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用
	49	14:岩手県釜石市	B.避難誘導(観光施設)	49	本部用
	50	14:岩手県釜石市	C.避難誘導(要援護者施設)	50	本部用
	51	14:岩手県釜石市	D.避難誘導(在宅要援護者)	51	本部用
	52	14:岩手県釜石市	A.位置情報付き写真の登録	52	本部用
	53	14:岩手県釜石市	B.被害情報の登録	53	本部用
	54	14:岩手県釜石市	C.被災エリアの登録	54	本部用
	55	14:岩手県釜石市	D.監視・観測情報	55	本部用
	56	14:岩手県釜石市	E.上位機関への報告	56	本部用
	57	14:岩手県釜石市	A.浸水(津波)状況への対応	57	本部用

29 ページ中 1 ページ目

10

288 件中 1 - 10 を表示

図 6-27 メニュータスク種別

(1) タスク種別情報の編集

SIP4D 利活用システムでは、1つのタスクに対して複数のメニューを設定することが可能である。以下にこのタスクの管理を行うタスク種別情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) タスク種別情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・タスク種別情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班 (防災危機管) [eコマース](#)

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- メニュー階層
- メニュータスク種別**
- 地図マスター情報
- 属性ソート情報

外部地図データ

広域

公共情報コモンズ

その他

登録ボタン

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用
49	14:岩手県釜石市	B.避難誘導(観光施設)	49	本部用
50	14:岩手県釜石市	C.避難誘導(要援護者施設)	50	本部用
51	14:岩手県釜石市	D.避難誘導(在宅要援護者)	51	本部用
52	14:岩手県釜石市	A.位置情報付き写真の登録	52	本部用
53	14:岩手県釜石市	B.被害情報の登録	53	本部用
	14:岩手県釜石市	C.被災エリアの登録	54	本部用
	14:岩手県釜石市	D.監視・観測情報	55	本部用
	14:岩手県釜石市	E.上位機関への報告	56	本部用
57	14:岩手県釜石市	A.浸水(津波)状況への対応	57	本部用

288件中1 - 10を表示

追加・タスクメニュー情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

追加 - タスク種別情報

自治体ID(*) 14:岩手県 釜石市

名称(*)

表示順(*) 2266

備考

保存 キャンセル

図 6-28 登録ボタン>追加・タスク種別情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-9 追加・タスク種別情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名称	タスク種別情報の名称を記載する。※メニューの内容を表現する名称等を設定するとよい。	A. 実浸水（津波）状況への対応
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、管理画面において上位に表示される。	57
④	備考	備考欄。	(なし)
⑤	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはタスク種別情報一覧に表示される。	
⑥	キャンセル	追加・タスク種別情報ダイアログを閉じる。	

必須情報及び、任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、タスク種別情報一覧にデータが新規追加される。

2) タスク種別情報を編集する

編集を行いたいタスク種別情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・タスク種別情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたタスク種別情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-9 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) タスク種別情報を削除する

データの削除を行いたいタスク種別情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・タスク種別情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のタスク種別情報を削除することができる。削除・タスク種別情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) タスク種別情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにタスク種別情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) タスク種別情報をコピーする

登録済みタスク種別情報をコピーし、それをもとに新たにタスク種別情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・タスク種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-9 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにタスク種別情報が作成される。

(2) メニュー情報の編集

登録されているタスク種別情報の下位の階層には、メニュー情報が存在する。メニュー情報ではタスクに紐づくメニューの登録を行う。

メニューの登録を行う際、必ず初期画面となるページの作成を行う必要がある。初期画面とは、タスクを選択時に最初に表示される画面のことである。タスク選択時は、初期画面が表示され、各メニューを選択して画面遷移を行うという画面構成になっているため、メニュー情報には1つ初期画面となる項目を作成する。

以下にメニュー情報の新規登録、編集、削除、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管)

メニューマップ

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー階層

メニュータスク種別

地図マスター情報

属性ノート情報

外部地図データ

通知

監視観測

本部設置

応報

公共情報 commons

その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14: 岩手県釜石市	A: 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47 本部用	

メニュー階層

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		初期画面			false		有効
219	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		①発令状況の確認と訂正			true		有効
220	47: A: 避難勧告・指示の8: 公共情報 commons (※公共情報 commons (※					true		有効
221	47: A: 避難勧告・指示の7: 公共情報 commons (※公共情報 commons (開					true		有効
222	47: A: 避難勧告・指示の9: SNS通知		※Facebookによる周知			true		有効
223	47: A: 避難勧告・指示の10: Twitter		※twitterによる周知			true		有効
224	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		②対応状況			true		有効
225	47: A: 避難勧告・指示の13: 対応履歴		②対応履歴			true		有効

1 - 8 を表示

49 14: 岩手県釜石市 B: 避難誘導(優先施設)

49 本部用

図 6-29 メニュー情報の編集

1) メニュー情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュー情報ダイアログが表示される。

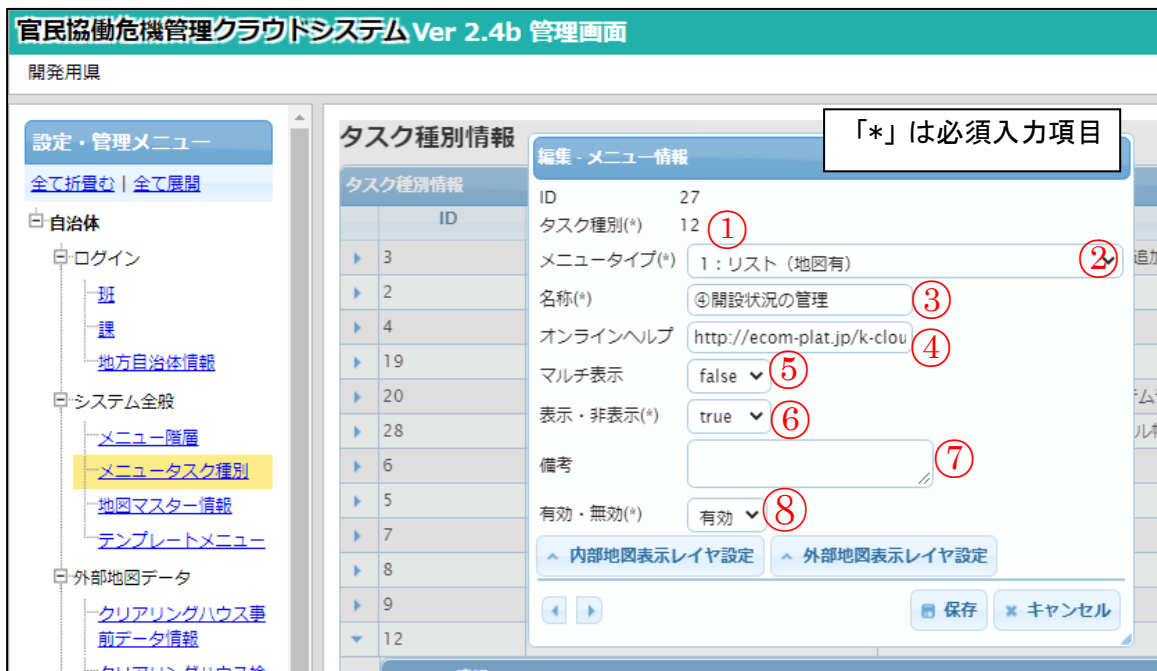


図 6-30 登録ボタン>追加・メニュー情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-10 追加・メニュー情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	タスク種別	選択されているタスク種別の ID が自動入力される。	
②	メニュータイプ	メニュータイプ名をドロップダウンリストから選択する。	1: リスト (地図有)
③	名称	メニュー名称を記載する。メニューボタンの名称になる。	② 救助要請先割振
④	オンラインヘルプ	解説ボタン押下時に表示されるページの URL を設定する。	(URL)
⑤	マルチ表示	表の複数表示の可否を設定する。	false
⑥	表示・非表示	利用者画面上への表示可否を設定する。	true
⑦	備考	備考欄。	(なし)
⑧	有効・無効	メニュー情報の有効・無効を設定する。	有効

設定シートから内容を設定する場合は下図のメニューのそれぞれに対してデータを追加する。

A) メニュータイプについて

メニュータイプとは、メニューをクリックした際に表示される画面の種類を表す。
設定可能なメニュータイプとその概要は以下の通り。

表 6-11 メニュータイプとその概要

メニュータイプ	概要
1：リスト（地図有）	リストを表示する画面と地図を表示する画面が生成される。 メニューを開くと、最初にリストの画面が表示される。
2：リスト（地図無）	リストを表示する画面が生成される。
3：地図（リスト有）	リストを表示する画面と地図を表示する画面が生成される。 メニューを開くと、最初に地図の画面が表示される。
4：地図（リスト無）	地図を表示する画面が生成される。
5：要請	要請の画面が生成される。
6：4号様式	4号様式の画面が生成される。 ※Ver2.0からはエクセル帳票に置き換わったため設定しなすこと
7：公共情報コモンズ（緊急速報メール）	公共情報コモンズの緊急速報メールを発信する画面が生成される。 緊急速報メールを利用する場合は、公共情報コモンズが提供する「マスタ管理システム」および、各キャリアが提供する「管理システム」からの初期設定が必要になる。
8：公共情報コモンズ（メディア）：避難勧告	公共情報コモンズのメディア向け避難勧告を発信する画面が生成される。
9：SNS 通知	SNS 通知を発信する画面が生成される。
10：Twitter	Twitter 発信の画面が生成される。
11：職員参集	職員参集の画面が生成される。
12：公共情報コモンズ（メディア）：避難所	公共情報コモンズのメディア向け避難所情報を発信する画面が生成される。
13：使用不可（対応履歴）	対応履歴を表示する画面はこのメニューではなくリスト画面を使うこと。
14：監視観測	雨量・水位・ダムの監視観測画が生成される。

15：被災集計	被災状況の集計表を表示する画面が生成される。
16：e コミグループウェア周知	e コミグループウェアに周知をする画面が生成される。
17：通知履歴	SNS の通知やメールの履歴を確認する画面が生成される。
18：4 号様式の集計・総括	都道府県用のメニュー。 登録した 4 号様式の総括表を表示する画面が生成される。 ※Ver2.0 からは「6：4 号様式」がエクセル帳票に置き換わったことにより廃止
19：体制の集計・総括	都道府県用のメニュー。 体制の集計表、総括表を表示する画面が生成される。
20：公共情報コモンズ（メディア）：お知らせ	公共情報コモンズのメディア向けお知らせ情報を発信する画面が生成される。
21：公共情報コモンズ（メディア）：イベント情報	公共情報コモンズのメディア向けお知らせ情報を発信する画面が生成される。
22：公共情報コモンズ（メディア）：被害情報	公共情報コモンズのメディア向け被害情報を発信する画面が生成される。
23：公共情報コモンズ（メディア）：本部設置	公共情報コモンズのメディア向け本部設置情報を発信する画面が生成される。
24：被災集計の総括表	都道府県用のメニュー。 同じ災害グループに属する自治体の「15：被災集計」の集計表を 1 つの総括表に集約する画面が生成される。
25：投稿写真振り分け	投稿写真アプリ用のメニュー。 投稿写真アプリでアップロードした画像を確認し、被災状況レイヤに振り分けるための画面を生成する。
26：エクセル帳票	エクセル形式のファイルをアップロードすることで、エクセルの帳票を画面に表示することが可能なメニューである。 エクセル帳票メニューの設定方法は「その他の設定」の「エクセル帳票」を確認すること。

B) 初期画面の登録について

初期画面の登録を行う際は、「表示・非表示」項目を false で設定する。false で設定を行うことで、利用者画面のメニュー一覧には項目が表示されず、設定した画面のみが表示される設定になる。

C) フィルタの検索について

登録されているメニュー情報の下位の階層には、フィルター設定をするフィルター情報テーブルが存在する。

フィルター情報を編集するダイアログの検索ボタンを押下することで、フィルター設定ダイアログが表示される。

各メニューが持つ項目に対し、属性検索または空間検索で設定した条件に沿ってフィルターを検索する。フィルター設定を保存すると自動的に ID が割り当てられ、次回同じ項目の同じ内容の検索を行う際に、検索履歴読み込みダイアログから設定を読み込むことができる。また、今回設定したフィルターは、利用者画面の地図の該当項目に反映される。

また、各ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

図 6-31 フィルター設定ダイアログ

表 6-12 フィルター情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	フィルター情報の名称を設定する。	移行データ
②	フィルター	フィルター設定ダイアログからフィルターIDを設定する。	12
③	備考	備考欄	
④	有効・無効	フィルター情報の有効・無効を設定する。	有効
⑤	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面のフィルター条件の変更ダイアログで上側に表示される。	1
⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはフィルター情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	フィルター情報ダイアログを閉じる。	

表 6-13 フィルター設定ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
⑧	検索対象	検索対象となる項目をドロップダウンリストから選択する。	公共施設
⑨	グレースアウト対象	検索対象に対し、ヒットする方・ヒットしない方をドロップダウンリストから設定する。設定された方がグレースアウトになる。	ヒットした方
⑩	属性検索タブ	属性検索のフィルター条件を設定する。	(別表参照)
⑪	空間検索タブ	空間検索のフィルター条件を設定する。	(別表参照)
⑫	読み込み	検索履歴読み込みダイアログが表示される。	
⑬	保存	設定された情報を検索履歴に保存する。	
⑭	決定し閉じる	設定されたフィルター条件の ID がメニュー情報ダイアログに自動入力される。設定された情報が事前に検索履歴に保存されていない場合は無効となる。	
⑮	閉じる	フィルター設定ダイアログを閉じる。	

設定シートから内容を設定する場合は下図のフィルターのそれぞれに対してデータを追加する。

(a) 属性検索タブ

検索対象の項目が持つ属性の値に対し、条件を設定する。

フィルター設定

検索対象: 避難勧告・避難指示の発令単位

フィルタ条件に: ヒットした方 をグレースアウトにする

属性検索 空間検索

属性選択 地区名 ① + 検索条件追加 ②

地区名: ③ 含む ④ 削除 ⑥

AND ⑤

地区名: 含む 削除 ⑦

全て削除

読み込み 保存 決定し閉じる 閉じる

図 6-32 フィルター設定ダイアログの属性検索タブ

表 6-14 フィルター設定ダイアログの属性検索タブの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性選択	検索対象になる属性をドロップダウンリストから選択する。	地区名
②	検索条件追加	選択された属性に関する検索条件の行を追加する。	
③	値	属性の値を記入もしくはドロップダウンリストから選択する。	〇〇地区
④	フィルター条件	属性の値に対する条件をドロップダウンリストから選択する。	含む
⑤	AND/OR	複数の検索条件に関して、AND・OR をドロップダウンリストから選択する。	AND
⑥	削除	該当の行に設定された条件を削除する。	
⑦	全て削除	設定された条件をすべて削除する。	

(b) 空間検索タブ

他の項目に設定されている値に対し、条件を設定する。

フィルター設定

検索対象: 避難勧告・避難指示の発令単位

フィルタ条件に: ヒットした方 をグレーアウトにする

属性検索 空間検索

+ 追加 ①

② 避難勧告・避難指示の発令単位 ③ 0 m ④ 範囲と重なる ⑥ 削除

AND ⑤

⑦ 避難勧告・避難指示の発令単位 0 m 範囲と重なる 削除

全て削除

読み込み 保存 決定し閉じる 閉じる

図 6-33 フィルター設定ダイアログの空間検索タブ

表 6-15 フィルター設定ダイアログの空間検索タブの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	追加	検索条件の行を追加する。	
②	対象レイヤ	対象となる項目をドロップダウンリストから選択する。	要援護者施設
③	フィルター値	選択された項目に関して、値をドロップダウンリストから選択する。	100
④	フィルター条件	フィルター値に対する条件をドロップダウンリストから選択する。	範囲と重なる
⑤	削除	該当の行に設定された条件を削除する。	
⑥	すべて削除	設定された条件をすべて削除する。	

(c) 検索履歴読み込みダイアログ



図 6-34 検索履歴読み込みダイアログ

表 6-16 検索履歴読み込みダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	検索履歴読み込み	チェックを入れた設定内容を読み込み、属性検索タブと空間検索タブに反映する。	
②	削除	チェックを入れた設定を検索履歴から削除する。	
③	閉じる	検索履歴読み込みダイアログを閉じる。	

(d) 検索条件を保存ダイアログ



図 6-35 検索条件を保存ダイアログ

表 6-17 検索条件を保存ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	検索条件名称	設定した検索条件が設定される。	(自動設定される)
②	保存	設定が保存される。	
③	閉じる	検索条件の保存ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニュー情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニュー情報を編集する

編集を行いたいメニュー情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュー情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュー情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-10 及び表 6-18 を参照。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) [ロミマップ](#)

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ
その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14: 岩手県釜石市	A: 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		初期画面			false		有効
219	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		の発令状況の確認と訂正			true		有効
220	47: A: 避難勧告・指示の8: 公共情報コモンズ(※)の公共情報コモンズ(※)					true		有効
221	47: A: 避難勧告・指示の7: 公共情報コモンズ(※)の公共情報コモンズ(※)					true		有効
222	47: A: 避難勧告・指示の9: SNS通知		※Facebookによる周知			true		有効
223	47: A: 避難勧告・指示の10: Twitter		※twitterによる周知			true		有効
224	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)		※対応状況			true		有効
225	47: A: 避難勧告・指示の13: 対応履歴		※対応履歴			true		有効

編集ボタン

編集・メニュー情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

編集・メニュー情報

ID: 218
タスク種別(*): 47
メニュータイプ(*): 1: リスト(地図有)
名称(*): 初期画面
オンラインヘルプ:
フィルター:
表示・非表示(*): false
備考:
有効・無効(*): 有効

① 内部地図表示レイヤ設定
② 外部地図表示レイヤ設定
③ 保存
④ キャンセル

名称	表示順
A: 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47

名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示
初期画面			false
の発令状況の確認と訂正			true
の公共情報コモンズ(※)			true
の公共情報コモンズ(※)			true
※Facebookによる周知			true
※twitterによる周知			true
※対応状況			true
※対応履歴			true

1 ページ中 1 ページ目 30

B: 避難誘導(観光施設) 49
C: 避難誘導(要援護者施設) 50

図 6-36 編集ボタン>編集・メニュー情報ダイアログ

表 6-18 編集ボタン>メニュー情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	内部地図表示レイヤ設定	内部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。	
②	外部地図表示レイヤ設定	外部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。	
③	前へ	前のメニュー情報を表示する。	
④	次へ	次のメニュー情報を表示する。	

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

A) 内部地図表示レイヤ設定について

編集・メニュー情報ダイアログの内部地図表示レイヤ設定ボタンを押下すると、内部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。e コミマップに登録されているレイヤを利用することができる

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ
その他

タスク種別情報
編集・メニュー情報
ID: 218
タスク種別(*): 47
メニュータイプ(*): 1:リスト(地図有)
名称(*): 初期画面
オンラインヘルプ:
フィルター: 検索
表示・非表示(*): false
備考:
有効・無効(*): 有効
内部地図表示レイヤ設定
外部地図表示レイヤ設定
保存 キャンセル

内部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される

内部地図表示レイヤ設定
内部地図

ID	レイヤ名称	編集	リスト	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	スナップフラグ	追加フラグ(他)	追加フラグ(自)	削除フラグ	有効・無効	表示順
214	148:主要施設	☐	☐	true	true	false	false			有効	1
215	149:避難所	☐	☐	true	true	false	false			有効	2
216	157:道路線状	☐	☐	false	true	false	false			有効	3
217	154:道路状況	☐	☐	false	true	false	false			有効	4
218	153:重要路線	☐	☐	true	true	false	false			有効	5
220	123:浸水(津)	☐	☐	false	true	false	false			有効	6
221	117:避難勧告・	☐	☒	true	false	false	false	false	false	有効	8

7件中 1 - 7を表示
キャンセル

図 6-37 内部地図表示レイヤ設定ダイアログ

B) 外部地図表示レイヤ設定について

編集・メニュー情報ダイアログの外部地図表示レイヤ設定ボタンを押下すると、外部地図表示レイヤ設定ダイアログが表示される。クリアリングハウスに登録されているレイヤを利用することができる。

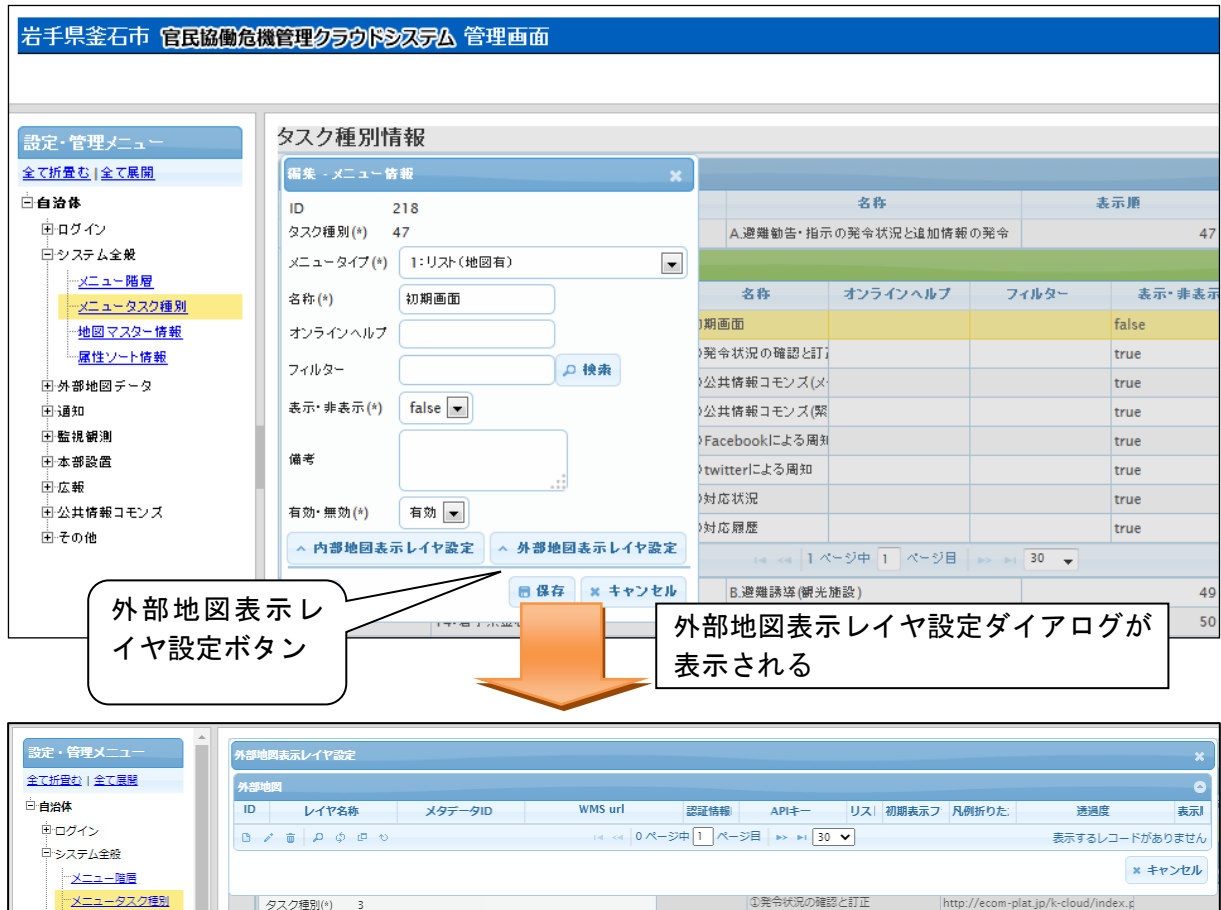


図 6-38 外部地図表示レイヤ設定ダイアログ

3) メニュー情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュー情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュー情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュー情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュー情報をコピーする

登録済みメニュー情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュー情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-10 及び表 6-18 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュー情報が作成される。

(3) メニューテーブル情報の編集

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の 1 つであるメニューテーブル情報について説明する。

メニューテーブル情報では、メニューに紐づくリストページの設定を行う。上位の階層であるメニュー情報において、メニュータイプが「リスト(地図有)」「リスト(地図無)」「地図(リスト有)」の場合に、メニューテーブル情報を設定する必要がある。

なお、利用者ページには 1 つのメニューにつき 1 つのテーブルのみ表示される。したがって、複数のメニューテーブル情報を登録した場合でも、ID の値が一番小さいメニューテーブル情報のみ反映される。

以下に、メニューテーブル情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot shows the 'Menu Table Information' (メニューテーブル情報) editing interface. The left sidebar contains a navigation menu with options like 'Menu List' (メニュー一覧), 'Menu Task List' (メニュータスク一覧), 'Map Master List' (地図マスター一覧), and 'Menu Table List' (メニューテーブル一覧). The main area displays a table for editing menu table information.

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルタ	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47: A.避難勧告・指示	1: リスト(地図有)	初期画面			false		有効

Below the table, there is a section for 'Menu Table Information' (メニューテーブル情報) with a table for editing table details:

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
164	218: 初期画面	117: 避難勧告・避難指示の発令単位	false	false

At the bottom, there is a 'Page Button Display Information' (ページボタン表示情報) table:

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順

図 6-39 メニューテーブル情報の編集

1) メニューテーブル情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括管理(防災危機管理) [eコマース](#)

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー管理

メニュー登録

メニュータスク登録

通知

監視観測

本部設置

広報

公共施設連携

タスク種別情報

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47 本部用	

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
47	A:避難勧告・指示の1:リスト(地図有)	初期画面				false		有効

テーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
164	218:初期画面	117:避難勧告・避難指示の発令単位	false	false

ページボタン表示情報

ID	メニューID	テーブルID

登録ボタン

追加・メニューテーブル情報ダイアログが表示される

編集・メニューテーブル情報

ID 40

メニューID(*) 47 ①

テーブルID(*) 40: 避難勧告・避難指示の発令単位 ②

追加フラグ(*) true ③

削除フラグ(*) true ④

合計フラグ(*) true ⑤

表示順(*) ⑥

(第1階層)

アコーディオン対象項目 ⑦ 検索

名称 ⑧ 検索

アコーディオン初期開放 true ⑨

(第2階層)

アコーディオン対象項目 検索

名称 検索

アコーディオン初期開放 true

(第3階層)

アコーディオン対象項目 検索

名称 検索

アコーディオン初期開放 true

遷移先文字列カラム ⑩ 検索

⑪

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

第1階層～第3階層のアコーディオン設定は、6) アコーディオン機能参照のこと

図 6-40 登録ボタン>追加・メニューテーブル情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-19 追加・メニューテーブル情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	テーブル ID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	4:体制発令
③	追加フラグ	true の場合、利用者画面から項目を追加することができる。	true
④	削除フラグ	true の場合、利用者画面から項目を削除することができる。	true
⑤	合計フラグ	true の場合、数値の合計を示す行を追加する。テーブルマスター情報(6.1.2.3 (2))の” ページング” が true の場合は、表示されているページの合計値を表示する。	true
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が一番若いものが利用者画面に表示される。 集計時には、一番若いものが集計対象となり、次に若いものが集計リストのメニューテーブル情報として集計される。	1
⑦	アコーディオン対象項目	リスト画面に表示する際にグループ化する対象項目の属性 ID を設定する。	attr2
⑧	名称	リスト画面に表示する際にグループ化する対象項目の属性名称を設定する。	住所
⑨	アコーディオン初期開放	true の場合、アコーディオンが開いた状態で表示される。	false
⑩	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはメニューテーブル情報一覧に表示される。	
⑪	キャンセル	追加・メニューテーブル情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニューテーブル情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニューテーブル情報を編集する

編集を行いたいメニューテーブル情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニューテーブル情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-19 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) メニューテーブル情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー情報を削除することができる。削除・メニューテーブル情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニューテーブル情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニューテーブル情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニューテーブル情報をコピーする

登録済みメニューテーブル情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニューテーブル情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-19 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニューテーブル情報が作成される。

6) メニューテーブル情報のアコーディオン機能

表画面の初期表示における 3 階層のグルーピング表示機能である。

各階層で指定された対象項目の属性がグルーピングされ、初期開放設定に応じて

true：表示

false：非表示

となる。

また、班課情報の「検索文字列」において班課に紐づく文字列を設定した場合、利用者画面ログイン時にそのページに遷移する。

	管理番号	遊覧所名称	拠点遊覧所	県名	市	町
合計	1275	-	-	-	-	-
▲ 若手県 (30)	465	-	-	-	-	-
▲ 福岡市 (15)	345	-	-	-	-	-
▶ 中津市 (5)	140	-	-	-	-	-
▶ 大津市 (10)	205	-	-	-	-	-
▲ 釜石市 (15)	120	-	-	-	-	-
▲ 大町 (7)	84	-	-	-	-	-
☞ ○	9	青葉ビル (1階)		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	10	釜石小学校体育館	拠点遊覧所	岩手県	釜石市	大町
☞ ○	11	釜石市保健福祉センター (9階)	拠点遊覧所	岩手県	釜石市	大町
☞ ○	12	釜石市教育センター (5階会議室)		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	13	松原地区コミュニティ消防センター		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	14	釜石市民交流センター		岩手県	釜石市	大町
☞ ○	15	白山小学校体育館	拠点遊覧所	岩手県	釜石市	大町
▲ 新潟県 (8)	36	-	-	-	-	-

(4) テーブルリスト項目情報

メニューテーブル情報の下位の階層にはテーブルリスト項目情報が存在する。テーブルリスト項目情報では、上位階層のメニューテーブル情報で設定した項目の属性に関する詳細設定を行う。設定は利用者画面のリスト画面における、リストの列の名称

に反映される。

以下に、テーブルリスト項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

〇〇県〇〇市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

本部

eコマース

設定・管理メニュー

全て拡張 | 全て閉じる

自治体

ログイン

システム全般

メニュー階層

メニュータスク種別

地図マスタ情報

属性ソート情報

外部地図データ

通知

監視観測

避難勧告・指示

本部設置

広報

公共情報コンズ

その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
11	6:〇〇県〇〇市	testタスク	1	
12	6:〇〇県〇〇市	A.避難勧告・指示の発令状況と追加情報	2	
13	6:〇〇県〇〇市	A.人命救助	3	
14	6:〇〇県〇〇市	A.体制発令	4	

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
33	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	初期画面			false		有効
34	14:A.体制発令	2:リスト(地図無)	①体制の発令、移行、			true		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
46	34:①体制の発令、移行、解除	4:体制発令	true	true

テーブルリスト項目情報

ID	メニューテーブル	テーブル項目	名称	編集可	強調表示	グループ化	ソート可	デフォルトソ	ファイルアップ	ログ出力可	表示順
19	46	stationclassir	体制区分ID	false	false	false	true	-1	false	false	1
20	46	shifttime	移行時間(手入)	false	false	false	true	-1	false	false	2
21	46	note	備考	true	true	false	true	-1	false	false	3

1ページ中 1 ページ目 30

3件中 1 - 3 を表示

1ページ中 1 ページ目 30

1件中 1 - 1 を表示

図 6-41 テーブルリスト項目情報の編集

88

1) テーブルリスト項目情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。

図 6-42 登録ボタン>追加・テーブルリスト項目情報ダイアログ

図 6-42 登録ボタン>追加・テーブルリスト項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-20 追加・テーブルリスト項目情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューテーブル ID	選択されているメニューテーブル情報の ID が自動入力される。	
②	テーブル項目名	選択されているメニューテーブル情報に対応する属性のテーブル項目名を設定する。 「属性情報選択画面」からテーブル項目名を選択する。	attr0
③	名称	選択されているメニューテーブル情報に対応する属性の名称を設定する。 「属性情報選択画面」からテーブル項目名を選択する。	管理番号
④	編集可	true の場合、利用者画面から属性を編集することができる。	false
⑤	強調表示	true の場合、利用者画面の属性が強調表示される。	false
⑥	グループ化	一括変更ボタン押下時の、グループ属性として指定を可能にする設定。true の場合、グループ化による一括変更が可能となる。	false
⑦	ソート可	リスト表示時のソート設定。true の場合ソートが可能となる。	true
⑧	デフォルトソート項目	項目のソートの設定を行う。ソートできる項目は 1 つだけのため、複数設定した場合は、表示順で一番最後の項目でソートされる。 設定値は以下の通り。 -1: ソートしない(デフォルト) 0: 昇順 1: 降順	-1
⑨	ファイルアップロード可	true の場合、項目に対して写真等の電子データをアップロードすることができる。	false
⑩	ログ出力可	対応履歴に履歴を残すかの設定。true の場合、属性が変化するタイミングでログが対応履歴に表示される。	false
⑪	初期チェック	true の場合、一括変更の際に対象項目として	false

		チェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	
⑫	グループ初期チェック	true の場合、一括変更の際に一括変更グループのチェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	false
⑬	一括追記	true の場合、一括追記のチェックボックスが表示される。	false
⑭	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で属性が左側に表示される。	2
⑮	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは テーブルリスト項目情報一覧 に表示される。	
⑯	キャンセル	追加・ テーブルリスト項目情報 ダイアログを閉じる。	

A) テーブル項目名および名称の検索について

テーブル項目名または名称の検索ボタンを押下することで、属性情報選択画面ダイアログが表示される。ダイアログ内には、選択されたメニューテーブル情報に対応する属性の一覧が表示される。行を選択し選択ボタンを押すと、テーブルリスト項目情報ダイアログにテーブル項目名と名称が入力される。なお、このときテーブル項目名と名称の検索ボタンのどちらを押下した場合でも、選択した行が同じであればテーブルリスト項目情報ダイアログに入力される値は同様である。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-21 属性情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
②	選択	選択した行のテーブル項目名および名称が テーブルリスト項目情報 ダイアログに自動入力される。	
③	キャンセル	属性情報選択画面 ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、テーブルリスト項目情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブルリスト項目情報を編集する

編集を行いたいテーブルリスト項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブルリスト項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-20 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブルリスト項目情報を削除する

データの削除を行いたいテーブルリスト項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブルリスト項目情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブルリスト項目情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブルリスト項目情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブルリスト項目情報をコピーする

登録済みテーブルリスト項目情報をコピーし、それをもとに新たにテーブルリスト項目情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・テーブルリスト項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-20 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブルリスト項目情報が作成される。

(5) 属性行スタイル情報

テーブルリスト項目情報の下位の階層には属性行スタイル情報が存在する。

属性行スタイル情報では、上位階層のテーブルリスト項目情報で設定した属性のスタイルに関する設定を行う。

指定した属性値に対してスタイルを設定すると、利用者画面において対応する属性値のみスタイルが設定される。テーブルリスト項目情報の 1 つの行に対して、複数の属性行スタイル情報を設定することが可能である。

以下に、属性行スタイル情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管)

eコマースマップ

設定・管理メニュー

全て所管 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー管理

メニュータスク種別

地図マスター情報

外部地図データ

通知

監視観測

避難勧告・指示

本部設置

広報

公共情報コモンズ

659 14:岩手県釜石市 A広域搬送ルート 659

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
4058	659:A広域搬送ルート3:地図(リスト有)	①被災が予想される区画			false			有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
3550	4058:①被災が予想される区画の抽出	153:重要路線	true	true

テーブルリスト項目情報

ID	メニューID	テーブル項目	名称	編集可	強調表示	グループ化	ソート可	デフォルトソート	ファイルアップ	ログ出力可	表示順
2281(3550)	attr18	調査の必要性	true	true	false	true	-1	false	false	5	

属性行スタイル情報

ID	テーブルリスト項目ID	値	スタイル文字列
576	22810:調査の必要性	あり	color: red;

1 ページ中 1 ページ目 30 1 件中 1 - 1 を表示

図 6-43 属性行スタイル情報の編集

1) 属性行スタイル情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。

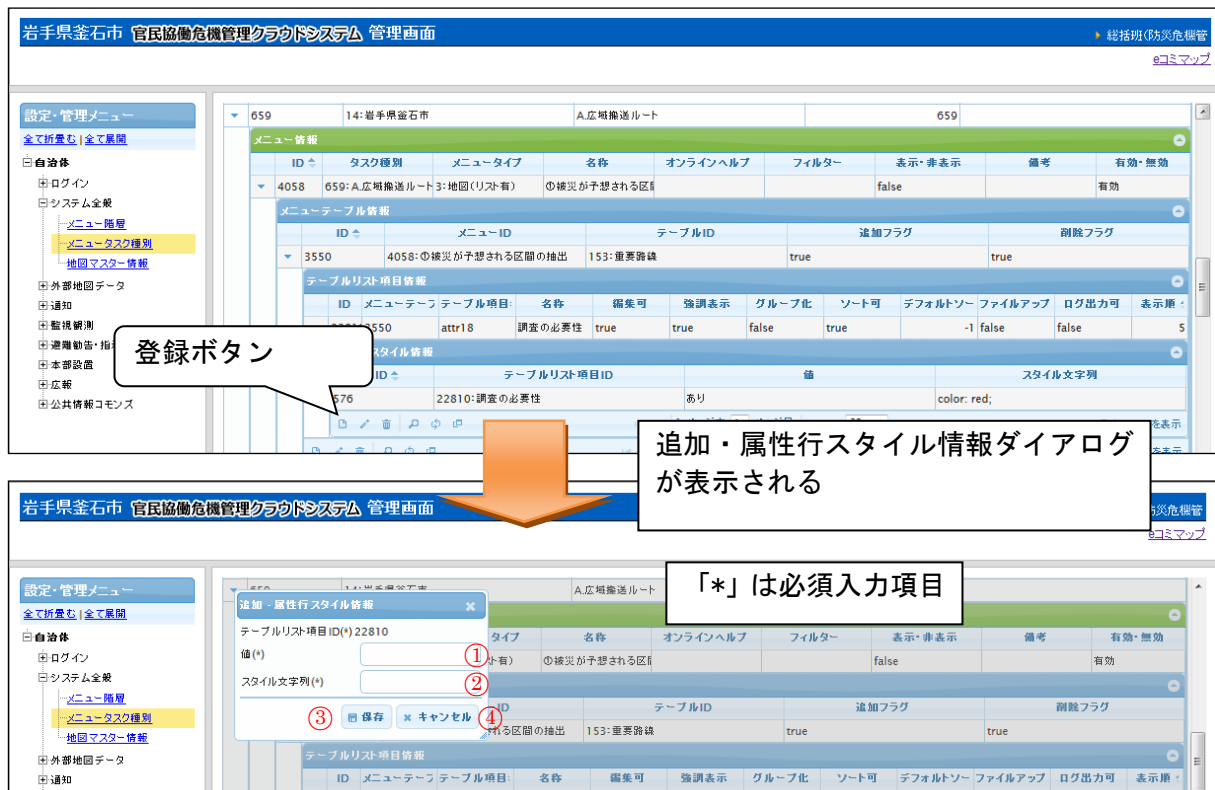


図 6-44 登録ボタン>追加・属性行スタイル情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-22 追加・属性行スタイル情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	テーブルリスト項目 ID	選択されているテーブルリスト情報の ID が自動入力される。	
②	値	スタイルを設定したい属性値を記載する。	避難指示
③	スタイル文字列	指定した値に対するスタイルを「プロパティ: 値;」の形で入力する。	background-color: red; font-weight: bold;
④	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは属性行スタイル情報一覧に表示される。	
⑤	キャンセル	追加・属性行スタイル情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、属性行スタイル情報一覧にデータが新規追加される。

設定シートから内容を設定する場合は下図のメニューテーブルの小項目のうちの属性行スタイル情報それぞれに対してデータを追加する。

2) 属性行スタイル情報を編集する

編集を行いたい属性行スタイル情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された属性行スタイル情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-22 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 属性行スタイル情報を削除する

データの削除を行いたい属性行スタイル情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の属性行スタイル情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 属性行スタイル情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに属性行スタイル情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 属性行スタイル情報をコピーする

登録済み属性行スタイル情報をコピーし、それをもとに新たに属性行スタイル情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・属性行スタイル情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-22 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに属性行スタイル情報が作成される。

(6) ページボタン表示情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つであるページボタン表示情報について説明する。

ページボタン表示情報ではメニューに紐づくボタンの登録を行う。登録されたボタンは利用者画面の各ページ下部に配置され、押下時にはページボタン ID に応じた動作が行われる。

以下に、ページボタン表示情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管)

エディタ

設定・管理メニュー

全て折畳み | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

メニュー階層

メニュータスク種別

地図マスター情報

属性シート情報

外部地図データ

通知

監視観測

本部設置

広報

公共情報コモンズ

その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14: 岩手県釜石市	A: 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)	初期画面				false		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
164	218: 初期画面	117: 避難勧告・避難指示の発令単位	false	false

ページボタン表示情報

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
14057	218: 初期画面	11: CSV出力			false	1
14058	218: 初期画面	2: 印刷			false	2
14059	218: 初期画面	3: 情報発信			false	3
14061	218: 初期画面	10: 一括更新			false	4
14062	218: 初期画面	4: 更新			false	5
14064	218: 初期画面	5: 新規登録			false	6

地図レイヤー情報

図 6-45 ページボタン表示情報の編集

1) ページボタン表示情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳み | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
属性ソート情報
外部地図データ
通知
監視観測
本部設置
広報
公共情報コモンズ
その他

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14: 岩手県釜石市	A: 避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47 本部用	

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47: A: 避難勧告・指示の1: リスト(地図有)	初期画面				false		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ
164	218: 初期画面	117: 避難勧告・避難指示の発令単位	false	false

ページボタン表示情報

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
14057	218: 初期画面	11: CSV出力			false	1
14058	218: 初期画面	2: 印刷			false	2
	218: 初期画面	3: 情報発信			false	3
	218: 初期画面	10: 一括更新			false	4
	218: 初期画面	4: 更新			false	5
14064	218: 初期画面	5: 新規登録			false	6

登録ボタン

追加・ページボタン表示情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

追加 - ページボタン表示情報

メニューID(*) 218 ①

ページボタンID(*) 1: ②

リンク ③

ターゲット名 ④

利用可フラグ(*) false ⑤

表示順(*) 7 ⑥

⑦ 保存 ⑧ キャンセル

図 6-46 登録ボタン>追加・ページボタン表示情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-23 追加・ページボタン表示情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	ページボタン ID	「システム>システム全般>ページボタンマスタ」に登録されているページボタンをドロップダウンリストから選択する。	2:印刷
③	リンク	URL を設定する。URL が設定されている場合、そのアドレスを表示するメニューとして機能する。	(URL)
④	ターゲット名	Target 属性の指定を設定する。	(target 属性)
⑤	利用可フラグ	true の場合、利用者画面において、ボタン押下時にページボタン ID に応じた動作が行われる。false の場合、ボタンはグレイアウトされ、押下が不可能な状態に設定される。	true
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で右側に表示される。	2
⑦	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはページボタン表示情報一覧に表示される。	
⑧	キャンセル	追加・ページボタン表示情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、ページボタン表示情報一覧にデータが新規追加される。

A) ページボタンID

ID	概要
2:印刷	表示中の地図やリストを PDF に出力する。
3:情報発信	情報発信ページを表示し、メールを送信する。
4:変更登録	リスト画面で、データの変更を保存する。
5:データの追加	新たにデータを登録する。
6:送信	メールや SNS に送信する。

7:道路被災状況	未使用
8:空港被災状況	未使用
9:航路被災状況	未使用
10:一括変更	データを一括で変更または追記する。
11:CSV 出力	リストに表示されているテーブルの全件、全属性を CSV ファイルとして出力する。
13:過去集計	被災集計メニューで、過去の集計を参照するダイアログを表示する。
14:被災者推計	被災者推計ウィンドウを開き、演算を行う。
15:履歴	履歴を確認するためのタイムスライダーを表示する。
16:集計	外部リストの集計結果の更新を行う。
17:検索	属性検索ウィンドウを開き、リストページで属性検索を行う。
18:変更反映	リスト画面上で属性を変更している場合は「変更登録」として機能し、それ以外は「一括変更」として機能する
19:旧 CSV 出力	リストに表示されているデータを CSV ファイルとして出力する。

2) ページボタン表示情報を編集する

編集を行いたいページボタン表示情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたページボタン表示情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-23 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) ページボタン表示情報を削除する

データの削除を行いたいページボタン表示情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のページボタン表示情報を削除することができる。削除・ページボタン表示情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) ページボタン表示情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにページボタン表示情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参

照。

5) ページボタン表示情報をコピーする

登録済みページボタン表示情報をコピーし、それをもとに新たにページボタン表示情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・ページボタン表示情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-23 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにページボタン表示情報が作成される。

(7) 地図レイヤ情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである地図レイヤ情報について説明する。

地図レイヤ情報では、メニューに紐づく地図ページの項目(レイヤ)および地物の表示について設定を行う。

上位の階層であるメニュー情報において、メニュータイプが「リスト(地図有)」「地図(リスト有)」「地図(リスト無)」の場合に、地図レイヤ情報を設定する必要がある。

以下に、地図レイヤ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

宮崎県小林市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

28220 6454:初期画面 5:新規登録 false 6

1 ページ中 1 ページ目 30 6件中 1 - 6を表示

ID	メニューID	テーブルマスターID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	編集フラグ	追加フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤID	有効・無効	表示順
23106	6454:初期画面	302:主要施設(庁舎)	true	true	false	false	false		有効	1
23102	6454:初期画面	293:監視カメラ	true	false	false	false	false		有効	2
23103	6454:初期画面	322:エレベータ(水位)	true	false	false	false	false		有効	3
23104	6454:初期画面	323:エレベータ(雨量)	true	false	false	false	false		有効	4
23105	6454:初期画面	297:土石流センサー	true	false	false	false	false		有効	5
23107	6454:初期画面	309:道路被災箇所	false	true	false	false	false		有効	7
23108	6454:初期画面	308:道路状況	false	true	false	false	false		有効	8
23109	6454:初期画面	307:重要路線	true	false	false	false	false		有効	9
23113	6454:初期画面	338:家火山災害(降)	true	false	false	false	false		有効	10
47039	6454:初期画面	466:行政界(宮崎県)	true	true	false	false	false		有効	11
47040	6454:初期画面	468:行政界(宮崎県)	true	true	false	false	false		有効	12

11件中 1 - 11を表示

地図参照レイヤ情報

図 6-47 地図レイヤ情報の編集

地図レイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・地図レイヤ情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

ID	メニューID	テーブルマスターID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	編集フラグ	追加フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤID	有効・無効	表示順
23106	6454:初期画面	302:主要施設(庁舎)	true	true	false	false	false		有効	1
23102	6454:初期画面	293:監視カメラ	true	false	false	false	false		有効	2
23103	6454:初期画面	322:テレメータ(水位)	true	false	false	false	false		有効	3
23104	6454:初期画面	323:テレメータ(雨量)	true	false	false	false	false		有効	4
23105	6454:初期画面	297:土石流センサー	true	false	false	false	false		有効	5
23107	6454:初期画面	309:道路被災箇所	false	true	false	false	false		有効	7
23108	6454:初期画面	308:道路状況	false	true	false	false	false		有効	8
9	6454:初期画面	307:重要路線	true	false	false	false	false		有効	9
3	6454:初期画面	338:豪次山災害(降)	true	false	false	false	false		有効	10
9	6454:初期画面	466:行政界(宮崎県)	true	false	false	false	false		有効	11
47040	6454:初期画面	466:行政界(宮崎県)	true	true						12

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	有効・無効	表示順
1062	6454:初期画面	re133	false	true	有効	1
3798	6454:初期画面	re134	false	true	有効	2
1822	6454:初期画面	re132_0	true	false	有効	3
1823	6454:初期画面	re136_0	true	true	有効	4

図 6-48 登録ボタン>追加・地図レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-24 追加・地図レイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	テーブルマスターID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	199: 監視カメラ
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	true
④	凡例折りたたみフラグ	利用者画面における凡例の折りたたみの状態をドロップダウンリストから選択する。	true
⑤	編集フラグ	true の場合、利用者画面から項目を編集することができる。	false
⑥	追加フラグ	true の場合、利用者画面から項目を追加することができる。	false
⑦	スナップフラグ	true の場合、地物(点、線、面)の登録時に、マウスカーソルがスナップするようにできる。	false
⑧	切り出しレイヤID	点、線、面、を登録した時に、切り出しレイヤIDの地物と空間演算でトリミング処理を行うことができる。	ref21
⑨	有効・無効	地図レイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑩	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で凡例が上位に表示される。	2
⑪	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは 地図レイヤ情報一覧 に表示される。	
⑫	キャンセル	追加・ 地図レイヤ情報 ダイアログを閉じる。	

A) 地図マスター情報との関連について

あらかじめ「地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録された項目の ID をテーブルマスターIDとして設定することで、利用者画面の地図ページの凡例一覧と地図上に項目および地物が表示される。

B) 初期表示フラグについて

初期表示フラグでは、該当の項目の初期状態を設定する。true の場合、利用者画面の初期状態において地図ページの凡例一覧の左側にチェックが記入され、地図上に地物が表示される。false の場合、地図ページの凡例一覧の左側のチェックは外され、地図上の地物も表示されない。

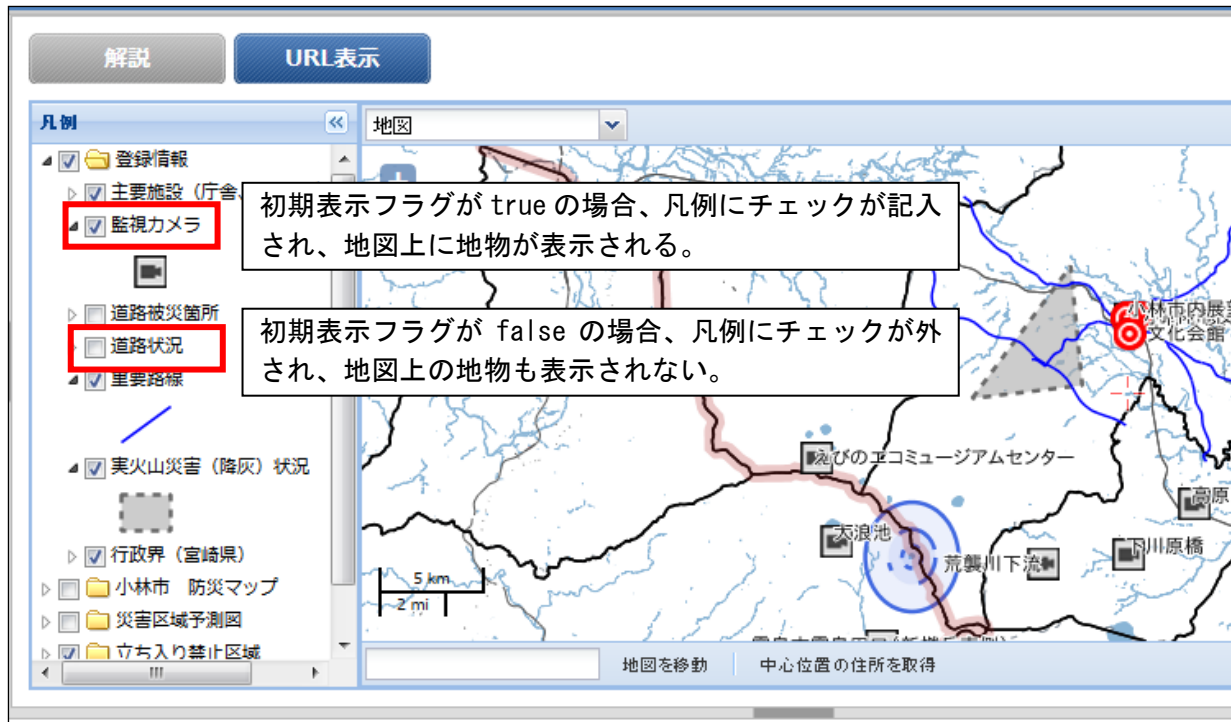


図 6-49 初期表示フラグ

C) 凡例の折りたたみについて

利用者画面の凡例一覧において、true の場合は凡例が折りたたまれた状態で表示され、false の場合は凡例が開かれた場合で表示される。



図 6-50 凡例の折りたたみ

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図レイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-24 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図レイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図レイヤ情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図レイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図レイヤ情報をコピーする

登録済み地図レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図レイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-24 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図レイヤ情報が作成される。

(8) 地図レイヤ属性情報

登録された地図レイヤ情報の下位の階層には地図レイヤ属性情報が存在する。

地図レイヤ属性情報では、上位階層の地図レイヤ情報で設定した項目の属性に関する詳細設定を行う。

以下に、地図レイヤ属性情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。



図 6-51 地図レイヤ属性項目情報の編集

1) 地図レイヤ属性情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) コミマップ

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全貌
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
外部地図データ
通知
監視画面
連携動作・指示
本部設置
広報
公共情報コンソ

地図レイヤ属性情報

ID	メニューID	テーブルマスタID	初期表示フラグ	凡例折りたたみ	編集フラグ	追加フラグ	スナップフラグ	切り出しレイヤID	有効・無効	表示順
221	218:初期画面	117:連携動作・連	true	false	false	false	false		有効	8

地図レイヤ属性情報

ID	地図レイヤID	属性項目名	名称	編集フラグ	ハイライト	グループ化	表示順
702	221	attr1	管理番号	false	false	false	1
703	221	attr0	地区名	false	false	false	2
705	221	attr2	宛令時刻	false	false	false	3
704	221	attr3	宛令時刻	false	false	false	4
	221	attr4	対象世帯数	false	false	false	5
	221	attr5	対象人数	false	false	false	6
	221	attr6	備考	false	false	false	7
706	221	attr7	最終更新日時	false	false	false	8

登録ボタン

追加・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される

岩手県釜石市 釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) コミマップ

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全貌
メニュー階層
メニュータスク種別
地図マスター情報
外部地図データ
通知
監視画面
連携動作・指示
本部設置
広報
公共情報コンソ

追加・地図レイヤ属性情報

地図レイヤID(*) 221

属性項目名(*)

名称(*)

編集フラグ(*) false

ハイライト(*) false

グループ化(*) false

表示順(*) 9

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

属性項目名	名称	編集フラグ	ハイライト	グループ化	表示順
管理番号		false	false	false	1
地区名		false	false	false	2
宛令時刻		false	false	false	3
宛令時刻		false	false	false	4
最終更新日時		false	false	false	8
備考		false	false	false	7
対象世帯数		false	false	false	5
対象人数		false	false	false	6

1 ページ中 1 ページ目 30

8件中 1 - 8 を表示

図 6-52 登録ボタン>追加・地図レイヤ属性情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-25 追加・地図レイヤ属性情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	地図レイヤ ID	選択されている地図レイヤ情報の ID が自動入力される。	
②	属性項目名	選択されている地図レイヤ情報に対応する属性の属性項目名を設定する。 「e コミマップ情報選択画面」から属性項目名を選択する。	attr0
③	名称	選択されている地図レイヤ情報に対応する属性の名称を設定する。 「e コミマップ情報選択画面」から属性項目名を選択する。	管理番号
④	編集フラグ	true の場合、利用者画面から属性を編集することができる。	false
⑤	ハイライト	true の場合、利用者画面の属性が強調表示される。	false
⑥	グループ化	一括変更ボタン押下時の、グループ属性として指定を可能にする設定。true の場合、グループ化による一括変更が可能となる。	false
⑦	初期チェック	true の場合、一括変更の際に対象項目としてチェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	true
⑧	グループ初期チェック	true の場合、一括変更の際に一括変更グループのチェックボックスにチェックが入っている状態で表示される。	true
⑨	一括追記	true の場合、一括追記のチェックボックスが表示される。	
⑩	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で属性が上位に表示される。	2
⑪	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは地図レイヤ情報一覧に表示される。	
⑫	キャンセル	追加・地図レイヤ情報ダイアログを閉じる。	

A) 属性項目名および名称の検索について

属性項目名または名称の検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。ダイアログ内には、選択された地図レイヤ情報に対応する属性の一覧が表示される。行を選択し選択ボタンを押すと、地図レイヤ属性情報ダイアログに属性項目名と名称が入力される。なお、このとき属性項目名と名称の検索ボタンのどちらを押下した場合でも、選択した行が同じであれば地図レイヤ属性情報ダイアログに入力される値は同様である。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-26 e コミマップ情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
④	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
⑤	選択	選択した行のテーブル項目名および名称がテーブルリスト項目情報ダイアログに自動入力される。	
⑥	キャンセル	属性情報選択画面ダイアログを閉じる。	

B) 編集フラグについて

編集フラグが true の場合でも、上位階層の地図レイヤ情報の編集フラグが false の場合、利用者画面から属性を編集することが不可能である。したがって、属性を編集可能にしたい場合は、地図レイヤ情報と地図レイヤ属性情報の編集フラグを両方 true にする必要がある。

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図レイヤ属性情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図レイヤ属性情報を編集する

編集を行いたい地図レイヤ属性情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図レイヤ属性情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-25 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図レイヤ属性情報を削除する

データの削除を行いたい地図レイヤ属性情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図レイヤ属性情報を削除することができる。削除・地図レイヤ属性情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図レイヤ属性情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図レイヤ属性情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図レイヤ属性情報をコピーする

登録済み地図レイヤ属性情報をコピーし、それをもとに新たに地図レイヤ属性情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図レイヤ属性情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-25 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図レイヤ属性情報が作成される。

(9) 地図KMLレイヤ情報

登録されているメニュー情報の階の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではそのうちの1つである地図 KML レイヤ情報について説明する。

地図 KML レイヤ情報ではハザードマップ等の KML 形式のレイヤの設定を行う。

以下に、地図 KML レイヤ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

岩手県釜石市 釜石市官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

総括班(防災危機管) [eコマースマップ](#)

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全貌
- メニュー階層
- メニュータスク種別**
- 地図マスター情報
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 避難勧告・指示
- 本部設置
- 広報
- 公社情報コンソ

タスク種別情報

タスク種別情報

ID	自治体ID	名称	表示順	備考
47	14:岩手県釜石市	A:避難勧告・指示の発令状況と追加情報の発令	47	本部用

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称	オンラインヘルプ	フィルター	表示・非表示	備考	有効・無効
218	47:A:避難勧告・指示の1:リスト(地図有)	初期画面				false		有効

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	追加フラグ	削除フラグ	合計フラグ
164	218:初期画面	117:避難勧告・避難指示の発令	false	false	true

ページボタン表示情報

ID	メニューID	ページボタンID	リンク	ターゲット名	利用可フラグ	表示順
14057		11:CSV出力				1
1		印刷				2

821:①発令状況486
821:①発令状況477:避難勧告
6236 821:①発令状況483:東遼水(清false) true false false true false 有効 7
6238 821:①発令状況502:行政界(画true) true false false false false 有効 8

1ページ中 1 ページ目 30 1件中 1 - 1 を表示

地図KMLレイヤ情報

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	検索フラグ	有効・無効	表示順
13	821:①発令状況の確認と訂正	kml5248	true	true	有効	1
14	821:①発令状況の確認と訂正	kml5249	true	true	有効	2

1ページ中 1 ページ目 30 2件中 1 - 2 を表示

地図参照レイヤ情報

ID	メニューID	レイヤID	初期表示フラグ	参照折りたたみ	検索フラグ	有効・無効	表示順
----	--------	-------	---------	---------	-------	-------	-----

1) 地図 KML レイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。



図 6-53 登録ボタン>追加・地図参照レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-27 追加・地図参照レイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	レイヤ ID	「e コミマップ情報選択画面」からレイヤ ID を選択する。	ref21
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	true
④	検索フラグ	true にすると、地図画面で地物をクリックしたときにポップアップを表示する。	true
⑤	有効・無効	地図参照レイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で凡例が上位に表示される。	2
⑦	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは地図参照レイヤ情報一覧に表示される。	
⑧	キャンセル	追加・地図参照レイヤ情報ダイアログを閉じる。	

2) レイヤ ID の検索について

検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。あらかじめ登録されたレイヤを選択すると、地図 KML レイヤ情報ダイアログにレイヤ ID が入力される。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-28 e コミマップ情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
②	選択	選択した行のレイヤ ID が地図参照レイヤ情報ダイアログに自動入力される。	
③	キャンセル	e コミマップ情報選択画面ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図 KML レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

3) 地図 KML レイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図 KML レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図 KML レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-29 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存される。

4) 地図 KML レイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図 KML レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図 KML レイヤ情報を削除することができる。削除・メニュープロセス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

5) 地図 KML レイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図参照レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

6) 地図 KML レイヤ情報をコピーする

登録済み地図 KML レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図 KML レイヤ情報

を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図 KML レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-29 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図 KML レイヤ情報が作成される。

(10) 地図参照レイヤ情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである地図参照レイヤ情報について説明する。

地図参照レイヤ情報ではハザードマップ等の主題図の設定を行う。

以下に、地図参照レイヤ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

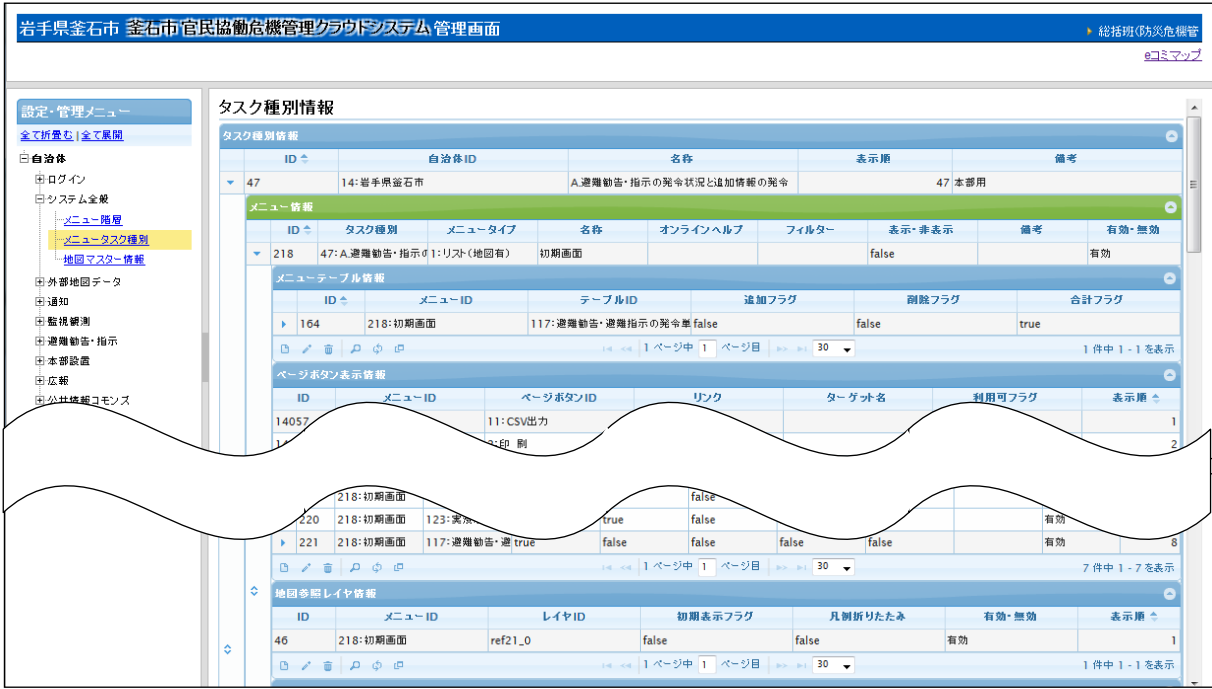


図 6-54 地図参照レイヤ情報の編集

1) 地図参照レイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。



図 6-55 登録ボタン>追加・地図参照レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-29 追加・地図参照レイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	レイヤ ID	「e コミマップ情報選択画面」からレイヤ ID を選択する。	ref21
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	true
④	凡例折りたたみ	利用者画面における凡例の折りたたみの状態をドロップダウンリストから選択する。	false
⑤	検索フラグ	true にすると、地図画面で地物をクリックしたときにポップアップを表示する。	true
⑥	透過度	地図参照レイヤの透過度を設定する。	0%(非透過)
⑦	有効・無効	地図参照レイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑧	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画	2

		面で凡例が上位に表示される。	
⑨	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは 地図参照レイヤ 情報一覧に表示される。	
⑩	キャンセル	追加・ 地図参照レイヤ 情報ダイアログを閉じる。	

2) レイヤ ID の検索について

検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。あらかじめ登録されたレイヤを選択すると、地図参照レイヤ情報ダイアログにレイヤ ID が入力される。

また、ダイアログの各項目の入力・表示内容は次のようになっている。

表 6-30 e コミマップ情報選択画面ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	レコード検索	押下すると検索ダイアログが表示され、検索条件を入力して検索すると、該当の情報のみが一覧に表示される。	
②	選択	選択した行のレイヤ ID が地図参照レイヤ情報ダイアログに自動入力される。	
③	キャンセル	e コミマップ情報選択画面ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図参照レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

3) 地図参照レイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図参照レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図参照レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-29 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存される。

4) 地図参照レイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図参照レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図参照レイヤ情報を削除することができる。削除・メニュープロセス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

5) 地図参照レイヤ情報を検索する

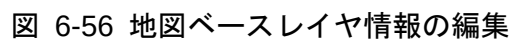
検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図参照レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は4.2.2を参照。

6) 地図参照レイヤ情報をコピーする

登録済み地図参照レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図参照レイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図参照レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-29を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図参照レイヤ情報が作成される。

以下に、地図ベースレイヤ情報の新規登録、編集、削除、コピーについて説明する。



1) 地図ベースレイヤ情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。



図 6-57 登録ボタン>追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-31 追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	レイヤ ID	利用者画面の地図ページに表示するベース地図を設定する。 「e コミマップ情報選択画面」からレイヤ ID を選択する。	wms1
③	初期表示フラグ	利用者画面における初期表示状態をドロップダウンリストから選択する。	false
④	有効・無効	地図ベースレイヤ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑤	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で地図ベースレイヤ情報が表示されるとき、上位に表示される。	2

⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは地図ベースレイヤ情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	追加・地図ベースレイヤ情報ダイアログを閉じる。	

A) レイヤ ID の検索について

検索ボタンを押下することで、e コミマップ情報選択画面ダイアログが表示される。あらかじめ登録されたレイヤを選択すると、地図ベースレイヤ情報ダイアログにレイヤ ID が入力される。

e コミマップ情報選択画面については 6.1.2.1(6)1) (A) 参照。

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、地図ベースレイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図ベースレイヤ情報を編集する

編集を行いたい地図ベースレイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された地図ベースレイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-31 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図ベースレイヤ情報を削除する

データの削除を行いたい地図ベースレイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図ベースレイヤ情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図ベースレイヤ情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図ベースレイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図ベースレイヤ情報をコピーする

登録済み地図ベースレイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに地図ベースレイヤ情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・地図ベースレイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-31 を参照。

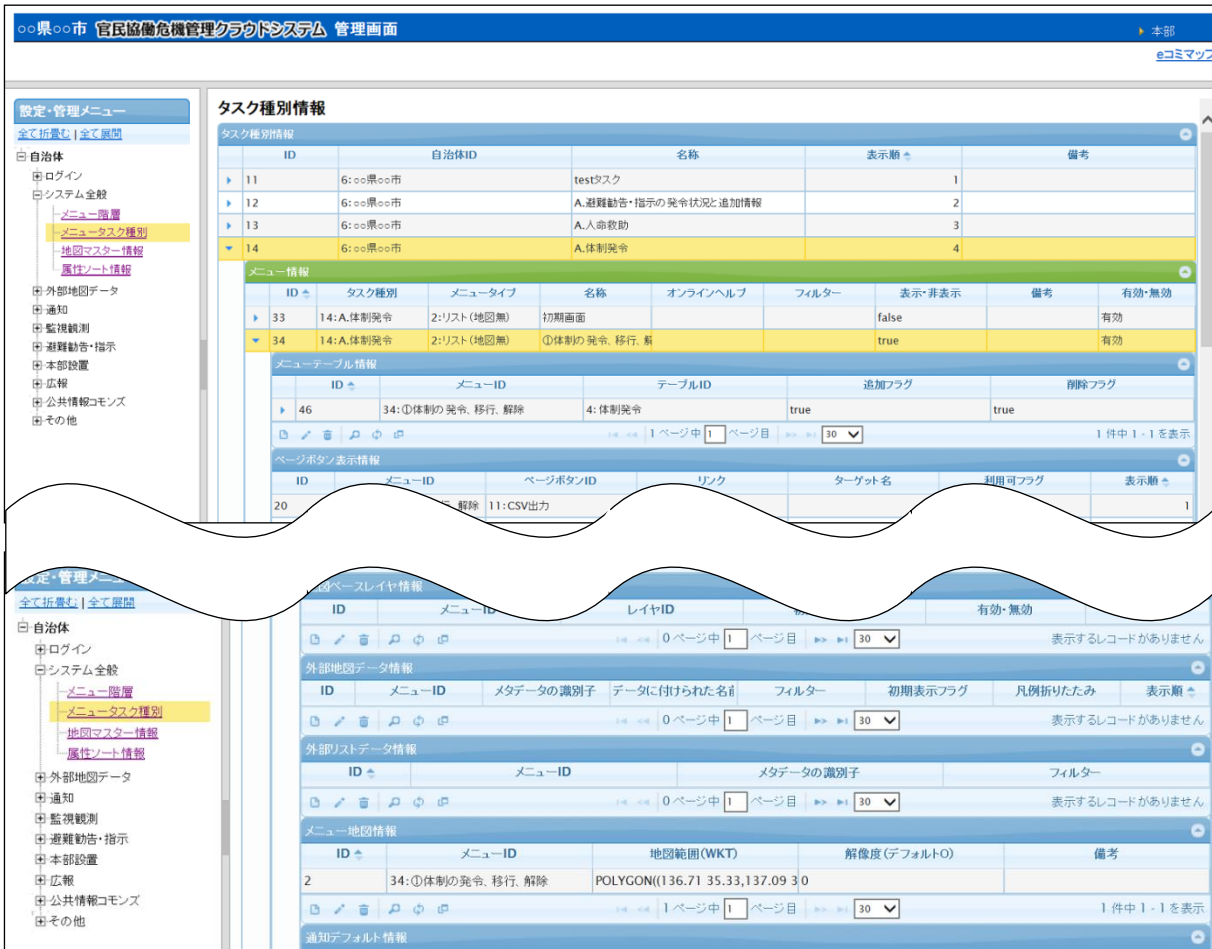
送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図ベースレイヤ情報が作成される。

(12) メニュー地図情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つであるメニュー地図情報について説明する。

メニュー地図情報では、地図画面に表示される地図の表示範囲と地図初期表示縮尺の設定を行う。

以下にメニュー地図情報の新規登録、編集、削除、編集、コピーについて説明する。



1) メニュー地図情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・メニュー地図情報ダイアログが表示される。



図 6-59 登録ボタン>追加・メニュー地図情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-32 追加・メニュー地図情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	地図範囲 (WKT)	地図の表示範囲を WKT で設定する。	POLYGON((136.71 35.33,137.09 35.33,137.09 34.94,136.71 34.94,136.71 35.33))
③	解像度 (デフォルト 0)	地図の初期表示縮尺を設定する。	0
④	備考	備考欄。	
⑤	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはメニュー地図情報一覧に表示される。	
⑥	キャンセル	追加・メニュー地図情報ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、メニュー地図情報一覧にデータが新規追加される。

2) メニュー地図情報を編集する

編集を行いたいメニュー地図情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・メニュー地図情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたメニュー地図情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-32 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) メニュー地図情報を削除する

データの削除を行いたいメニュー地図情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・メニュー地図情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のメニュー地図情報を削除することができる。削除・メニュー地図情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) メニュー地図情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにメニュー地図情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) メニュー地図情報をコピーする

登録済みメニュー地図情報をコピーし、それをもとに新たにメニュー地図情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・メニュー地図情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-32 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにメニュー地図情報が作成される。

(13) 通知デフォルト情報

登録されているメニュー情報の下位の階層には、そのメニューに対応する画面の詳細設定を行う項目がある。ここではその内の1つである通知デフォルト情報について説明する。

通知デフォルト情報では、発令が行われた時、画面にその情報をアラートで表示をする。また、eメールにて情報の通知を行うための設定を行う。

以下に、通知デフォルト情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

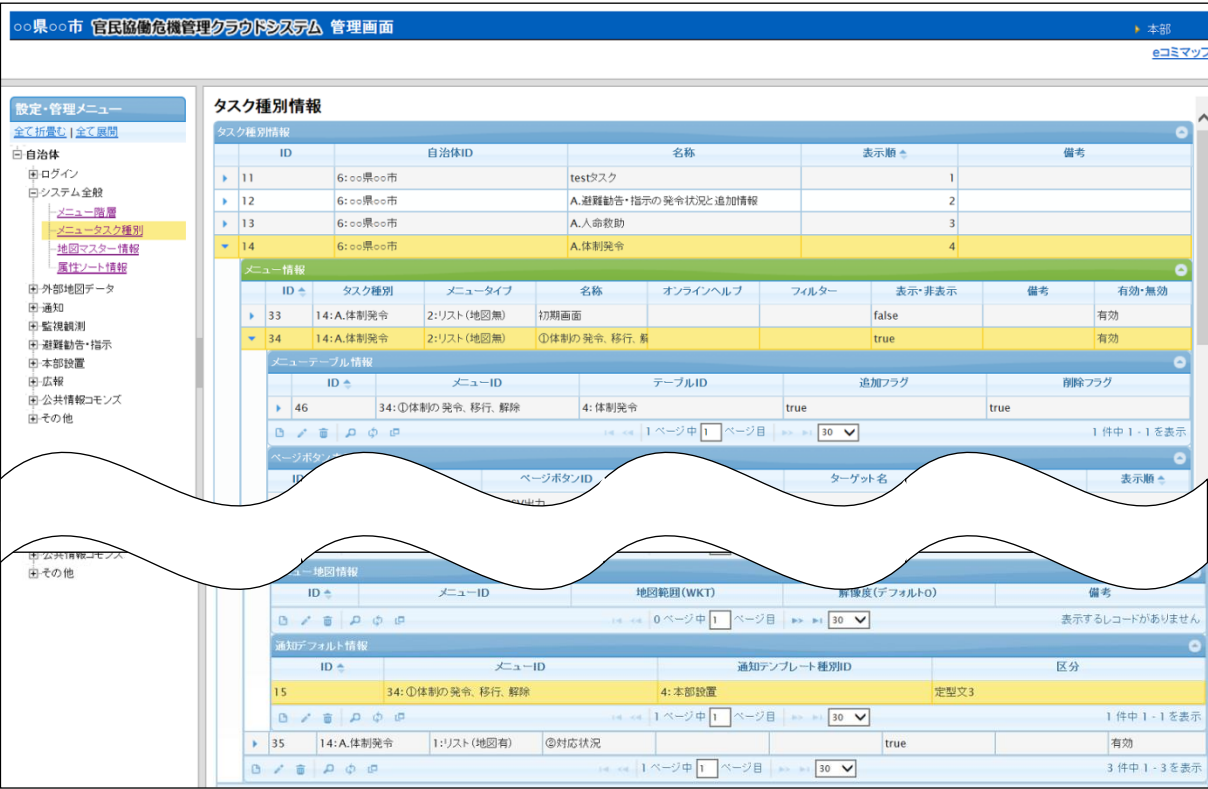


図 6-60 通知デフォルト情報の編集

1) 通知デフォルト情報を新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。

登録ボタン

追加・通知デフォルト情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

図 6-61 登録ボタン>追加・通知デフォルト情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-33 追加・通知デフォルト情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	選択されているタスク種別情報の ID が自動入力される。	
②	通知テンプレート種別 ID	通知機能の使用を想定しているプロセス(災害対応業務の基本項目)をドロップダウンリストから選択する。	1:避難勧告・指示
③	区分	定型文のタイトルを設定する。	体制移行
④	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは 通知デフォルト情報一覧 に表示される。	
⑤	キャンセル	追加・ 通知デフォルト情報 ダイアログを閉じる。	

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、通知デフォルト情報一覧にデータが新規追加される。

2) 通知デフォルト情報を編集する

編集を行いたい通知デフォルト情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された通知デフォルト情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-33 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知デフォルト情報を削除する

データの削除を行いたい通知デフォルト情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知デフォルト情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知デフォルト情報を削除することができる。削除・通知デフォルト情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知デフォルト情報を検索する

検索ボタンを押下すると、検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知デフォルト情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知デフォルト情報をコピーする

登録済み通知デフォルト情報をコピーし、それをもとに新たに通知デフォルト情報を作成することができる。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・通知デフォ

ルト情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の名称、表示内容は表 6-33 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知デフォルト情報が作成される。

6.1.2.3 地図マスター情報

自治体>システム全般>地図マスター情報 を選択すると下図のような画面が表示される。地図マスター情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。地図マスター情報は SIP4D 利活用システムで取り扱う e コミマップで作成された地図を管理し、その一覧が地図マスター情報一覧に表示される。

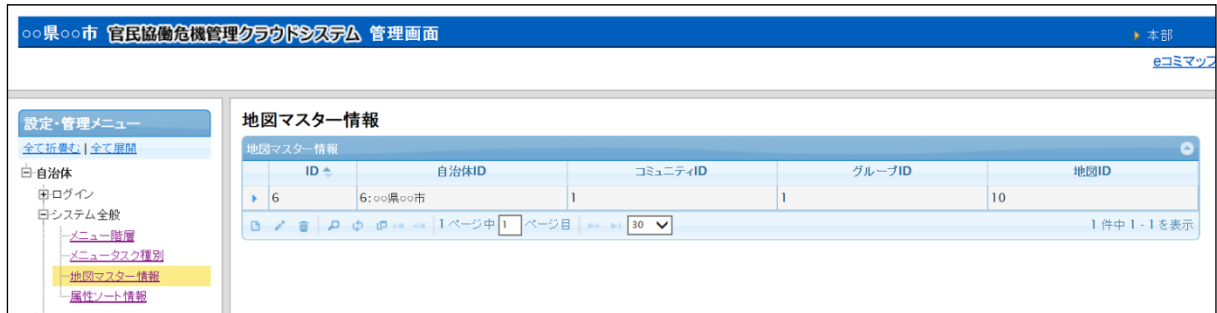


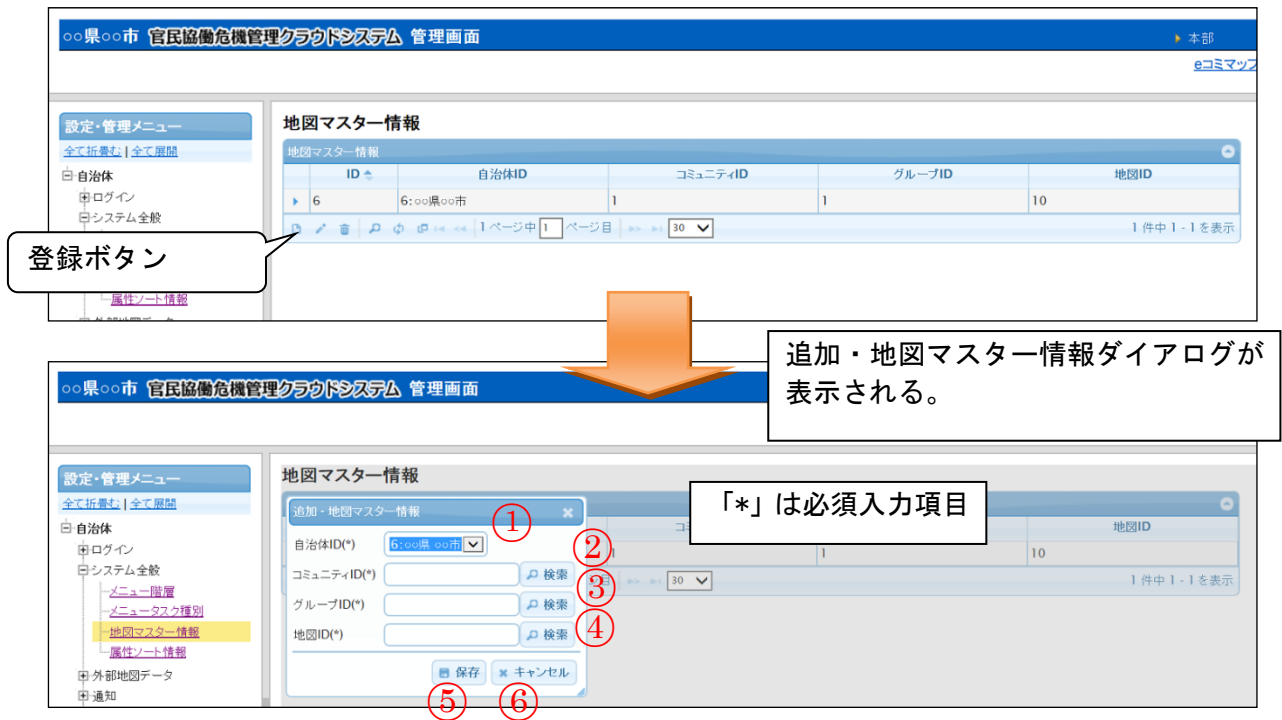
図 6-62 地図マスター情報

(1) 地図マスター情報の編集

地図マスター情報では SIP4D 利活用システムで取り扱う e コミマップで作成された地図を管理する。以下に地図マスター情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 地図マスター情報を新規で登録

登録ボタンを押下することで、追加・地図マスター情報ダイアログが表示される。



また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-34 追加・地図マスターダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県○○市
②	コミュニティ ID	利用する e コミマップが作成された e コミマップのサイトの ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	3
③	グループ ID	利用する e コミマップが作成された e コミマップのグループの ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	4
④	地図 ID	利用する e コミマップの ID と名称を設定する。 また、検索によって表示された e コミマップ情報から設定することも可能。	5
⑤	表示制限範囲 BBOX 値	地図画面に表示範囲の制限をかける。設定した BBOX 値を越えてのスクロールが不可となる。	125.913672, 48.08110, 151.753516, 29.405858
⑥	コピー方法	災害時にマップをコピーするか選択する。 時系列化では「災害時はコピーせず、訓練時のみマップコピー」で運用することを推奨する。 ※自治体セットアップ時の時系列化を行うと自動的に切り替わる。	災害時はコピーせず、訓練時のみマップコピー
⑦	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑧	キャンセル	追加・地図マスターダイアログが閉じる。	

A) 検索ボタンについて

検索ボタンを押下することで、e コミマップに登録されている地図が一覧で表示される。一覧に表示された地図情報から、コミュニティ ID、グループ ID、地図 ID を設定することができる。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、地図マスター情報一覧にデータが新規追加される。

2) 地図マスター情報を編集する

編集を行いたい地図マスター情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・地図マスター情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された地図マスター情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 地図マスター情報を削除する

データの削除を行いたい地図マスター情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・地図マスター情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の地図マスター情報を削除することができる。削除・地図マスター情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 地図マスター情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに地図マスター情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 地図マスター情報をコピーする

登録済み地図マスター情報をコピーし、それをもとに新たに地図マスター情報を作成することが出来る。コピー元となる地図マスター情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・地図マスター情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに地図マスター情報が作成される。

(2) テーブルマスター情報

登録されている地図マスター情報の下位の階層には、テーブルマスター情報が存在する。地図に表示するレイヤを設定することができる。以下に、テーブルマスター情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) テーブルマスター情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。

図 6-64 登録ボタン>追加・テーブルマスター情報ダイアログ

図 6-64 登録ボタン>追加・テーブルマスター情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-35 テーブルマスター情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	地図マスター情報 ID	選択されている地図マスター情報の ID が自動で入力される。	
②	レイヤ ID	e コミマップで作成されたレイヤのレイヤ ID を手入力または、レイヤ ID の検索ボタンより設定する。	C45
③	テーブル名 ID	e コミマップで作成されたレイヤのテーブル名 ID を手入力または、テーブル名 ID の検索ボタンより設定する。	C45
④	名称	e コミマップで作成されたレイヤの名称を手入力または、名称の検索ボタンより設定する。	name
⑤	ジオメトリのタイプ	e コミマップで作成されたレイヤのジオメトリタイプを手入力または、ジオメトリタイプの検索ボタンにより設定する。	POINT
⑥	住所項目名	レイヤに登録されている住所を格納する属性の attr 番号を手入力または、住所項目名の検索ボタンにより設定する。	attr1
⑦	更新日時項目名	レイヤに登録されている更新日時を格納する属性の attr 番号を手入力または、更新日時項目名の検索ボタンにより設定する。	attr1
⑧	座標表示項目名	レイヤに登録されている座標表示を格納する属性の attr 番号を手入力または、座標表示項目名の検索ボタンにより設定する。	attr1
⑨	MRGS グリッド項目名	MRGS グリッド情報を格納する属性の attr 番号を手入力により設定する。	attr1
⑩	MRGS 桁数	MRGS グリッド情報の最大桁数を手入力にて設定する。	1
⑪	コピー方法	災害時または訓練時のテーブルのコピー方法を選択する。	最新データのみ複製 (履歴なし)
⑫	リセットフラグ	災害対応完了後、災害対応前の状態に戻すかどうか選択する。災害対応完了時にデータをリセットしたいレイヤは true に設定すること。	false
⑬	ページング	ページング機能の ON/OFF を設定する	true
⑭	備考	備考欄。	

⑮	保存	設定された情報が保存される。保存されたデータはテーブルマスター情報一覧に表示される。	
⑯	キャンセル	追加・テーブルマスター情報ダイアログを閉じる。	

A) 検索ボタンについて

検索ボタンを押下することで、e コミマップに登録されているレイヤ情報が一覧で表示される。一覧に表示されたレイヤ情報から、レイヤ ID、テーブル名 ID、名称、ジオメトリのタイプ、住所項目名、更新日時項目名、座標表示項目名を設定することができる。

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブルマスター情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブルマスター情報を編集する

編集を行いたいテーブルマスター情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブルマスター情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-35 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブルマスター情報を削除する

データの削除を行いたいテーブルマスター情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブルマスター情報を削除することができる。削除・テーブルマスター情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブルマスター情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブルマスター情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブルマスター情報をコピーする

登録済みテーブルマスター情報をコピーし、それをもとに新たにテーブルマスター情報を作成することができる。コピー元となるテーブルマスター情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブルマスター情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力・表示内容は表 6-35 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブルマスター情報が作成される。

(3) テーブル演算項目情報の編集

登録されているテーブルマスター情報の下位の階層には、テーブル演算項目情報が存在する。テーブル演算項目情報は、属性間演算を行うための設定項目である。以下にテーブル演算項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot shows the 'Table Calculation Item Information' screen. The left sidebar contains a menu with '設定・管理メニュー' (Settings/Management Menu) and '地図マスター情報' (Map Master Information). The main area displays a table with columns: ID, 自治体ID (Municipality ID), コミュニティID (Community ID), グループID (Group ID), and 地図ID (Map ID). Below this, there is a section for 'テーブルマスター情報' (Table Master Information) and 'テーブル演算項目情報' (Table Calculation Item Information). The 'テーブル演算項目情報' table has columns: ID, テーブルID (Table ID), 項目名 (Item Name), and 属性名 (Attribute Name). The table shows three rows of data for the selected table (ID: 291).

図 6-65 テーブル演算項目情報

1) テーブル演算項目情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。

The screenshot shows the 'Add Table Calculation Item Information' dialog box. The dialog has a title bar '追加・テーブル演算項目情報ダイアログ' and a close button. It contains a form with the following fields: 'テーブルID(*)' (Table ID), '項目名(*)' (Item Name), and '属性名' (Attribute Name). The 'テーブルID(*)' field is highlighted with a red circle (1). The '項目名(*)' field is highlighted with a red circle (2). The '属性名' field is highlighted with a red circle (3). There are buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). A red circle (4) is around the 'キャンセル' button. A text box on the right says '「*」は必須入力項目' (Asterisk indicates required input item). The background shows the same system interface as Figure 6-65, with a callout pointing to the '登録ボタン' (Register Button) in the sidebar.

図 6-66 登録ボタン>追加・テーブル演算項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-36 追加・テーブル演算項目情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	テーブル ID	選択されているテーブルマスター情報の ID が自動で割り当てられる。	200
②	項目名	演算の対象となる属性を設定する。	attr1
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはテーブル演算項目情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・テーブル演算項目情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブル演算項目情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブル演算項目情報を編集する

編集を行いたいテーブル演算項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブル演算項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-36 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブル演算項目情報を削除する

データの削除を行いたいテーブル演算項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブル演算項目情報を削除することができる。削除・テーブル演算項目情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブル演算項目情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブル演算項目情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブル演算項目情報をコピーする

登録済みテーブル演算項目情報をコピーし、それをもとに新たにテーブル演算項目情報を作成することができる。コピー元となるテーブル演算項目情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブル演算項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-52 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブル演算項目情報が作成される。

(4) テーブル演算情報

登録されているテーブル演算項目情報の下位の階層には、テーブル演算情報が存在する。テーブル演算情報は、属性間演算を行うための計算式を設定する項目である。以下にテーブル演算情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

The screenshot shows the 'Table Calculation Information' screen. On the left is a sidebar menu with options like '設定・管理メニュー', '全庁展開', '全庁展開', '自治体', 'ログイン', 'システム全覧', 'メニュー階層', 'メニュータスク種別', '地図マスター情報', '属性ソート情報', '外部地図データ', '通知', '監視機能', '連携動作・指示', '本部設置', '広報', '公共情報コモンズ', and 'その他'. The main area is titled '地図マスター情報' and contains a table for 'テーブルマスター情報' and a sub-table for 'テーブル演算項目情報'.

ID	自治体ID	コミュニティID	グループID	地図ID
6	6: 〇〇県 〇〇市	1	1	10

ID	レイヤID	テーブル名	名称	ジオメトリのタ	住所項目名	更新日時項目	座標表示項目	MRGSグリッド	MRGS桁数	コピーフラグ	備考
291	6	c45	c45	ですと1	POINT				4	true	

ID	テーブルID	項目名
6	291	attr1

ID	計算結果項目	計算式
4	6	7+8

図 6-67 テーブル演算情報

1) テーブル演算情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・テーブル演算情報ダイアログが表示される。

The screenshot shows the '登録ボタン' (Register Button) in the 'テーブル演算項目情報' table. An arrow points to the '追加・テーブル演算情報ダイアログ' (Add Table Calculation Information Dialog) which is displayed. The dialog has fields for '計算結果項目 (*)' (Calculation Result Item) and '計算式 (*)' (Calculation Formula). A callout box indicates that '*' is a required input item.

登録ボタン

追加・テーブル演算情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

図 6-68 登録ボタン>追加・テーブル演算情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-37 追加・テーブル演算情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	計算結果項目	選択されているテーブル演算項目情報の ID が自動入力される。	1
②	計算式	属性間計算を行うための計算式を設定する。	{テーブル演算項目情報の ID}+{テーブル演算項目情報の ID} 主な計算式は下記 A) 参照
③	保存	設定された情報を保持する。保存されたデータはテーブル演算情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・テーブル演算情報ダイアログを閉じる。	

A) 主な計算式について

属性間計算で使える主な計算式は以下の通り。

四則演算	{id} + {id} 、 {id} * {id} など
大小比較演算	< <= > >= 結果は、true : 1 false : 0
等価比較演算	== != 結果は、true : 1 false : 0
年齢	year({id})
多い方	max({id}, {id})
少ない方	min({id}, {id})

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブル演算情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブル演算情報を編集する

編集を行いたいテーブル演算情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブル演算情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブル演算情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-37 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブル演算情報を削除する

データの削除を行いたいテーブル演算情報を選択後、削除ボタンを押下すると削

除・テーブル演算情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブル演算情報を削除することができる。削除・テーブル演算情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブル演算情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブル演算情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブル演算情報をコピーする

登録済みテーブル演算情報をコピーし、それをもとに新たにテーブル演算情報を作成することができる。コピー元となるテーブル演算情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブル演算情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-37 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブル演算情報が作成される。

(5) テーブルリセット対象属性情報

1) テーブルリセット対象属性情報を新規で作成する

登録されているテーブルマスター情報の下位の階層には、テーブルリセット対象属性情報が存在する。テーブルリセット対象属性情報は、災害完了時に、デフォルトでリセット対象となる属性の設定項目である。(災害完了時にリセット対象を対象外、またはリセット対象外を対象に変更することも可能)

以下にテーブル演算項目情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

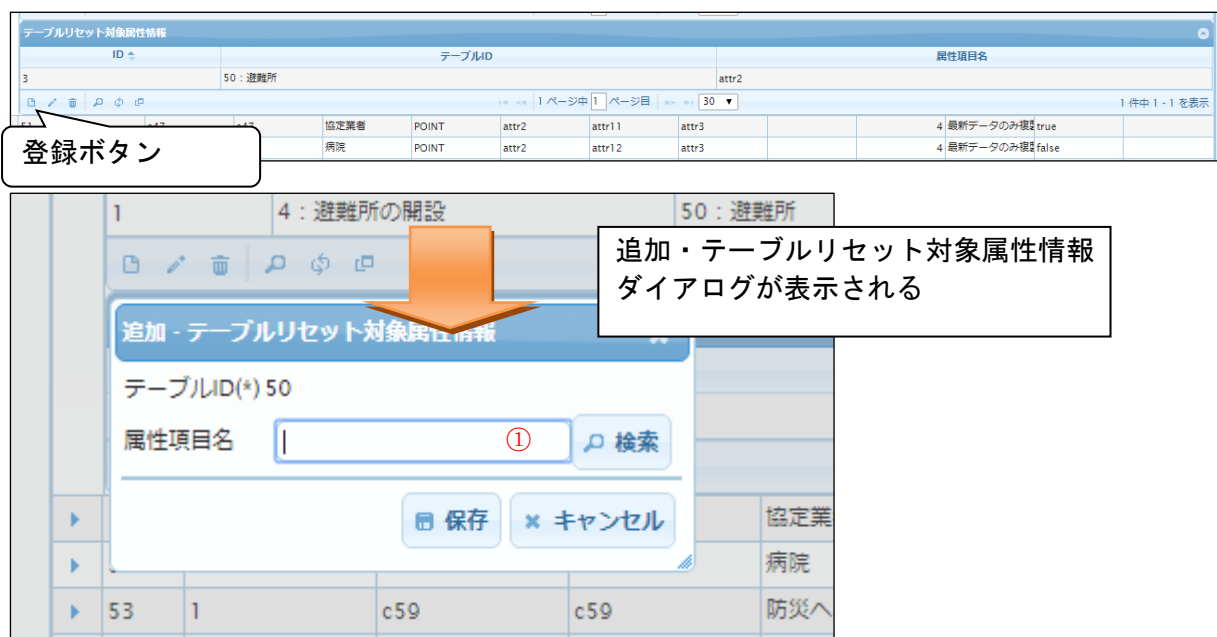


図 6-69 登録ボタン>追加・テーブルリセット対象属性情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-38 追加・テーブルリセット対象属性情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性項目名	リセット対象の項目名を設定する。	attr4

保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、テーブルリセット対象属性情報一覧にデータが新規追加される。

2) テーブルリセット対象属性情報を編集する

編集を行いたいテーブルリセット対象属性情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたテーブルリセット対象属性情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-36 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) テーブルリセット対象属性情報を削除する

データの削除を行いたいテーブルリセット対象属性情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のテーブルリセット対象属性情報を削除することができる。削除・テーブルリセット対象属性情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) テーブルリセット対象属性情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにテーブルリセット対象属性情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) テーブルリセット対象属性情報をコピーする

登録済みテーブルリセット対象属性情報をコピーし、それをもとに新たにテーブルリセット対象属性情報を作成することができる。コピー元となるテーブルリセット対象属性情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・テーブルリセット対象属性情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-52 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにテーブルリセット対象属性情報が作成される。

6.1.2.4 テンプレートメニュー

自治体>システム全般>テンプレートメニュー を選択すると下図のような画面が表示される。テンプレートメニューが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。テンプレートメニューを設定することで、ウィザード機能で作成されるメニューの構成を変更することができる。なお、テンプレートメニューを設定する前に、e コミマップで名称を「テンプレートベースレイヤ」としたレイヤを作成すること。



図 6-70 テンプレートメニュー

(1) タスク種別情報(テンプレート)の編集

タスク種別情報(テンプレート)ではウィザード機能で作成されるメニューのテンプレートを設定する。以下にタスク種別情報(テンプレート)の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) タスク種別情報(テンプレート)を新規で登録

登録ボタンを押下することで、追加・タスク種別情報ダイアログが表示される。

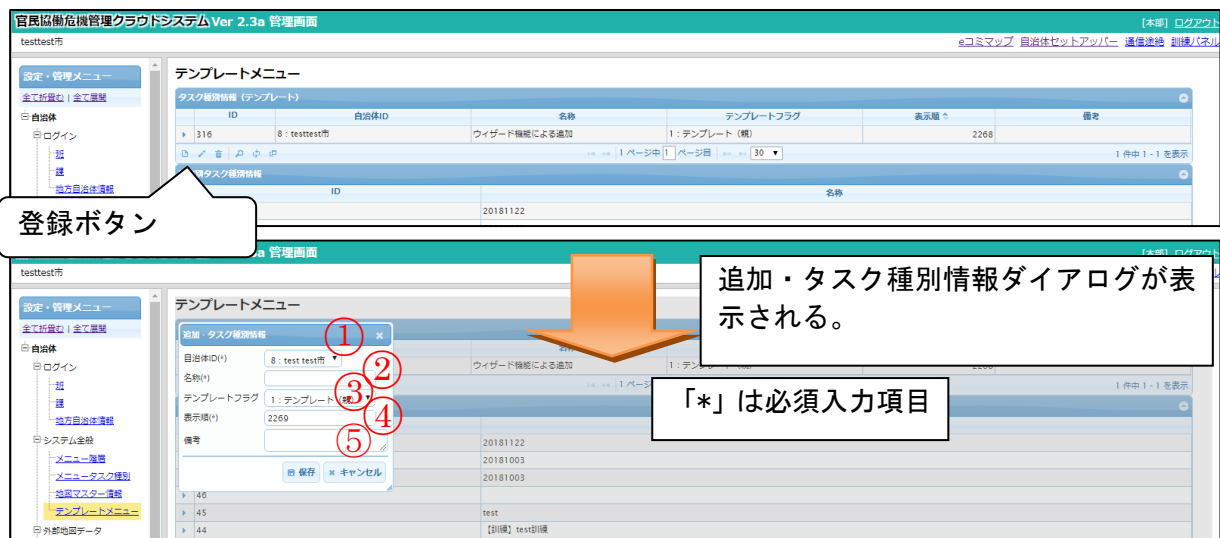


図 6-71 登録ボタン>追加・タスク種別情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-39 追加・タスク種別情報の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	名称	タスク種別の名称を設定する	緊急対応
③	テンプレートフラグ	ウィザード機能からメニューを作成した際に、タスク種別情報のテンプレートフラグに同じ値が入る。テンプレートから作られたことを示すためのフラグ。1:テンプレート(親)固定。	1:テンプレート(親)
④	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑤	備考	備考欄。	(なし)

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、タスク種別情報一覧にデータが新規追加される。

タスク種別情報一覧の下の階層にメニュー情報を設定する。メニュー情報以下の設定方法については 6.1.2.2 (2) メニュー情報の編集を参照すること。

A) 検索ボタンについて

検索ボタンを押下することで、e コミマップに登録されている地図が一覧で表示される。一覧に表示された地図情報から、コミュニティ ID、グループ ID、地図 ID を設定することができる。

2) タスク種別情報(テンプレート)を編集する

編集を行いたいタスク種別情報(テンプレート)を選択後、編集ボタンを押下することで編集・タスク種別情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択されたタスク種別情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) タスク種別情報(テンプレート)を削除する

データの削除を行いたいタスク種別情報(テンプレート)を選択後、削除ボタンを押下すると削除・タスク種別情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のタスク種別情報(テンプレート)を削除することができる。削除・タスク種別情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) タスク種別情報(テンプレート)を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにタスク種別情報(テンプレート)の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) タスク種別情報(テンプレート)をコピーする

登録済みタスク種別情報(テンプレート)をコピーし、それをもとに新たにタスク種別情報(テンプレート)を作成することが出来る。コピー元となるタスク種別情報(テンプレート)を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・タスク種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-34 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにタスク種別情報(テンプレート)が作成される。

(2) 災害別タスク種別情報

災害別タスク種別情報では、災害別でウィザード機能で作成されたタスクの一覧を表示する。このテーブルでは確認のみ可能なテーブルのため、編集や削除することはできない。



ID	名称
17	テスト災害

図 6-72 災害別タスク種別情報

(3) タスク種別情報(テンプレートから生成)

災害別タスク種別情報では、ウィザード機能で作成されたタスクの一覧を表示する。

タスク種別情報一覧の下階層にメニュー情報を設定する。メニュー情報以下の設定方法については 6.1.2.2 (2) メニュー情報の編集を参照すること。



ID	自治体ID	名称	テンプレートフラグ	表示順	備考
322	8: testtest市	指定避難所2	2: テンプレート (子)	2270	
325	8: testtest市	追加	2: テンプレート (子)	2273	
64					
47					
46					

図 6-73 タスク種別情報(テンプレートから生成)

6.1.3. 外部地図データ

6.1.3.1 クリアリングハウス事前データ情報

本システムの地図データのうち、クリアリングハウスに登録したレイヤに関する情報を管理する。

官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

システム管理

eコミマップ

訓練情報

システム全般

メニュー管理

メニュータスク種別

地図マスター情報

属性ノート情報

外部地図データ

クリアリングハウスデータ情報

クリアリングハウス検索情報

データデフォルト設定情報

クリアリングハウスデータ登録

通知

通知グループ情報

通知連絡先情報

通知テンプレート

23	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151512	危機管理クラウド/道路被災箇所/小309:道路被災箇所	
24	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151514	危機管理クラウド/入山規制ポイント/321:入山規制ポイント	
25	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151516	危機管理クラウド/火災エリア/小村327:火災エリア	
26	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151516	危機管理クラウド/その他エリア/小村328:その他エリア	
27	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151517	危機管理クラウド/火山災害(火口)330:火山災害(火口)状況	
29	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151518	危機管理クラウド/火山災害(火口)334:火山災害(火口)状況	
30	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151518	危機管理クラウド/火山災害(溶岩)336:火山災害(溶岩)状況	
31	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151519	危機管理クラウド/火山災害(溶岩)336:火山災害(溶岩)状況	
32	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151519	危機管理クラウド/火山災害(降灰)338:火山災害(降灰)状況	
33	3:宮崎県小村市	SAIGAITASK_3_201401151520	危機管理クラウド/火山災害(火山)340:火山災害(火山)状況	
34	4:宮崎県高良町	SAIGAITASK_4_201401151522	危機管理クラウド/避難勧告・避難指402:避難勧告・避難指示の発令	
35	4:宮崎県高良町	SAIGAITASK_4_201401151523	危機管理クラウド/避難所/高良町 404:避難所	
36	4:宮崎県高良町	SAIGAITASK_4_201401151523	危機管理クラウド/福祉避難所/高良町405:福祉避難所	
37	4:宮崎県高良町	SAIGAITASK_4_201401151524	危機管理クラウド/重要路線/高良町407:重要路線	

73件中 1 - 30 を表示

1) 新規で登録する

ここからクリアリングハウスデータ情報の新規登録は行わない。

※使用しない

2) 編集する

※使用しない

3) 削除する

※使用しない

6.1.3.2 クリアリングハウス検索情報

クリアリングハウスを検索するための情報を管理する。

本システムは、定期的にクリアリングハウスの情報を監視し、指定された条件に合致する地図を発見した場合、ユーザにポップアップメッセージで案内する機能があり、その検索条件を指定する。

官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面														
システム管理														
eコミマップ														
- 訓練情報 - システム全般 - メニュー管理 - メニュータスク種別 - 地図マスター情報 - 属性ゾート情報 - 外部地図データ	クリアリングハウス検索情報 クリアリングハウス検索条件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th><th>自治体ID</th><th>定期的に検索する回</th><th>検索条件、クリアリングハウスのGetRe</th><th>BBOX値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>7:神奈川県横浜</td><td>120</td><td>a</td><td>139.451,35.305,139.526,35.367</td></tr> </tbody> </table> 1 ページ中 1 ページ目 30 1件中 1 - 1 を表示				ID	自治体ID	定期的に検索する回	検索条件、クリアリングハウスのGetRe	BBOX値	1	7:神奈川県横浜	120	a	139.451,35.305,139.526,35.367
ID	自治体ID	定期的に検索する回	検索条件、クリアリングハウスのGetRe	BBOX値										
1	7:神奈川県横浜	120	a	139.451,35.305,139.526,35.367										

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-40 クリアリングハウス検索情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	定期的に検索する間隔	クリアリングハウスを定期的に検索する間隔を指定する。単位：秒	3
③	検索条件	クリアリングハウスのAPIのGetRecords リクエストのGet パラメータを指定する。 ※表 6-41 GetRecords のパラメータを参照	4
④	範囲の WKT	クリアリングハウスの情報検索の範囲を指定する。	5

表 6-41 GetRecords のパラメータ

パラメータ名	値	説明
DISASTERTYPE	以下のいずれかの番号 1:地震 2:津波・高潮 3:火山 4:風水 5:土砂 6:氷雪 7:その他	災害区分、カンマ区切りで複数指定可能
KEYWORD	文字列	AND キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDOR	文字列	OR キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDNOT	文字列	NOT キーワード、スペース区切りで複数指定可能
FUZZYSEARCH	true (する) / false (しない)	あいまい検索制御

CONTACTNAME	文字列	問い合わせ先の名称に対する検索条件
BBOX	西側経度,南側緯度,東側経度,北側緯度	地理範囲条件、度単位
TERMTYPE	以下のいずれかの番号 1:作成日 2:刊行日 3:改訂日	期間条件の対象、カンマ区切りで複数指定可能
TERM	開始日付,終了日付 日付の形式は YYYY-MM-DD	識別情報の日付に対する期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限
DATATERM	開始日付,終了日付 日付の形式は YYYY-MM-DD	範囲情報・時間要素に対する期間条件、開始日と終了日のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限
RATING	最低値,最高値	評価条件、最低値と最高値のカンマ区切り、値は 0～5、一方を省略可能、省略すると片側無制限
APPLICATION PROFILE	WMS,WFS,WCS のいずれかを指定	データ提供サービスの種類を条件として検索、カンマ区切りで複数指定可能
UPDATETERM	開始日時,終了日時 日時の形式は YYYY-MM-DDThh:mm:ss (日付と時刻を T で区切る)	メタデータの更新日時（システムが管理するメタデータの登録・更新日時）に対する期間条件 開始日時と終了日時のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限
INCLUDEPLANED	true/false	予定メタデータを含む (true) 含まない (false) を指定する。 省略した場合は true

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.3 メタデータデフォルト設定情報

クリアリングハウスにデータを登録する際の、諸設定の初期値を管理する。

「6.1.3.4 クリアリングハウスデータ登録」から入力される情報の、初期値を登録する。

1) 新規で登録する

新規ボタンを押し、登録・編集ダイアログを開く。

表 6-42 メタデータデフォルト設定情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	接頭語	クリアリングハウスに登録される地図名称としての接頭語の初期値を指定する。 地図名称は、『接頭語/レイヤ名/接尾語』となる。	△△
③	接尾語	クリアリングハウスに登録される地図名称としての接尾語の初期値を指定する。 地図名称は、『接頭語/レイヤ名/接尾語』となる。	◇◇
④	問合せ先	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『組織名』の初期値を指定する。	〇〇市
⑤	電話番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『電話番号』の初期値を指	0000-22-8888

		定する。	
⑥	郵便番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『郵便番号』の初期値を指定する。	000-9999
⑦	都道府県名	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『都道府県』の初期値を指定する。	〇〇県
⑧	市区町村名	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『市区町村』の初期値を指定する。	〇〇市
⑨	都道府県コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『都道府県コード』の初期値を指定する。	99000
⑩	市区町村コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『市区町村コード』の初期値を指定する。	99999
⑪	町名、番地、ビル名等	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『町名、番地、ビル名等』の初期値を指定する。	〇〇12-9
⑫	電子メールアドレス	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『電子メールアドレス』の初期値を指定する。	xx@xxxx
⑬	問い合わせ先の HP 等の URL	クリアリングハウスに登録されるメタデータで、問い合わせ先の『問い合わせ先の HP 等の URL』の初期値を指定する。	http://xxxxx

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.4 クリアリングハウスデータ登録

本システムが持つ地図データを、クリアリングハウスに登録し、その情報を「クリアリングハウスデータ情報」に格納する。

クリアリングハウスに登録される情報は、地図単位で登録されるが、本システムはレ

イヤ単位で情報を制御する必要があるため、地図をレイヤ単位に分割して登録する。

クリアリングハウスへの登録画面	
対象レイヤ※	選択してください ①
メタデータに関する情報	
メタデータを公開する対象	防災関係機関内共有 ②
地図データに関する情報	
地図データのタイトル(*1)	// ③
地図データの内容の要約	④
地図データが作成された目的	⑤
地図データの作成状況	平常時は「予定」で登録されます。 災害時・訓練時は「完成」で登録されます。 ⑥
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報(*1)	
問い合わせ先の名称	⑦
郵便番号	⑧
都道府県	⑨コード: 99 ⑩
市区町村	⑪コード: ⑫
町名、番地、ビル名等	⑬
電話番号	⑭
電子メールアドレス	⑮
問い合わせ先のHP等のURL	⑯
地図データの時間範囲に関する情報	
時間範囲に関する情報	⑰
地図データのアクセスに関する情報	
WMS URL	⑱
WFS URL	⑲
☐ メタデータデフォルト設定情報を更新する(*1)	
登録	

表 6-43 クリアリングハウスへの登録

番号	名称	概要	設定例
①	対象レイヤ	クリアリングハウスに登録するレイヤを選択する。	避難所
メタデータに関する情報			
②	メタデータを公開する対象	メタデータの公開設定を指定する。	一般公開
地図データに関する情報			
③	地図データのタイトル	クリアリングハウスに登録される地図名称としての接頭語を指定する。 地図名称は、『接頭語/レイヤ名/接尾語』となる。	危機管理/避難所/〇〇市
④	地図データの内容の要約	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『要約』を指定する。	要約
⑤	地図データが作成された目的	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『目的』を指定する。	目的
⑥	地図データの作成状況	クリアリングハウスに登録される『状態』を指定する。 平常時は「予定」で登録される。 災害時・訓練時は「完成」で登録される。 完成＝通常の地図情報の登録 予定＝地図情報が無く、メタデータのみ登録	
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報			
⑦	問い合わせ先の名称	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『組織名』を指定する。	〇〇市
⑧	郵便番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『郵便番号』を指定する。	999-0000
⑨	都道府県	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『都道府県名』を指定する。	〇〇県
⑩	都道府県コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『都道府県コード』を指定する。	99000
⑪	市区町村	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『市区町村』を指定する。	〇〇市
⑫	市区町村コード	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『市区町村コード』を指定する。	99300
⑬	町名、番地。ビル名等	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『住所詳細』を指定する。	〇〇23-4
⑭	電話番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『電話番号』を指定する。	00-55-9823

⑮	電子メールアドレス	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『電子メールアドレス』を指定する。	xxx@xxxxxxx
⑯	問い合わせ先のHP等のURL	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『リンク』を指定する。	http://xxx
地図データの時間範囲に関する情報			
⑰	時間範囲に関する情報	システムが自動で定義する。	
地図情報データのアクセスに関する情報			
⑱	WMS URL	システムが自動で定義する。	
⑲	WFS URL	システムが自動で定義する。	

6.1.3.5 集計リスト情報

集計レイヤでは、外部リストとして読み込んだ連携自治体のレイヤに対して集計を行うことができる。例えば、避難所レイヤに対して下記のような集計リストを作成できる。

名称	開設済み	開設指示済	開設不応	指摘	未開設	既設	避難者数	最終更新日時
合計	18	0	0	9	282	0	468	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-
津野町	2	-	-	-	15	-	0	-
梶原町	7	-	-	-	54	-	0	-
須崎市	1	-	-	-	17	-	0	-
中土佐町	3	-	-	-	26	-	456	-
四万十町	5	-	-	9	170	-	12	-

集計レイヤは設定が複雑であるため、ここでは設定の流れを下記に示す。

- 集計結果を格納する集計レイヤをe コミマップで作成する
 - ジオメトリ形状や属性項目は基本的に自由に定義可能
 - ただし、属性項目は下記の2つは必須とする
 - 集計結果を格納する項目（例：attr2:未開設数）
※複数定義可能
 - 自治体コード項目
(CKAN を利用しない場合) 市町村コード (県:2桁, 市:5桁)
(CKAN を利用する場合) 組織コード
- 各自治体の地物を登録しておくこと。
自治体ごとに集計結果を格納するため、自治体ごとに地物を作成しておくこと。

2. 集計レイヤをテーブルマスタ情報に登録
 - (ア) テーブルマスタ情報に登録後、自治体セッターの時系列化を行うこと。
3. 集計方法を定義する設定
 - (ア) 集計レイヤ情報

詳細は本マニュアルの該当箇所を参照のこと。
 - (イ) 集計レイヤ項目情報

詳細は本マニュアルの該当箇所を参照のこと。
4. メニュー情報で集計レイヤを表示するための設定
 - (ア) 外部リストのメニューを作成する

※自治体および連携自治体のレイヤは同じものを設定すること（避難所の集計を行う場合はすべて避難所レイヤを指定すること）

 - ① メニュータイプ：リスト（地図有）などのリストが使えるものを選択
 - ② メニューテーブル情報に自治体のレイヤを設定する
 - ③ メニュー情報の編集ボタンを開き、外部地図表示レイヤ設定から連携自治体のレイヤを設定する
 - (イ) 外部リストのメニューに集計レイヤの設定を追加する
 - ① メニューテーブル情報

通常、メニューテーブル情報は1つしか設定できないが、集計レイヤは2番目に設定することで利用可能となる。
 - ② テーブルリスト項目情報

通常のリスト画面と同じように表示したい属性項目を設定すること。
 - (ウ) ページボタン表示情報
 - ① ID=16の「再読み込み」ボタンをメニューに配置すること

※「再読み込み」ボタンをクリックすると集計が行われる

これ以降は、集計リスト情報の設定方法について記載する。

外部リストの情報を集計する、集計リスト情報を管理する。

設定・管理メニュー

全て設置済 | 全て削除

自治体

ログイン

設定

集計リスト情報

ID	自治体ID	集計対象テーブルID	テーブルID	自治体コード項目名
10	4: test	316: 体制	345: 体制集計表	attr1

1

10

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1</

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・集計リスト情報ウィンドウが表示される。

表 6-44 追加・集計リスト情報ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	集計対象テーブル ID	集計されるテーブルをテーブルマスター情報に登録されているテーブル名のドロップダウンリストから選択する。	1:体制発令
③	テーブル ID	集計結果を保存するテーブルをテーブルマスター情報に登録されているテーブル名のドロップダウンリストから選択する。	2:体制集計表
④	自治体コード項目名	自治体コード(CKAN を利用する場合は組織コード)が登録されている項目名を指定する。	attr1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.6 集計リスト項目情報

外部地図の情報を集計する、集計リストの演算項目を管理する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・集計リスト項目情報が表示される。

表 6-45 追加・集計リスト項目情報ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	集計結果保存属性	集計結果を保存する属性 ID を指定する。	attr2: 未開設数
②	演算	集計する項目と演算方法を指定する。 カウント: 絞り込み条件に合致した数をカウントする 合計: 数値の合計を演算する	開設状況(カウント)
③	絞り込み条件	カウントする値を指定する。	未開設
④	有効・無効	集計リスト項目情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.7 認証情報

WMS、WFS、KML における外部情報の取り込みにおいて、ベーシック認証による認証情報を管理する。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

認証情報

ID	自治体ID	名称	認証方式	ログイン名	ログインパスワード	認証情報フリーワード
1	1: 愛知	test	Basic	saigailask	admin	

1ページ中 1 ページ目 30

1件中 1 - 1 を表示

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・クリアリングハウス事前データ情報ダイアログが表示される。

表 6-46 追加・認証情報ウィンドウの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名称	認証情報の名称を設定する。	〇〇認証
③	認証方法	Basic 認証のみ対応	Basic
④	ログイン名	Basic 認証のログイン名を設定する。	saigaitask
⑤	ログインパスワード	Basic 認証のパスワードを設定する。	admin
⑥	認証情報フリーワード	認証のフリーワードを指定する。	aaa

2) 編集する

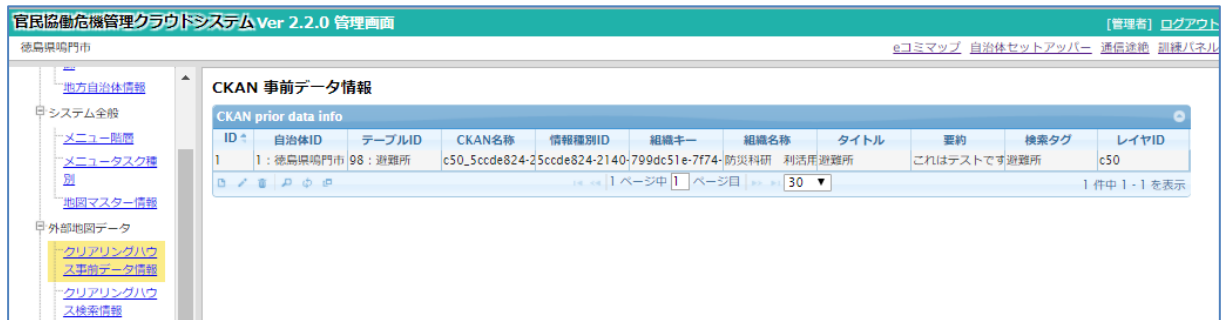
編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.8 CKAN 事前データ情報

本システムの地図データのうち、CKAN に登録したレイヤに関する情報を管理する。(本テーブルは CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「クリアリングハウス事前データ情報」をクリックする場合に表示される)



1) 新規で登録する

ここからクリアリングハウスデータ情報の新規登録は行わない。

※使用しない

2) 編集する

※使用しない

3) 削除する

※使用しない

6.1.3.9 CKAN 検索情報

CKAN を検索するための情報を管理する。

本システムは、定期的に CKAN の情報を監視し、指定された条件に合致する地図を発見した場合、ユーザにポップアップメッセージで案内する機能があり、その検索条件を指定する。(本テーブルは CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「クリアリングハウス検索情報」をクリックする場合に表示される)



1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-46 クリアリングハウス検索情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	定期的に検索する間隔	CKAN を定期的に検索する間隔を指定する。単位：秒	3
③	検索条件	CKAN の A P I の GetRecords リクエストの Get パラメータを指定する。 ※表 6-41 GetRecords のパラメータを参照	4
④	範囲の WKT	CKAN の情報検索の範囲を指定する。	5

表 6-47 GetRecords のパラメータ

パラメータ名	値	説明
KEYWORD	文字列	AND キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDOR	文字列	OR キーワード、スペース区切りで複数指定可能
KEYWORDNOT	文字列	NOT キーワード、スペース区切りで複数指定可能
BBOX	西側経度,南側緯度,東側経度,北側緯度	地理範囲条件、度単位
UPDATETERM	開始日時,終了日時 日時の形式は YYYY-MM-DDThh:mm:ss (日付と時刻を T で区切る)	メタデータの更新日時 (システムが管理するメタデータの登録・更新日時) に対する期間条件 開始日時と終了日時のカンマ区切り、一方を省略可能、省略すると片側無制限

1) 編集する

編集するデータをリストから選択し (黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

2) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.3.10 CKAN メタデータデフォルト設定情報

CKAN にデータを登録する際の諸設定の初期値を管理する。

(本テーブルは CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「メタデータデフォルト情報」をクリックする場合に表示される)

1) 新規で登録する

新規ボタンを押し、登録・編集ダイアログを開く。

表 6-48 CKAN メタデータデフォルト設定情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	作成者	CKAN に登録される『作成者』の初期値を指定する。	△△
③	作成者のメールアドレス	CKAN に登録される『作成者メールアドレス』の初期値を指定する。	xx@xxxx
④	メンテナー	CKAN に登録される『メンテナー』の初期値を指定する。	〇〇
⑤	メンテナーのメールアドレス	CKAN に登録される『メンテナーのメールアドレス』の初期値を指定する。	xx@xxxx

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

ら、削除を行う。

6.1.3.11 CKAN データ登録

本地図が持つ地図データを、CKAN に登録し、その情報を「CKAN 事前データ情報」に格納する。本システムはレイヤ単位で情報を制御するため、地図をレイヤ単位に分割して登録する。

（本画面は CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「クリアリングハウスデータ登録」をクリックする場合に表示される）

クリアリングハウスへの登録画面

対象レイヤ※	選択してください	①
メタデータに関する情報		
メタデータの公開/非公開	公開	②
システムURL	http://192.168.100.207:8080/SaigaiTask/	③
言語	ja	④
地図情報 (spatial)		⑤
地図データに関する情報		
タイトル		⑥
内容の要約		⑦
検索タグ		⑧
ライセンス情報	ライセンスが指定されていません	⑨
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報(*1)		
組織	ソフトベンチャー	⑩
作成者		⑪
作成者のメールアドレス		⑫
作成日		⑬
メンテナー		⑭
メンテナーのメールアドレス		⑮
修正日		⑯
バージョン番号		⑰
地図データの時間範囲に関する情報		
時間範囲に関する情報		⑱
地図データのアクセスに関する情報		
WMS URL		⑲
WFS URL		⑳
GeoJSON URL		㉑
レイヤの公開/非公開	公開	㉒
☐ メタデータデフォルト設定情報を更新する(*1)		
登録		

表 6-49 CKAN への登録

番号	名称	概要	設定例
----	----	----	-----

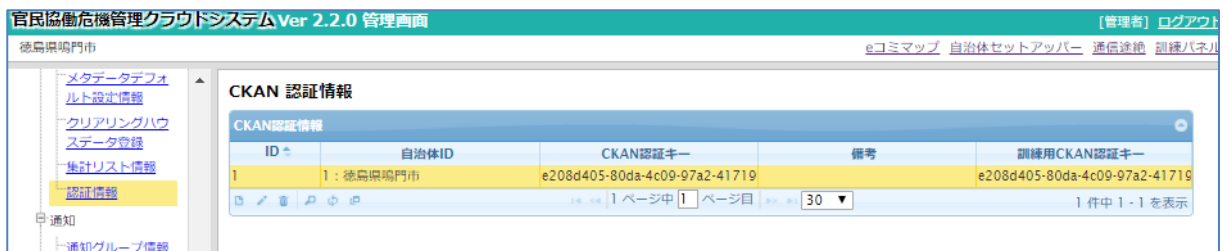
①	対象レイヤ	CKAN に登録するレイヤを選択する。	避難所
メタデータに関する情報			
②	メタデータの公開/非公開	メタデータの公開設定を指定する。	公開
③	システム URL	システムが自動で定義する。	
④	言語	CKAN に登録される言語を選択する。	
⑤	地図情報 (spatial)	システムが自動で定義する。	
地図データに関する情報			
⑥	タイトル	CKAN に登録される地図名称としてのタイトルを指定する。	〇〇
⑦	内容の要約	CKAN に登録されるメタデータの『内容の要約』を指定する。	要約
⑧	検索タグ	CKAN に登録されるメタデータの『検索タグ』を指定する。カンマ区切りで複数指定可。	地震, 避難所
⑨	ライセンス情報	CKAN に登録されるメタデータの『ライセンス情報』を選択する。	GNU Free Documentation License
メタデータ/地図データに関する問い合わせ先情報			
⑩	組織	CKAN に登録されるメタデータの『組織』を選択する。	〇〇市
⑪	作成者	CKAN に登録されるメタデータの『作成者』を指定する。	〇〇
⑫	作成者のメールアドレス	CKAN に登録されるメタデータの『作成者のメールアドレス』を指定する。	xxx@xxxxxxx
⑬	作成日	CKAN に登録された日時が表示される。	
⑭	メンテナー	CKAN に登録されるメタデータの『メンテナー』を指定する。	〇〇
⑮	メンテナーのメールアドレス	CKAN に登録されるメタデータの『メンテナーのメールアドレス』を指定する。	xxx@xxxxxxx
⑯	修正日	CKAN に登録済みのデータを最後に修正した日時が表示される。	
⑰	バージョン番号	クリアリングハウスに登録されるメタデータの『バージョン番号』を指定する。	1.3
地図データの時間範囲に関する情報			
⑱	時間範囲に関する情報	システムが自動で定義する。	
地図情報データのアクセスに関する情報			

⑱	WMS URL	システムが自動で定義する。	
⑳	WFS URL	システムが自動で定義する。	
㉑	GeoJSON URL	システムが自動で定義する。	
㉒	レイヤの公開 / 非公開	レイヤの公開設定を指定する。	公開

6.1.3.1 CKAN 認証情報

CKAN に登録する場合の認証情報を管理する。

(本画面は CKAN を利用する場合に、従来の設定・管理メニューの「認証情報」をクリックする場合に表示される)



1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・CKAN 認証情報ダイアログが表示される。

表 6-50 追加・CKAN 認証情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	CKAN 認証キー	CKAN 認証キーを設定する。	xxx
③	備考	備考を設定する。	〇〇
④	訓練用 CKAN 認証キー	訓練用 CKAN 認証キーを設定する。	xxx

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し (黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4. JSON 連携

本項では、GeoJSON 形式のデータを取得し、マスターマップに予め用意してあるレイヤにデータを登録する設定を行う機能について説明する。

6.1.4.1 GeoJSON 取込設定

予め同じフォーマットの GeoJSON ファイルを「e コミマップ」の「地物ファイルの登録」からレイヤを用意する。

その後、テーブルマスタ情報に登録し、GeoJSON 取込設定を行う。

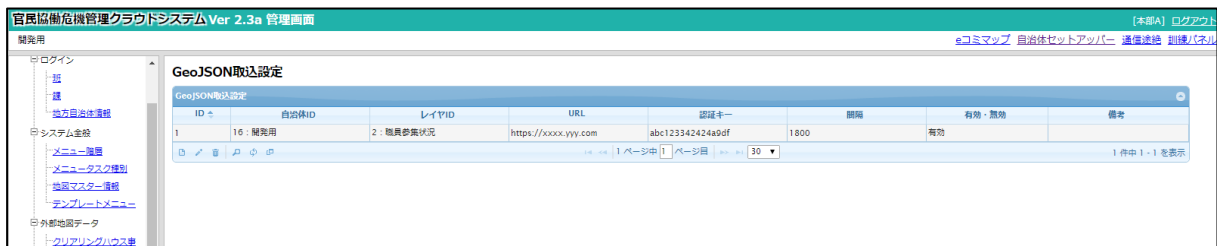


図 6-74 GeoJSON 取込設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・GeoJSON 取込設定が表示される。

表 6-47 追加・GeoJSON 取込設定ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県○○市
②	テーブル ID	GeoJSON レイヤを指定する。	107: GeoJSON レ

			イヤ
③	URL	GeoJSON データの URL を入力する。	https://xxxx. uuu.com/
④	認証キー	GET 認証キーの設定を行う。	x-api- key:p73dGtEBs eYLv9q8RjDjkY kpsLZEic3ZQg9 6m9sw
⑤	間隔	ポーリング間隔を設定する	1800
⑥	有効・無効	GeoJSON 取込設定の有効・無効を設定する。	有効
⑦	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.2 GeoJSON 出力設定

本システムから情報を出力する方法を設定する。

その後、テーブルマスタ情報に登録し、GeoJSON 出力設定を行う。



図 6-75 GeoJSON 出力設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・GeoJSON 出力設定が表示される。

表 6-48 追加・GeoJSON 出力設定ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: 〇〇県〇〇市
②	テーブル ID	GeoJSON レイヤを指定する。	107: GeoJSON レイヤ
③	SFTP URL	SFTP の URL を設定する。	https://xxxx.uuu.com/
④	SFTP ポート番号	SFTP のポート番号を設定する。	22
⑤	SFTP ユーザ名	SFTP のユーザ名を設定する	1800
⑥	SFTP パスワード	SFTP のパスワードを設定する。	有効
⑦	間隔	ポーリングの間隔を設定する。	18000
⑧	保存形式	同じファイルの上書き保存 またはファイル名に更新日時を含めた形式のどちらの形式で保存するかを設定する。	同じファイルの上書き保存
⑨	有効・無効	GeoJSON 出力設定の有効・無効を設定する。	有効
⑩	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.3 JSON 連携 API 設定

JSON 形式のデータを取得し、指定のレイヤを更新するための設定を行う。



図 6-76 JSON 連携 API 設定

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・JSON 連携 API 設定が表示される。

表 6-49 追加・JSON 連携 API 設定ウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	URL	連携先の URL を設定する。	https://xxxx.yyy.com/
③	認証キー	GET 認証キーを設定する。	abcdefg
④	間隔	ポーリング間隔を設定する	1800
⑤	有効・無効	GeoJSON 連携 API 設定の有効・無効を設定する。	有効
⑥	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンか

ら、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.4 JSON 連携更新対象レイヤ

JSON 形式のデータを取得し、指定のレイヤを更新するための対象レイヤテーブル設定を行う。



図 6-77 JSON 連携更新対象レイヤテーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・JSON 連携 API 設定が表示される。

表 6-50 追加・JSON 連携更新対象レイヤウィンドウの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	区分	災害情報、人的被害、住家被害、交通情報の中から区分を選択する	災害情報
②	テーブル ID	連携対象レイヤのテーブル ID を指定する。	107:GeoJSON レイヤ
③	整理番号属性	整理番号のデータを登録する属性の ID を設定する。	attr1
④	Contents 属性	contents のデータを登録する属性の ID を設定	attr2

		する。	
⑤	Category_text 属性	category_text のデータを登録する属性 ID を設定する。	attr3
⑥	subject 属性	subject のデータを登録する属性 ID を設定する。	attr4
⑦	Reception_date time 属性	reception_datetime のデータを登録する属性 ID を設定する。	attr5
⑧	備考	備考欄。	(なし)

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.4.5 SIP4D アップロード設定

SIP4D アップロード用の対象レイヤテーブル設定を行う。

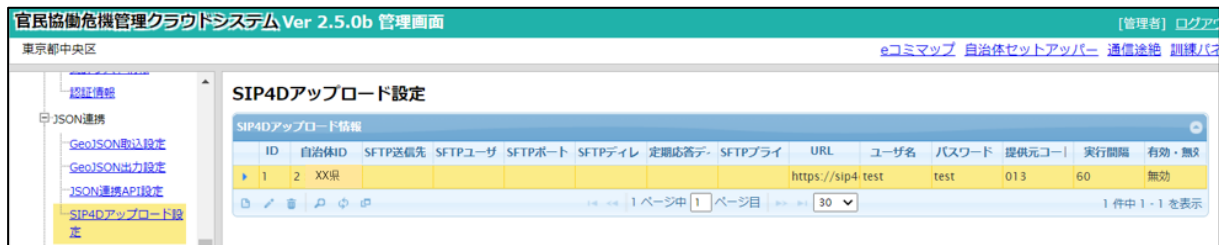


図 6-78 SIP4D アップロード情報テーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・SIP4D アップロード設定が表示される。

表 6-51 追加・SIP4D アップロード設定の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID(*)	使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	2. XX 県 XX 市
②	SFTP 送信先	送信先の IP アドレスまたはドメイン名	
③	SFTP ユーザ	ユーザ名	
④	SFTP ポート番号	ポート番号	
⑤	SFTP ディレクトリ	ファイルをアップロードするディレクトリ 絶対パス(先頭が/の場合)、または相対パスで設定する。 ※FTP/FTPS によるアップロードはサポートしていません。	
⑥	定期応答ディレクトリ	定期応答をアップロードするディレクトリ 定期応答は、システムが正常稼働していることを通知するために、定期的に空ファイルを送信する。その空ファイルの保存ディレクトリを設定する。	
⑦	SFTP プライベートキーファイル	プライベートキーファイル sftp は公開鍵認証のみサポートしています(パスワードによる認証は不可)。 「プライベートキーファイル」はサーバ側にあるプライベートキーファイルをフルパスで	

		指定します（クライアントからのアップロードではない）。 同じディレクトリに以下の名前でパブリックキーファイルが存在する想定。 [プライベートキーファイル名].pub プライベートキー/パブリックキー は、以下のコマンドで生成します。 <pre>ssh-keygen -t rsa -m pkcs8</pre> または <pre>ssh-keygen -t rsa -m pem</pre> SFTP (SSH) のサーバ側でも公開鍵認証の設定が必要。	
⑧	URL	HTTP(S) の URL multipart/form-data 形式で送信する。 複数のファイルを送信する場合、1 回のリクエストでまとめて送信される。	https://sip4d.xxx.co.jp/test/Test
⑨	ユーザ名	BASIC 認証のユーザ名	testuser
⑩	パスワード	BASIC 認証のパスワード	testpass
⑪	提供元コード(*)	メタデータの「提供元コード」	013
⑫	間隔	実行間隔(秒)	60
⑬	有効・無効(*)	無効の場合、このレコードが存在しないものとして扱われる。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SIP4D アップロード設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SIP4D アップロード設定をコピーし、それをもとに新たに SIP4D アップロード設定を作成することが出来る。コピー元となる SIP4D アップロード設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・SIP4D アップロード設定ダイアロ

グが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-54 を参照。
保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに SIP4D アップロード設定が作成される。

6.1.4.6 SIP4D 情報種別設定

SIP4D アップロードの連携対象のレイヤテーブル設定を行う。



図 6-79 SIP4D 情報種別情報テーブル

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・SIP4D 情報種別情報が表示される。

Add - SIP4D情報種別情報

SIP4Dアップロード情報(*) 1 ①

エントリ名(*) ②

テーブルID(*) 1: 体制発令 ③

メタデータのタイトル(*) ④

情報種別コード(*) 01-001-01: 避難所 ⑤

防災情報のカテゴリ(*) 気象 ⑥

作成者名(*) 作成者A ⑦

作成者名のe-mailアドレス(*) xxx@xxx.xxx.jp ⑧

公開フラグ(*) 一般公開可能 ⑨

ライセンスID(*) cc-zero ⑩

検索タグ ⑪

クレジットタイトル ⑫

備考 ⑬

検索条件 ⑭

本番・訓練(*) 本番 ⑮

有効・無効(*) 有効 ⑯

保存 キャンセル

表 6-52 追加・SIP4D 情報種別情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	SIP4D アップロ		自動挿入

	ード情報(*)		
②	エントリ名 (*)	SIP4D 連携項目	hinansho
③	テーブル ID (*)	連携対象のデータ取得元のレイヤをリストから選択する。	152：避難所
④	メタデータのタイトル(*)	SIP4D メタデータのタイトルを設定する。	避難所
⑤	情報種別コード(*)	SIP4D メタデータの情報種別コードをリストから選択する。	01-001-01：避難所
⑥	防災情報のカテゴリ(*)	SIP4D メタデータのカテゴリをリストから選択する。	避難
⑦	作成者名(*)	SIP4D メタデータの作成者名を設定する。	テスト
⑧	作成者の e-mail アドレス(*)	SIP4D メタデータの作成者の e-mail アドレスを設定する。	xxx@xxx.co.jp
⑨	公開フラグ(*)	SIP4D メタデータの公開フラグをリストから選択する。	一般公開可能
⑩	ライセンス ID(*)	SIP4D メタデータのライセンス ID をリストから選択する。	cc-zero
⑪	検索タグ	SIP4D メタデータの検索タグを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	
⑫	クレジットタイトル	SIP4D メタデータのクレジットタイトルを設定する。複数ある場合はカンマ区切りで設定する。	
⑬	備考	SIP4D メタデータの備考を設定する。	
⑭	検索条件	③で設定するテーブルから取得するデータの条件を設定する。	attr21=' 開設' or attr21=' 閉鎖'
⑮	本番・訓練(*)	false: 本番災害で有効、true: 訓練災害で有効	
⑯	有効・無効(*)	無効の場合、このレコードが存在しないものとして扱われる。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに SIP4D 情報種別情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み SIP4D 情報種別情報をコピーし、それをもとに新たに SIP4D 情報種別情報を作成することが出来る。コピー元となる SIP4D 情報種別情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・SIP4D 情報種別情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-54 を参照。

6.1.5. 通知

本項では、アラーム、ポップアップによる通知、Facebook、Twitter、公共情報コモンズによる他の配信媒体を介した通知、Eメールによる通知など情報伝達を支援するための設定を行う機能について説明する。

6.1.5.1 通知グループ情報

自治体>通知>通知グループ情報を選択すると下図のような画面が表示される。通知グループ情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

通知グループ情報は SIP4D 利活用システムから通知を行う対象をグループ化し、メーリングリストとして設定する情報である。本項目を設定することによって通知に関連した画面に送付先として表示され、また、職員参集メールの自動配信先として指定が可能となる。



図 6-78 通知グループ情報画面

(1) 通知グループ情報の編集

通知グループ情報ではSIP4D利活用システムから通知を行うメーリングリストを管理する。一括送信などに利用する情報である。

以下ではこの通知グループ情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知グループ情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知グループ情報ダイアログが表示される。



図 6-79 登録ボタン>追加・通知グループ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-52 追加・通知グループ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: 〇〇県〇〇市
②	グループ名	メーリングリストとして表示される名称を設定する。	全職員
③	備考	備考欄。	(なし)
④	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑤	有効・無効	通知グループ情報の有効・無効を設定する。	有効
⑥	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータ	

		は通知グループ情報一覧に表示される。	
⑦	キャンセル	追加・通知グループ情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、通知グループ情報一覧にデータが新規追加される。

通知グループ情報の追加により通知に関連する利用者画面に対して送付先として反映される。

図 6-80 利用者画面への反映

2) 通知グループ情報を編集する

編集を行いたい通知グループ情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知グループ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知グループ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-52 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知グループ情報を削除する

データの削除を行いたい通知グループ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知グループ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知グループ情報を削除することができる。削除・通知グループ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知グループ情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知グループ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知グループ情報をコピーする

登録済み通知グループ情報をコピーし、それをもとに新たに通知グループ情報を作成することが出来る。コピー元となる通知グループ情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知グループ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-52 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知グループ情報が作成される。

(2) 通知グループ連絡先情報の編集

通知グループ連絡先情報では、外部の業者や学校などの通知グループの所属連絡先をグループ化し管理する。メーリングリストの一部を設定するものである。

以下に通知グループ連絡先情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知グループ連絡先情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。

図 6-81 登録ボタン>追加・通知グループ連絡先情報ダイアログ

図 6-81 登録ボタン>追加・通知グループ連絡先情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-53 追加・通知グループ連絡先情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メールグループ情報	メーリングリストの対象となるグループをドロップダウンリストから選択する。	22:全職員
②	連絡先 ID	メーリングリストに登録するために「自治体>通知>通知連絡先情報」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	3:防災 太郎
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知グループ連絡先情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・通知グループ連絡先情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知グループ連絡先情報一覧にデータが新規追加される。

2) 通知グループ連絡先情報を編集する

編集を行いたい通知グループ連絡先情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知グループ連絡先情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-53 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知グループ連絡先情報を削除する

データの削除を行いたい通知グループ連絡先情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知グループ連絡先情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知グループ連絡先情報を削除することができる。削除・通知グループ連絡先情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知グループ連絡先情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知グループ連絡先情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知グループ連絡先情報をコピーする

登録済み通知グループ連絡先情報をコピーし、それをもとに新たに通知グループ連絡先情報を作成することが出来る。コピー元となる通知グループ連絡先情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知グループ連絡先情報ダイアログが表

示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-53 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知グループ連絡先情報が作成される。

(3) 通知グループユーザ情報の編集

通知グループユーザ情報では、「自治体>ログイン>ユーザ>班情報>ユニット情報>ユーザ情報」に登録したユーザをメーリングリストと紐づける設定を行う。

以下に通知グループユーザ情報の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知グループユーザ情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。



図 6-82 登録ボタン>追加・通知グループユーザ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-54 追加・通知グループユーザ情報ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メールグループ情報	メーリングリストの対象となるグループをドロップダウンリストから選択する。	22:全職員
②	ユーザ ID	メーリングリストに登録するために「自治体>ログイン>ユーザ>班情報>ユニット情報>ユーザ情報」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	3:防災 太郎
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知グループ連絡先情報一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・通知グループ連絡先情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知グループユーザ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 通知グループユーザ情報を編集する

編集を行いたい通知グループユーザ情報を選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知グループユーザ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-54 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知グループユーザ情報を削除する

データの削除を行いたい通知グループユーザ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知グループユーザ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知グループユーザ情報を削除することができる。削除・通知グループユーザ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知グループユーザ情報を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知グループユーザ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知グループユーザ情報をコピーする

登録済み通知グループユーザ情報をコピーし、それをもとに新たに通知グループユーザ情報を作成することが出来る。コピー元となる通知グループユーザ情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知グループユーザ情報ダイアログが表

示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-54 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知グループユーザ情報が作成される。

6.1.5.2 通知連絡先情報

通知グループ情報に登録される連絡先の一つとして参照される。本システムのユーザとして登録される連絡先以外の連絡先を管理する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-55 通知連絡先情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名前	連絡先の名前を登録する。	鈴木
③	電話番号	電話番号を登録する。	XXX-XXXX-XXX
④	携帯電話番号	携帯電話番号を登録する。	XXX-XXXX-XXXX
⑤	FAX 番号	F A X 番号を登録する。	XXX-XXXX-XXX
⑥	メールアドレス	メールアドレスを登録する。 通知メール、職員参集メールなど本システムから送信されるメールを受信するメールアドレスを指定する。	xxx@xxx
⑦	携帯のメールアドレス	携帯のメールアドレスを登録する。 通知メール、職員参集メールなど本システムから送信されるメールを受信するメールアドレスを指定する。	xxx@xxxxxx
⑧	備考		(なし)
⑨	有効・無効	有効、無効の切り替えをする。 通知メール等の送信先として参照の、有効、無	有効

		効を切り替える。	
--	--	----------	--

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.5.3 通知テンプレート

自治体>通知>通知テンプレートを選択すると下図のような画面が表示される。通知テンプレートが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

通知テンプレートは通知機能を使用する際に呼び出し可能な定型文の登録を行う。職員参集メールにおいては自動配信時の本文として設定することができる。

ID	自治体ID	通知種別	テンプレート種別	区分	タイトル	内容	備考	表示順
5	6:○○県○○市	1:メール	1:避難勧告・指示	メール	定型文 1	避難勧告・指示-定型文		1
6	6:○○県○○市	1:メール	2:津波到達前の住民避難	メール	定型文 2	津波到達前の住民避難-定型文		2
7	6:○○県○○市	1:メール	3:人命救助	メール	定型文 3	人命救助-定型文		3
8	6:○○県○○市	1:メール	4:本部設置	メール	定型文 4	本部設置-定型文		4
9	6:○○県○○市	1:メール	5:避難所	メール	定型文 5	避難所-定型文		5
10	6:○○県○○市	1:メール	6:道路規制・管開	メール	定型文 6	道路規制・管開-定型文		6
11	6:○○県○○市	1:メール	7:その他の要請	メール	定型文 7	その他の要請-定型文		7
12	6:○○県○○市	1:メール	8:避難所開設	メール	定型文 8	避難所開設-定型文		8
13	6:○○県○○市	1:メール	9:避難所運営	メール	定型文 9	避難所運営-定型文		9

図 6-83 通知テンプレート画面

(1) 通知テンプレートの編集

通知テンプレートでは、各種通知を行う際の定型文を設定する。

定型文を使用するメニューにおける「通知デフォルト情報」との連携をはかることで定型文を絞り込むことも可能である。

以下ではこの通知テンプレートの新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知テンプレートを新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知テンプレートダイアログが表示される。

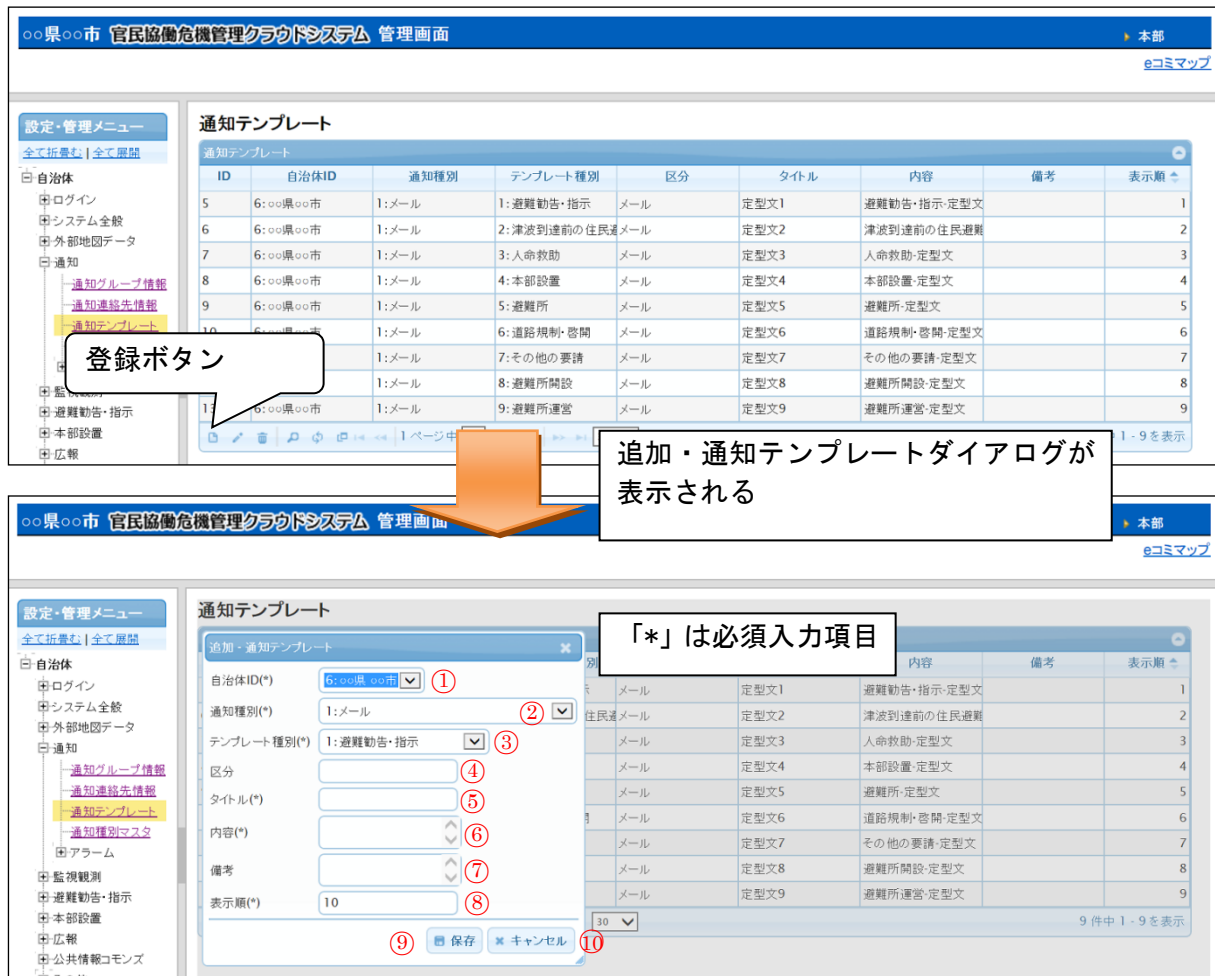


図 6-84 登録ボタン>追加・通知テンプレートダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-56 追加・通知テンプレートダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	通知テンプレートを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県○○市
②	通知種別	定型文の使用を想定している通信手段として「自治体>通知>通知種別マスタ」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	1: メール
③	テンプレート種別	定型文の使用を想定しているプロセス(災害対応業務の基本項目)をドロップダウンリストか	3: 人命救助

		ら選択する。	
④	区分	定型文の区分を設定する。	緊急速報メール
⑤	タイトル	定型文のタイトルを設定する。	人命救助
⑥	内容	定型文の本文を設定する。	(定型文)
⑦	備考	備考欄。	(なし)
⑧	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	61
⑨	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知テンプレート一覧に表示される。	
⑩	キャンセル	追加・通知テンプレートダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知テンプレート一覧にデータが新規追加される。

通知テンプレートの追加により利用者画面には以下の様に反映される。

close or Esc Key

定型文選択

避難勧告・指示	メール	☐	定型文1	避難勧告・指示-定型文
津波到達前の住民避難	メール	☐	定型文2	津波到達前の住民避難-定型文
人命救助	メール	☐	定型文3	人命救助-定型文
本部設置	メール	☐	定型文4	本部設置-定型文
避難所	メール	☐	定型文5	避難所-定型文
道路規制・啓閉	メール	☐	定型文6	道路規制・啓閉-定型文
その他の要請	メール	☐	定型文7	その他の要請-定型文
避難所開設	メール	☐	定型文8	避難所開設-定型文
避難所運営	メール	☐	定型文9	避難所運営-定型文

登録/指示

図 6-85 利用者画面への反映

2) 通知テンプレートを編集する

編集を行いたい通知テンプレートを選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知テンプレートダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知テンプレートのデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-56 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知テンプレートを削除する

データの削除を行いたい通知テンプレートを選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知テンプレートダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の通知テンプレートを削除することができる。削除・通知テンプレートダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知テンプレートを検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知テンプレートの絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知テンプレートをコピーする

登録済み通知テンプレートをコピーし、それをもとに新たに通知テンプレートを作成することが出来る。コピー元となる通知テンプレートを選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知テンプレートダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-56 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知テンプレートが作成される。

6.1.5.4 安否応答状況情報

自治体>通知>安否応答状況情報を選択すると下図のような画面が表示される。安否応答状況情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

ID	自治体ID	名称	表示順	有効・無効
1	1: 愛知	テスト	1	有効

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・安否応答状況情報ダイアログが表示される。

表 6-57 追加・安否応答状況情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	名称	安否応答状況情報の名称を設定する。	テスト
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
④	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

6.1.5.5 アラーム

(1) アラームメッセージ設定

自治体>通知>アラーム>アラームメッセージ設定を選択すると下図のような画面が表示される。アラームメッセージ設定が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

アラームメッセージ設定では、現在の体制の状態を都道府県、他機関などに通知を行うための設定を行うものである。

ID	自治体ID	グループID	アラームタイプID	アラームタイプ名	表示メッセージ	メッセージ表示フラグ	メッセージタイプ	表示時間	0で手動消	表示順	有効・無効
6	6: 〇〇県〇〇市	11: 本部	1: 体制	体制変更	警戒配備になりました。false	false	green		0	1	有効
7	6: 〇〇県〇〇市	11: 本部	1: 体制	体制変更	体制が解除になりましたtrue	true	yellow		0	2	有効

図 6-86 アラームメッセージ設定画面

(2) アラームメッセージ設定の編集

アラームメッセージ設定は、アラームを通知する際のメッセージの文面や表示方法の設定を行う。体制の発令、移行、解除を行うときに用いられる。

以下にアラームメッセージ設定の新規登録、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) アラームメッセージ設定を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。

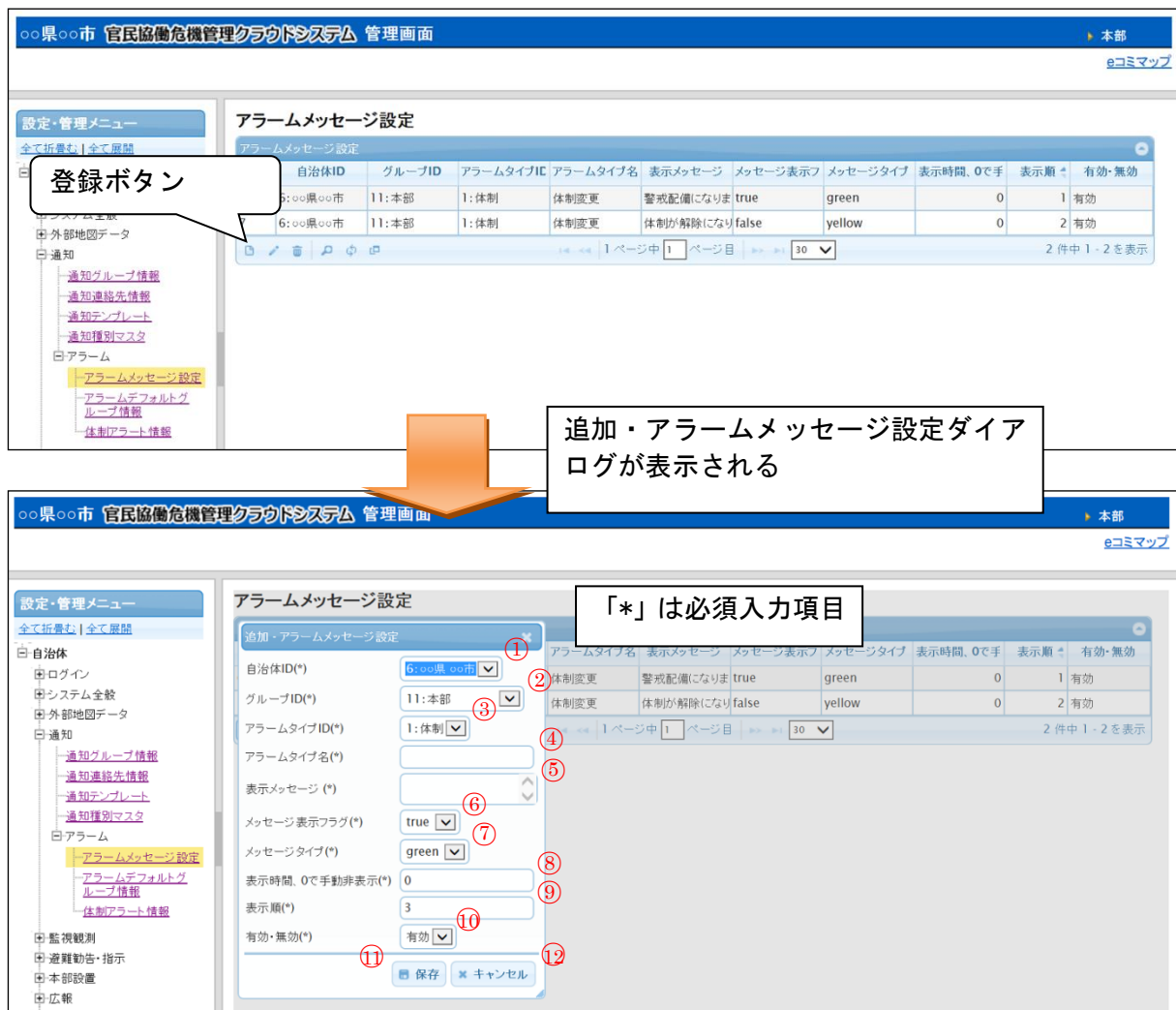


図 6-87 登録ボタン>追加・アラームメッセージ設定ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-58 追加・アラームメッセージ設定ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	アラームの発報を行う自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: 〇〇県〇〇市
②	グループ ID	アラームの発報を行うグループを指定するために「自治体>ログイン>ユーザ」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	12: 本部室 (危機管理課)
③	アラームタイプ	アラームメッセージの種類をドロップダウン	1: 体制

	ID	リストから選択する。	
④	アラームタイプ名	アラームメッセージの種類に関する名称を設定する。	警戒配備
⑤	表示メッセージ	アラームとして表示されるメッセージを設定する。	警戒配備になりました。
⑥	メッセージ表示フラグ	メッセージの表示について設定する。false の場合は、アラーム一覧のみ表示される。	true
⑦	メッセージタイプ	メッセージの種類をドロップダウンリストから選択する。アラームメッセージの背景色になる。	yellow
⑧	表示時間、0 で手動非表示	アラームメッセージの表示時間を設定する。0 を設定した場合は手動非表示となる。	0
⑨	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	70
⑩	有効・無効	アラームメッセージ設定の有効・無効をドロップダウンリストから選択する。	有効
⑪	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータはアラームメッセージ設定一覧に表示される。	
⑫	キャンセル	追加・アラームメッセージ設定ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、アラームメッセージ設定一覧にデータが新規追加される。

2) アラームメッセージ設定を編集する

編集を行いたいアラームメッセージ設定を選択後、編集ボタンを押下することで編集・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択されたアラームメッセージ設定のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-58 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) アラームメッセージ設定を削除する

データの削除を行いたいアラームメッセージ設定を選択後、削除ボタンを押下すると削除・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象のアラームメッセージ設定を削除することができる。削除・アラームメッセージ設定ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) アラームメッセージ設定を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにアラーム

メッセージ設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) アラームメッセージ設定をコピーする

登録済みアラームメッセージ設定をコピーし、それをもとに新たにアラームメッセージ設定を作成することが出来る。コピー元となるアラームメッセージ設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・アラームメッセージ設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-58 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにアラームメッセージ設定が作成される。

6.1.6. 監視観測

6.1.6.1 気象情報

気象庁が配信する、気象情報 XML に応じて、本システムが実行する処理の内容を設定する。

気象情報 XML の情報で、受信対象とする情報の種類を登録し、その情報に対して、本システムが実行する処理のトリガー条件を設定する。

(1) 気象情報取得情報の登録

気象情報 XML の情報で、受信対象とする情報の種類を登録する。

The screenshot shows a web application interface for registering weather information acquisition data. The title bar reads '岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面'. The main content area is titled '気象情報等取得情報' and contains a table with the following data:

ID	自治体ID	気象情報種別	エリアID	エリアID予備	アラームフラグ	表示フラグ	地図表示フラグ	備考	有効・無効
24	14:岩手県釜石市	2:震度速報	211		true	true	false	岩手県沿岸南部	有効

Navigation controls at the bottom show '1 ページ中 1 ページ目' and '30' items.

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

The dialog box '追加 - 気象情報等取得情報' contains the following fields and options, numbered 1 through 9:

- 自治体ID(*): 4 : test
- 気象情報種別(*): 1 : 気象特別警報・警報・注意報
- エリアID(*): 0110000 : 札幌市
- エリアID予備: (empty)
- アラームフラグ(*): true
- 表示フラグ(*): true
- 備考: (empty text area)
- 有効・無効(*): 有効

Buttons at the bottom: 保存 (Save) and キャンセル (Cancel).

表 6-59 気象情報等取得情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	気象情報種別	以下、気象情報の種別	1:気象警報・注

		1:気象警報・注意報 2:震度速報 3:津波警報・注意報 4:震源・震度に関する情報 5:指定河川洪水予報 6:土砂災害警戒情報 7:記録的短時間大雨情報 8:竜巻注意情報 9:噴火警報・予報	意報
③	エリア ID	気象庁の定めるエリア ID を設定する。 エリア ID は気象情報種別ごとに別 ID となる。 下記の URL 参照 http://xml.kishou.go.jp/	0110000: 札幌市
④	エリア ID 予備	未使用	
⑤	アラームフラグ	アラームとして表示する場合は True を設定する。	true
⑥	表示フラグ	スクロールテロップとして表示する場合は True を設定する。	true
⑧	備考	備考欄	
⑨	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

(2) 気象情報 XSLT 情報

気象情報 XML を、通知メッセージに変換するための XSLT を登録する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-60 気象情報 XSLT 情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D 利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	気象情報種別	1:気象警報・注意報 2:震度速報 3:津波警報・注意報 4:震源・震度に関する情報 5:指定河川洪水予報 6:土砂災害警戒情報 7:記録的短時間大雨情報 8:竜巻注意情報 9:噴火警報・予報	2:震度速報
③	通信種別	1:メール 2:アラート 3:テロップ 4:公共情報コモンズ（緊急速報メール） 5:公共情報コモンズ（メディア） 6:Facebook 7:Twitter	1:メール
④	XSLT ファイルパス	URL を指定する。	xxxxxxx

⑤	アップロード	XSLT ファイルをアップロードする。 アップロードすると XSLT ファイルパスに自動で値が入る。	
---	--------	---	--

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.6.2 河川情報

一般社団法人 河川情報センターが配信する河川情報数値データを取得し、雨量や水位の観測状況を表やグラフにして確認、アラートを表示することができる。

入力項目には河川情報センターから提供される仕様書が必要である。

本マニュアルには「9.資料」に「テレメータ伝送仕様書」の一部を掲載した。

(1) テレメータ

自治体>監視観測>河川情報>テレメータを選択する。

テレメータサーバ情報の設定で、河川情報数値データの URL、ユーザ名、パスワードを入力する。

表 6-61 テレメータサーバ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	URL	テレメータデータの取得先 URL を記述	xxxxxx
③	ユーザ名	BASIC 認証のユーザ名	user
④	パスワード	BASIC 認証のパスワード	pass
⑤	インターバル (秒)	テレメータデータの取得間隔 (秒)	60
⑥	遅延	テレメータデータの取得間隔の遅延秒	0
⑦	備考	備考欄	
⑧	有効・無効	サーバ機能の有効、無効を指定する。	有効

登録したテレメータサーバ情報のリストを開き、取り込む管理事務所、観測所を設定する。

管理事務所番号を「テレメータ管理事務所情報」に入力し、取り込むデータを「テレメータ観測所情報」に設定する。

- テレメータ管理事務所情報

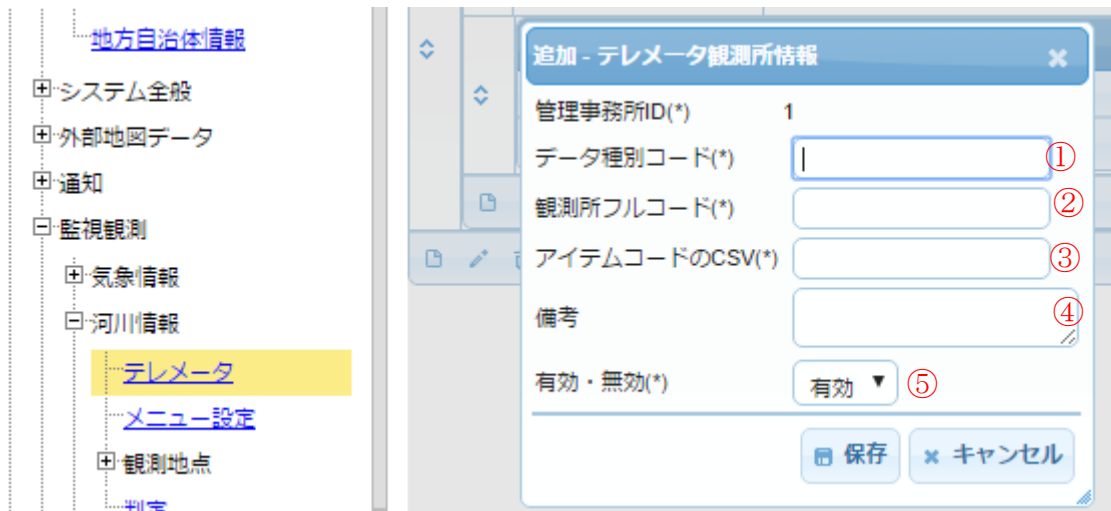
管理事務所番号、管理事務所名は、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ伝送仕様書コード表」を入手し、参照して入力する。

表 6-62 管理事務所情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	管理事務所番号	管理事務所を指定する番号。数値 5 桁で構成される。(参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	21531
②	管理事務所名	①で指定された管理事務所の名称	○○川下流

		(参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	
③	備考	備考欄	
④	有効・無効	管理事務所情報の有効、無効を指定する。	有効

● テレメータ観測所情報



データ種別コード、アイテムコードは、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ伝送仕様書コード表」、「観測局一覧表」を入手し、参照して入力する。

表 6-63 テレメータ観測所情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	データ種別コード	データ種別（雨量、水位、ダム諸量）を表す。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	21531
②	観測所フルコード	観測局を特定するためのコードであり、管理事務所番号（5桁）＋種別番号（3桁）＋観測所番号（5桁）で構成される。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表、観測局一覧表)	2153100100001
③	アイテムコードのCSV	取得するデータ項目コードを記入する。カンマ区切り（CSV形式）で複数指定可能。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード表)	10, 30, 70, 80
④	備考	備考欄	
⑤	有効・無効	観測所情報の有効、無効を指定する。	有効

(2) メニュー設定

自治体>監視観測>河川情報>メニュー設定を選択する。

10分データ用と1時間データ用の二つを作ることを水準する。

監視観測メニュー情報に、表示したいメニューID を指定する。

表 6-64 監視観測メニュー情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	メニューID	観測リストを表示するタスクメニューの ID をドロップダウンリストから選択する。	3796:センサーリスト
②	データ表示回数	表示する行数	24
③	備考	備考欄	

次に監視観測リスト情報に、表示するテレメータのデータ種別と観測所を指定する。
監視観測メニューに登録した情報のリストを開き、監視観測リスト情報を登録する。

監視観測する種類と、上記の各観測地点の登録で指定した ID、データ項目コードを指定する。データ項目コードに関しては、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ伝送仕様書コード表」を入手し、参照して入力する。

表 6-65 監視観測リスト情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
----	----	----	-----

①	監視観測 ID	観測の種類をドロップダウンリストから選択する。	1:雨量
②	観測所 ID	各観測地点で登録された情報の ID をドロップダウンリストから選択する。	3
③	データ項目コード	データ項目コードを設定する。 (参照：テレメータ伝送仕様書コード)	70
④	表示順	観測所の表示順を指定する。	3
⑤	備考	備考欄	

(3) 観測地点

1) 雨量レイヤ

自治体＞監視観測＞河川情報＞観測地点＞雨量レイヤを選択する。

e コミマップで作成した、「雨量レイヤ」を登録する。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ

雨量レイヤ

追加 - 雨量観測地点レイヤ情報

「*」は必須入力項目

自治体ID(*) 0 : null null ①

テーブルID(*) 1 : 体制発令 ②

値の属性ID(*) ③

時刻の属性ID ④

レベルの属性ID(*) ⑤

備考 ⑥

保存 キャンセル

テーブル ID、観測値、観測時刻、観測レベルの属性 ID を指定する。

テーブル ID は雨量観測所に関係する項目を選択する。

表 6-66 追加・雨量レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された雨量レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	13:雨量観測所
③	値の属性 ID	ドロップダウンリストから観測値の属性 ID を選択する。	attr3
④	時刻の属性 ID	ドロップダウンリストから観測時刻の属性 ID を選択する。	attr7
⑤	レベルの属性 ID	ドロップダウンリストから観測レベルの属性 ID を選択する。	attr4
⑥	備考	備考欄	

2) 雨量観測地点

次に「雨量観測地点」を設定する。ここで設定した内容が、グラフの観測所名や緯度経度など、内容に表示される。

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>雨量観測地点を選択する。

設定・管理メニュー
[全て折畳む](#) | [全て展開](#)

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ
 - 雨量観測地点**
 - 河川水位レイヤ
 - 河川水位観測地点
 - ダムレイヤ
 - ダム観測地点
 - 判定
 - JAlert
 - 避難勧告・指示
 - 本部設置
 - 広報
 - 意思決定支援
 - 公共情報commons
 - その他
- システム

雨量観測地点

追加 - 雨量観測地点情報

「*」は必須入力項目

① 自治体ID(*) 0 : null null ▼

② エリア番号

③ 管理事務所番号

④ 管理事務所名

⑤ 所管機関コード

⑥ 所管機関名

⑦ 水系名

⑧ 河川名

⑨ 観測所番号

⑩ 観測所名(*)

⑪ ふりがな

⑫ 緯度

⑬ 経度

⑭ 標高

⑮ 都道府県

⑯ 所在地

⑰ テーブルID 1 : 体制発令 ▼

⑱ フィーチャID

⑲ URL

⑳ true:iframe, false:popup(*) popup ▼

㉑ 幅

㉒ 高さ

㉓ 備考

保存 キャンセル

テーブル ID、フィーチャ ID を指定すると、e コミマップの属性値を自動で更新する。また、地図上に表示された観測所をクリックすると、グラフが表示される。

表 6-67 雨量観測地点情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1: ○○県○○市
②	エリア番号	テレメータデータのエリア番号 ※	84
③	管理事務所番号	テレメータデータの管理事務所番号 ※	21531
	管理事務所名	テレメータデータの管理事務所名 ※	○○川下流河川事務所
④	所管機関コード	テレメータデータの所管機関コード ※	21531
	所管機関名	テレメータデータの所管機関名 ※	○○川下流河川事務所
⑤	水系名	テレメータデータの水系名 ※	水系
⑥	河川名	テレメータデータの河川名 ※	○×川
⑦	観測所番号	テレメータデータの観測所名 ※	5
	観測所名	テレメータデータの観測所名 ※	
	ふりがな	テレメータデータの観測所名の振り仮名 ※	
⑧	緯度	観測地点の緯度 ※	37.485554
	経度	観測地点の経度 ※	139.16417
⑨	標高	観測地点の標高 ※	230
⑩	都道府県	テレメータデータの都道府県 ※	○○県
⑪	所在地	テレメータデータの所在地 ※	○○県△△市
⑫	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された雨量レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	13:雨量観測所
⑬	フィーチャ ID	雨量観測所のフィーチャ ID。 E コミマップに登録されたレイヤの番号。	7
⑭	URL	未使用	
⑮	true:iframe, false:popup	ウィンドウを表示する際の形式をドロップダウンリストから選択する。	iframe
⑯	幅	表示するウィンドウの幅	1024
	高さ	表示するウィンドウの高さ	768
⑰	備考	備考欄	

※これらの項目は河川情報センターからのデータを参照して入力する。
クリックしたときに表示される

観測地点情報に入力されたデータが雨量観測のグラフの各項目となる。

3) 河川水位レイヤ

自治体＞監視観測＞河川情報＞観測地点＞河川水位レイヤを選択する。

e コミマップで作成した、「河川水位レイヤ」を登録する。

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
システム全般
外部地図データ
通知
監視観測
気象情報
河川情報
テレメータ
メニュー設定

河川水位レイヤ

追加 - 河川水位観測地点レイヤ情報

自治体ID(*) 0 : null null ①

テーブルID(*) 1 : 体制発令 ②

値の属性ID(*) ③

時刻の属性ID ④

レベルの属性ID(*) ⑤

備考 ⑥

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

テーブル ID、観測値、観測時刻、観測レベルの属性 ID を指定する。

テーブル ID は河川水位観測所に関する項目を選択する。

表 6-68 河川水位レイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された水位レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	13:水位観測所
③	値の属性 ID	ドロップダウンリストから観測値の属性 ID を選択する。	attr3
④	時刻の属性 ID	ドロップダウンリストから観測時刻の属性 ID を選択する。	attr7
⑤	レベルの属性 ID	ドロップダウンリストから観測レベルの属性 ID を選択する。	attr4
⑥	備考	備考欄	

4) 河川水位観測地点

次に「河川水位観測地点」を設定する。ここで設定した内容が、グラフの観測所名や緯度経度など、内容に表示される。自治体>監視観測>河川情報>観測地点>河川水位観測地点を選択する。

設定・管理メニュー

[全て折畳む](#) | [全て展開](#)

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ
 - 雨量観測地点
 - 河川水位レイヤ
 - 河川水位観測地点
 - ダムレイヤ
 - ダム観測地点
 - 判定
 - JAlert
 - 避難勧告・指示
 - 本部設置
 - 広報
 - 意思決定支援
 - 公共情報コモンズ
 - その他
- システム

河川水位観測地点

追加 - 河川水位観測地点情報

「*」は必須入力項目

自治体ID(*)	0 : null null ▼	①	
エリア番号		②	
管理事務所番号			
管理事務所名			
所管機関コード			
所管機関名			
水系名		⑤	
河川名		⑥	
観測所番号			
観測所名(*)			
ふりがな			
緯度			
経度			
標高		⑨	
都道府県		⑩	
所在地		⑪	
水防団待機水位			
氾濫注意水位			
避難判断水位			
氾濫危険水位			
計画高水位			
表示最大水位			
表示最小水位			
基準標高		⑭	
テーブルID	1 : 体制発令 ▼	⑮	
フィーチャID		⑯	
URL		⑰	
true:iframe, false:popup(*)	popup ▼	⑱	
幅			
高さ			
備考		⑳	

テーブル ID、フィーチャ ID を指定すると、e コミマップの属性値を自動で更新する。また、地図上に表示された観測所をクリックすると、グラフが表示される。

グラフの最大水位、最小水位は、表示最大水位、表示最小水位で指定する。

表 6-69 河川水位観測地点情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県○○市
②	エリア番号	テレメータデータのエリア番号 ※	84
③	管理事務所番号	テレメータデータの管理事務所番号 ※	21531
	管理事務所名	テレメータデータの管理事務所名 ※	○○川下流河川事務所
④	所管機関コード	テレメータデータの所管機関コード ※	21531
	所管機関名	テレメータデータの所管機関名 ※	○○川下流河川事務所
⑤	水系名	テレメータデータの水系名 ※	水系
⑥	河川名	テレメータデータの河川名 ※	○×川
⑦	観測所番号	テレメータデータの観測所名 ※	5
	観測所名	テレメータデータの観測所名 ※	
	ふりがな	テレメータデータの観測所名の振り仮名 ※	
⑧	緯度	観測地点の緯度 ※	37.485554
	経度	観測地点の経度 ※	139.16417
⑨	標高	観測地点の標高 ※	230
⑩	都道府県	テレメータデータの都道府県 ※	○○県
⑪	所在地	テレメータデータの所在地 ※	○○県△△市
⑫	水防団待機水位	テレメータデータの水防団待機水位 ※	8.2
	氾濫注意水位	テレメータデータの氾濫注意水位 ※	8.7
	避難判断水位	テレメータデータの避難判断水位	9.5
	氾濫危険水位	テレメータデータの氾濫危険水位 ※	11.08
	計画高水位	テレメータデータの計画高水位 ※	9
⑬	表示最大水位	テレメータデータの表示最大水位 ※	20
	表示最小水位	テレメータデータの表示最小水位 ※	0
⑭	標準標高	テレメータデータの基準標高 ※	
⑮	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録された水位レイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	12:水位観測所

⑯	フィーチャ ID	河川水位観測所のフィーチャ ID。 E コミマップに登録されたレイヤの番号。	7
⑰	URL	未使用	
⑱	true:iframe, false:popup	ウィンドウを表示する際の形式	iframe
⑲	幅	表示するウィンドウの幅	1024
	高さ	表示するウィンドウの高さ	768
⑳	備考	備考欄	

※これらの項目は河川情報センターからのデータを参照して入力する。

5) ダムレイヤ

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>ダムレイヤを選択する。e コミマップで作成した、「ダムレイヤ」に登録する。

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
+ ログイン
+ システム全般
+ 外部地図データ
+ 通知
監視観測
+ 気象情報
河川情報
+ テレメータ
+ メニュー設定

ダムレイヤ

追加 - ダム観測所レイヤ情報

自治体ID(*) 0 : null null ①

テーブルID(*) 1 : 体制発令 ②

値の属性ID(*) ③

時刻の属性ID ④

レベルの属性ID(*) ⑤

備考 ⑥

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

テーブル ID、観測値、観測時刻、観測レベルの属性 ID を指定する。

テーブル ID はダム観測所に関する項目を選択する。

表 6-70 ダムレイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県△△市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されたダムレイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	14:ダム
③	値の属性 ID	ドロップダウンリストから観測値の属性 ID を	attr1

		選択する。	
④	時刻の属性 ID	ドロップダウンリストから観測時刻の属性 ID を選択する。	attr7
⑤	レベルの属性 ID	ドロップダウンリストから観測レベルの属性 ID を選択する。	attr4
⑥	備考	備考欄	

6) ダム観測地点

次に「ダム観測地点」を設定する。ここで設定した内容が、グラフの観測所名や緯度経度など、内容に表示される。

自治体>監視観測>河川情報>観測地点>ダム観測地点を選択する。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 雨量レイヤ
 - 雨量観測地点
 - 河川水位レイヤ
 - 河川水位観測地点
 - ダムレイヤ
 - ダム観測地点**
 - 判定
 - JAlert
 - 避難勧告・指示
 - 本部設置
 - 広報
 - 意思決定支援
 - 公共情報コモンズ
 - その他

ダム観測地点

追加 - ダム観測所情報

「*」は必須入力項目

自治体ID(*) 0 : null null ①

エリア番号 ②

管理事務所番号 ③

管理事務所名 ③

所管機関コード ④

所管機関名 ④

観測所番号 ⑤

観測所名(*) ⑤

ふりがな ⑥

緯度 ⑥

経度 ⑥

都道府県 ⑦

所在地 ⑧

テーブルID 1 : 体制発令 ⑨

フィーチャID ⑩

URL ⑪

true:iframe, false:popup(*) popup ⑫

幅 ⑬

高さ ⑬

備考 ⑭

保存 × キャンセル

テーブル ID、フィーチャ ID を指定すると、e コミマップの属性値を自動で更新する。また、地図上に表示された観測所をクリックすると、グラフが表示される。

表 6-71 ダム観測地点情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1 : ○○県△△市
②	エリア番号	テレメータデータのエリア番号 ※	84
③	管理事務所番号	テレメータデータの管理事務所番号 ※	21531
	管理事務所名	テレメータデータの管理事務所名 ※	○○河川国道
④	所管機関コード	テレメータデータの所管機関コード ※	21528
	所管機関名	テレメータデータの所管機関名 ※	○○河川国道事務所
⑤	観測所番号	テレメータデータの観測所番号 ※	1
	観測所名	テレメータデータの観測所名 ※	△△ダム
	ふりがな	テレメータデータの観測所名の振り仮名 ※	さんかくさんかくだむ
⑥	緯度	観測地点の緯度 ※	38.030277
	経度	観測地点の経度 ※	139.56721
⑦	都道府県	テレメータデータの都道府県 ※	○○県
⑧	所在地	テレメータデータの所在地 ※	○○県△△市
⑨	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されたダムレイヤに関する項目の ID をドロップダウンリストから選択する。	14:ダム
⑩	フィーチャ ID	ダム観測所のフィーチャ ID。 E コミマップに登録されたレイヤの番号。	4
⑪	URL	未使用	
⑫	true:iframe, false:popup	ウィンドウを表示する際の形式	iframe
⑬	幅	表示するウィンドウの幅	1024
	高さ	表示するウィンドウの高さ	768
⑭	備考	備考欄	

※これらの項目は河川情報センターからのデータを参照して入力する。

(4) 判定

自治体＞監視観測＞河川情報＞判定を順次選択する。

災害時に起こる水位の増加などを観測し、状態を判定する機能。

テレメータデータで設定された項目を参考に判定は行われる。

1) データ判定管理情報を追加する

表 6-72 データ判定管理情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	所属する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1：〇〇県〇〇市
②	名称	実行される判定項目の名称	〇×雨量
③	判定インターバル (分)	判定を定期的に行う時間	60
④	遅延 (分)	判定後にメッセージを送るまでのタイムラグ	0
⑤	判定順	優先的に判定を行う項目を定める順番	2
⑥	備考	備考欄	
⑦	有効・無効	判定の有効、無効を指定する。	無効

データの判定に対し、表示の変更やポップアップ表示などの設定を行っていく。判定順は値の小さいものから判定し、閾値の高いものが後から判定するように設定する。

2) 判定値の設定

データ判定管理情報のリストを開く。

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
 - 気象情報
 - 河川情報
 - テレメータ
 - メニュー設定
 - 観測地点
 - 判定**
- JAlert
- 避難勧告・指示
- 外部設置

判定

データ判定管理情報

ID 自治体ID 名称

1 5 : 〇〇県△△市 123

追加 - データ判定情報

データ判定管理ID(*) 1

観測所コード(*) ①

データ項目コード(*) ②

名称(*) ③

値(*) ④

式ID(*) ⑤

備考 ⑥

有効・無効(*) 有効 ⑦

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

観測所コード、データ項目コードに関しては、一般社団法人 河川情報センターより「テレメータ 伝送仕様書コード表」、「観測局一覧表」を入手し、参照して入力する。

表 6-73 データ判定情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	観測所コード	観測局を特定するためのコードであり、管理事務所番号（5桁）＋種別番号（3桁）＋観測所番号（5桁）で構成される。 （参照：テレメータ伝送仕様書コード表、観測局一覧表）	2153100100005
②	データ項目コード	判定に使用する演算・観測項目のデータ項目コードを設定する。 （参照：テレメータ伝送仕様書コード表）	10
③	名称	判定項目の名称	〇×雨量
④	値	テレメータの閾値を設定する。	true
⑤	式ID	データ判定式マスタのIDを判定条件に合わせて設定する。	1
⑥	備考	備考欄	
⑦	有効・無効	判定の有効、無効を指定する。	有効

データ判定情報は、指定の観測所のデータ項目コードの値に対し、式と値を設定する。式の ID はデータ判定式マスタの ID を設定する。

表 6-74 データ判定式のマスタ ID（式 ID）の各名称と概要

ID	名称	内容
1	以上	値が閾値以上
2	以下	値が閾値以下
3	より上	値が閾値を上回った
4	より下	値が閾値を下回った
5	等しい	値が閾値と等しい

また、データ判定式マスタへ式を登録することで、その他の四則演算のような判定を行うこともできる。

3) 判定結果をポップアップ表示する

判定結果で画面上にポップアップを表示する場合に、データ判定アラーム情報を追加する。ポップアップに出すメッセージに関しては、アラームメッセージ設定に追加し、その ID をデータ判定 アラーム情報に追加する。

● データ判定アラーム情報の追加

データ判定管理情報のリストを開く。

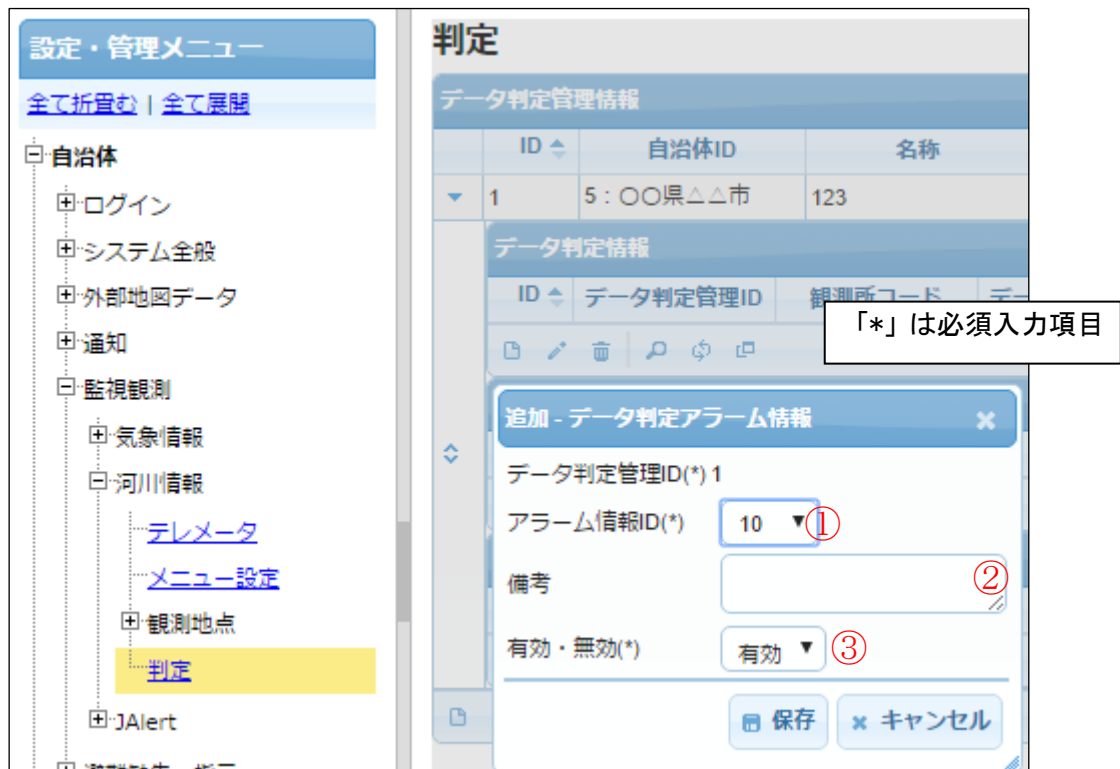


表 6-75 データ判定アラーム情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	アラーム情報 ID	アラームメッセージ設定に追加した情報の ID を、ドロップダウンリストから選択する。	1
②	備考	備考欄	
③	有効・無効	アラームの有効、無効	有効

● アラームメッセージ設定

自治体>通知>アラーム>アラームメッセージ設定を選択する。表示メッセージに判定による結果のメッセージを記入する。

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- 外部地図データ
- 通知
 - 通知グループ情報
 - 通知連絡先情報
 - 通知テンプレート
 - 安否応答状況情報
- アラーム
 - アラームメッセージ設定**
- 監視観測
- 避難勧告・指示

アラームメッセージ設定

追加 - アラームメッセージ設定

自治体ID(*) 5 : ○○県△△市 ①

グループID(*) 0 : デフォルト ②

アラームタイプID(*) 1 : 体制 ③

アラームタイプ名(*) ④

表示メッセージ(*) ⑤

メッセージ表示フラグ(*) true ⑥

メッセージタイプ(*) green ⑦

表示時間、0で手動非表示(*) 0 ⑧

表示順(*) 105 ⑨

有効・無効(*) 有効 ⑩

保存 キャンセル

「*」は必須入力項目

表 6-76 アラームメッセージ設定の入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	アラームの発報を行う自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	グループ ID	アラーム発報を行うグループを指定するために「自治体>ログイン>ユーザ」に登録されている情報をドロップダウンリストから選択する。	0 : デフォルト
③	アラームタイプ ID	アラームメッセージの種類をドロップダウ	1 : 体制

		ンリストから選択する。	
④	アラームタイプ名	アラームメッセージの種類に関する名称を設定する。	第一次配備体制
⑤	表示メッセージ	アラームとして表示されるメッセージを設定する。	第一次配備体制になりました1
⑥	メッセージ表示フラグ	メッセージの表示について設定する。Falseの場合は、アラーム一覧のみ表示される。	True
⑦	メッセージタイプ	メッセージの種類をドロップダウンリストから選択する。	green
⑧	表示時間	アラームメッセージの表示時間を設定する。0を設定した場合は手動非表示となる。	0
⑨	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑩	有効・無効	アラームメッセージ設定の有効・無効をドロップダウンリストから選択する。	有効

4) 判定結果をメール通知する

判定結果をメール送信する場合には、データ判定通知情報を追加する。メールを出すグループは、通知グループ情報へ追加し、その ID をデータ判定通知情報に追加しておく。

自治体＞通知＞通知グループ情報を選択する。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- 外部地図データ
- 通知
 - 通知グループ情報
 - 通知連絡先情報
 - 通知テンプレート
 - 安否応答状況情報

通知グループ情報

「*」は必須入力項目

追加 - 通知グループ情報

自治体ID(*) 5: ○○県△△市 ①

グループ名(*) ②

備考 ③

表示順(*) 11 ④

有効・無効(*) 有効 ⑤

保存 キャンセル

表 6-77 通知グループ情報の入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
⑪	自治体 ID	メーリングリストを使用する自治体をドロップダウンリストから選択する。	1: ○○県○○市
⑫	グループ ID	メーリングリストとして表示される名称を設定する。	災害対策本部 幹部
⑬	備考	備考欄	
⑭	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑮	有効・無効	通知グループ情報の有効・無効を設定する。	有効

5) 判定結果で表示を設定する

判定結果でテレメータの表示を変更する場合には、データ判定結果スタイル情報を追加する。スタイル文字列には、Cascading Style Sheets の文字列をそのまま入力する。

データ判定管理情報のリストを開く。

表 6-78 データ判定結果スタイル情報の入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	スタイル文字列	スタイルを指定する文字列	Background-color:red;
②	備考	備考欄	
③	有効・無効	通知グループ情報の有効・無効を設定する。	有効

6.1.6.3 JAlert

(1) JAlert サーバ情報

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・JAlert サーバ情報ダイアログが表示される。

表 6-79 追加・JAlert サーバ情報ダイアログの入力項目の各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県○ ○市
②	サーバ URL	JAlert サーバの URL を設定する。	http://xxx
③	ユーザ名	JAlert サーバのユーザ名を設定する。	saigaitask
④	パスワード	JAlert サーバのパスワードを設定する。	admin
⑤	備考	備考欄	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

(2) JAlert 情報取得情報

設定・管理メニュー

[全て折畳む](#) | [全て展開](#)

自治体

ログイン

システム全般

JAlert情報取得情報

JAlert情報取得情報

	ID ▲	自治体ID	JAlert情報種別	エリアID (気象条件により異なる)	エリアID予備	アラームフラグ	表示フラグ	備考	有効・無効
	▶ 1	1: 愛知	1: 気象情報	123		true	true		有効

1件中 1 - 1 を表示

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-80 追加・JAlert 情報取得情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県 ○○市
②	JAlert 情報種別	JAlert の情報種別を設定する。	1: 気象情報
③	エリア ID(気象条件により異なる)	気象庁が定めるエリア ID を設定する。 エリア ID は気象情報種別ごとに別 ID となる。 下記の URL 参照。 http://xml.kishou.go.jp/	test
④	エリア ID 予備	エリア ID の予備を設定する。	
⑤	アラームフラグ	アラームとして表示する場合は True を設定する。	true
⑥	表示フラグ	スクロールテロップとして表示する場合は True を設定する。	true
⑦	備考	備考欄。	

⑧	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効
---	-------	----------------	----

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.7. 避難勧告・指示

6.1.7.1 避難勧告レイヤ

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

外部地図データ

避難勧告レイヤ情報

避難勧告レイヤ情報

ID	自治体ID	テーブルID	属性ID
1	1: 愛知	87: 避難勧告・避難指示の発令単位	attr0
2	3: test	176: 避難勧告・避難指示の発令単位	attr0

1ページ中 1 ページ目

30

2件中 1 - 2 を表示

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・避難勧告レイヤダイアログが表示される。

追加 - 避難勧告レイヤ情報

自治体ID(*)

0 : null null

①

テーブルID(*)

1 : 体制発令

②

属性ID(*)

③

保存

キャンセル

表 6-81 追加・避難勧告レイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14: ○○県 ○市
②	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	1:体制発令
③	属性 ID	ドロップダウンリストから避難勧告・指示についての ID を選択する。	attr7

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.8. 本部設置

本項では、職員参集情報の追加、編集、削除を行う「職員参集情報」画面と、体制区分の追加、編集、削除を行う「体制区分」画面について説明する。

6.1.8.1 職員参集情報

自治体>本部設置>職員参集情報を選択すると下図のような画面が表示される。職員参集情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。この画面では、SIP4D 利活用システムで体制が発令された際に自動的に発信する職員参集情報（体制区分やメールテンプレート、通知グループなど）の追加、編集、削除等の設定を行うことができる。



図 6-88 職員参集情報画面

(1) 職員参集情報の編集

SIP4D 利活用システムでは、体制発令時に自動的に職員参集支持を行え、そのための情報を「職員参集情報」として管理している。以下ではこの職員参集情報の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 職員参集情報を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・職員参集情報ダイアログが表示される。



図 6-89 登録ボタン>追加・職員参集情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-82 追加・職員参集情報ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	職員参集を行う自治体のドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	体制 ID	職員参集を行う体制をドロップダウンリストから選択する。	13:警戒配備
③	テンプレート	職員参集で発信するメールのテンプレートを設定する。	143:警戒配備
④	通知グループ ID	職員参集メールを発信するグループをドロップダウンリストから選択する。	44:全職員

⑤	参集名	職員参集情報の名前を記載する。	警戒配備 参集職員
⑥	備考	備考を記載する。	(なし)
⑦	有効・無効	職員参集情報の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑧	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑨	キャンセル	追加・職員参集情報ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、職員参集情報一覧にデータが新規追加される。

2) 職員参集情報を編集する

編集を行いたい職員参集情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・職員参集情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された職員参集情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-82 を参照。



図 6-90 編集ボタン>編集・職員参集情報ダイアログ

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 職員参集情報を削除する

データの削除を行いたい職員参集情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・職員参集情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対

象の職員参集情報を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) **職員参集情報を検索する**

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに職員参集情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) **職員参集情報をコピーする**

登録済み職員参集情報をコピーし、それをもとに新たに職員参集情報を作成することができる。

コピー元となる職員参集情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・職員参集情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-82 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに職員参集情報が作成される。

6.1.8.2 体制区分

自治体>本部設置>体制区分を選択すると下図のような画面が表示される。体制区分が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。この画面では、SIP4D 利活用システムで発令する体制の情報（災害種別や体制の名称等）の追加、編集、削除等の設定を行うことができる。

ID	自治体ID	災害種別リストID	体制ID	名称	発令職員	備考	表示順	削除・編集
13	14: 岩手県宮古市	2: 地震・津波	1: 警戒本部	警戒配備	1		11	削除
14	14: 岩手県宮古市	2: 地震・津波	1: 警戒本部	1号非常配備	2		12	削除
15	14: 岩手県宮古市	2: 地震・津波	1: 警戒本部	2号非常配備	3		13	削除
16	14: 岩手県宮古市	2: 地震・津波	1: 警戒本部	3号非常配備	4		14	削除

図 6-91 体制区分画面

(1) 体制区分の編集

SIP4D 利活用システムでは、自治体ごとに災害時の警戒レベルに応じた体制（「警戒配備」や「非常配備」等）を登録し、体制発令時に自動的に職員参集指示を行うことができ、そのための情報を「体制区分」として管理している。以下ではこの体制区分の新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 体制区分を新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・体制区分ダイアログが表示される。

岩手県釜石市 官民協働危機管理クラウドシステム 管理画面

設定・管理メニュー
全て折畳む | 全て展開

自治体
ログイン
監視観測
本部設置
職員多集情報
体制区分

体制区分

ID	自治体ID	災害種別マスタID	体制ID	名称
13	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	警戒配備
	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	1号非常配備
	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	2号非常配備
16	14:岩手県釜石市	2:地震・津波	1:警戒本部	解除

登録ボタン

追加・体制区分ダイアログが表示される

追加・体制区分

「*」は必須入力項目

自治体ID(*) 14:岩手県釜石市 ①

災害種別マスタID(*) 1:水士砂 ②

体制ID(*) 0:解除 ③

名称(*) ④

出動職員(*) ⑤

備考 ⑥

表示順(*) 34 ⑦

有効・無効(*) 有効 ⑧

保存 ⑨ キャンセル ⑩

図 6-92 登録ボタン>追加・体制区分ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-83 追加・体制区分ダイアログの各名称及び概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	災害種別マスタ ID	体制区分の災害種別をドロップダウンリストから選択する。	2：地震・津波
③	体制 ID	体制区分が示す体制をドロップダウンリストから選択する。	1：警戒本部
④	名称	体制区分の名称を設定する。	1 号非常配備
⑤	出勤職員	体制区分で出勤する職員を設定する。	1
⑥	備考	備考を記載する。	(なし)
⑦	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面で体制区分一覧が表示されるとき、上位に表示される。	11
⑧	有効・無効	体制区分の有効・無効をドロップダウンリストから設定する。	有効
⑨	保存	各項目に設定された値が登録される。	
⑩	キャンセル	追加・体制区分ダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、体制区分一覧にデータが新規追加される。

2) 体制区分を編集する

編集を行いた体制区分を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・体制区分ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された体制区分のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-83 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 体制区分を削除する

データの削除を行いたい体制区分を選択後、削除ボタンを押下すると削除・体制区分ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の体制区分を削除することができる。削除ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 体制区分を検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに体制区分の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 体制区分をコピーする

登録済み体制区分をコピーし、それをもとに新たに体制区分を作成することができる。コピー元となる体制区分を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・体制区分ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-83 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに体制区分が作成される。

6.1.8.3 体制レイヤ

自治体>本部設置>体制レイヤを選択する。

体制レイヤ情報

ID	テーブルID	体制区分の属性ID	発令日時の属性ID	登録時間の属性ID(未使用)	終了時間の属性ID(未使用)
1: 体制発令	attr0	attr9	attr0	attr0	attr0
1: 体制発令	attr0	attr0	attr11	attr0	attr0
103: 体制	attr7	attr9	attr0	attr0	attr0
192: 体制	attr7	attr9	attr0	attr0	attr0

追加 - 体制レイヤ情報

テーブルID(*) 1: 体制発令 ①

体制区分の属性ID(*) ②

発令日時の属性ID(*) ③

登録時間の属性ID(未使用) ④

終了時間の属性ID(未使用) ⑤

保存 キャンセル

表 6-84 体制レイヤ情報の入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	テーブルID	体制レイヤに関係する項目のIDをドロップダウンリストから選択する。	2274:体制
②	体制区分の属性ID	ドロップダウンリストから体制の区分についてのIDを選択する。	attr7
③	発令日時の属性ID	ドロップダウンリストから体制の発令日時に関する項目のIDを選択する。	attr9
④	登録時間の属性ID	未使用	
⑤	終了時間の属性ID	未使用	

- 旧バージョンを利用しているユーザ

旧バージョンから利用しているユーザは、メニュータイプを「リスト(地図有)」へ変更する。

メニューテーブル情報を変更する。テーブルIDが体制発令のIDの行を削除し、体制レイヤをIDに指定して追加する。

編集については6.1.2.2(3)メニューテーブル情報の編集を参照する。

地図レイヤ情報には体制がないはずなので、追加する。

登録は 6.1.2.2 (7) 地図レイヤの編集を参照する。

設定・管理メニュー

[全て折畳む](#) | [全て展開](#)

- 自治体
 - ログイン
 - システム全般
 - メニュー階層
 - メニュータスク種別**
 - 地図マスター情報
 - 外部地図データ
 - 通知
 - 監視観測
 - 避難勧告・指示
 - 本部設置
 - 広報
 - 意思決定支援
 - 公共情報コンパス
 - その他
- システム

タスク種別情報

ID	自治体ID	
▶ 11	1: 愛知	1-A.監視・観測情報 (地震・津波)
▶ 33	3: test	1-A.監視・観測情報 (地震・津波)
▶ 1	0: 0	本部会議
▼ 8	1: 愛知	2-A.体制発令 (地震・津波; 4-A.地

メニュー情報

ID	タスク種別	メニュータイプ	名称
▼ 77	8: 2-A.体制発令 (地震・津波)	1: リスト (地図有)	〇体制の発令、移行、解除

メニューテーブル情報

ID	メニューID	テーブルID	
▼ 178	77: ①体制の発令、移行、解除	103: 体制	false

テーブルリスト項目情報

ID	メニューテーブルID	テーブル項目名	名称	編集可	強調表示	グループ
▶ 1213	178	attr1	自治体名	false	false	false
▶ 1217	178	attr7	体制	true	true	false
▶ 1214	178	attr9	発令日時	true	true	false
▶ 1626	178	attr11	最終更新日時	false	false	false
▶ 1625	178	attr10	備考	true	true	false

6.1.9. 広報

6.1.9.1 Twitter 設定

Twitter に記事を投稿するためのアクセストークンを設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-85 Twitter 設定

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : ○○県○ ○市
②	Access token	Twitter の Access token を設定する。 下記URL参照 https://dev.twitter.com/	
③	Access token secret	Twitter の Access token secret を設定する。 下記URL参照 https://dev.twitter.com/	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.9.2 Facebook 設定

Facebook に記事を投稿するためのアクセストークンを設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。



表 6-86 Facebook 設定

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14 : 〇〇県〇〇市
②	Access token	Facebook の Access token を設定する。 アクセストークンは無期限トークンにする必要がある。 下記URL参照 https://developers.facebook.com/	

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.9.3 Facebook 投稿先情報

Facebook に記事を投稿するための投稿先の情報を設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・Facebook 投稿先情報ダイアログが表示される。

表 6-87 追加・Facebook 投稿先情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	セット名	Facebook 投稿先情報のセット名を設定する。	
③	ページ ID	ページタイプに対応した ID を設定する。	
④	ページタイプ	投稿するページタイプを設定する。	ホームのタイムライン(ページ ID に Facebook アカウントの ID を指定してください)
⑤	備考	備考欄	
⑥	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

⑦	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効
---	-------	----------------------	----

2) **編集する**

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから登録・編集ダイアログを開く。

3) **削除する**

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.9.4 e コミ GW 投稿先情報

e コミグループウェアに記事を投稿するための投稿先情報を設定する。e コミグループウェアについては <http://ecom-plat.jp/group.php?gid=10046> を参照する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、追加・e コミグループウェア投稿先情報ダイアログが表示される。

表 6-88 追加・e コミグループウェア投稿先情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	セット名	e コミグループウェア投稿先情報のセット名を設定する。	test
③	投稿先グループ ID	e コミグループウェア投稿先情報の投稿先グループ ID を設定する。API の groupid に該当する。 ※groupid とは e コミのページを識別するコードのこと。	50001
④	パーツ共通 ID	e コミグループウェア投稿先情報のパーツ共通 ID を設定する。API の partsid に該当する。 ※partsid とは e コミのページを構成する部	urgent

		品につけられるコードのこと	
⑤	パーツ個別 ID	e コミグループウェア投稿先情報のパーツ個別 ID を設定する。API の blockID に該当する。 ※e コミのページを構成する部品を個別に識別するコードのこと。	203
⑥	投稿先 URL	投稿先の URL を設定する。	XXXXXXXX
⑦	備考	備考欄	
⑧	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑨	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.10. 意思決定支援

6.1.10.1 避難者推定

自治体>意思決定支援>避難者推定を選択すると下図のような画面が表示される。意思決定支援レイヤ情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

設定・管理メニュー		意思決定支援レイヤ情報						
全て折畳む 全て展開		意思決定支援レイヤ情報						
自治体		ID	自治体ID	意思決定支援レイ	テーブルID	属性ID 1	属性ID 2	備考
ログイン		1	1: 愛知	1: 建物被害推定	1: 体制発令			
システム全般								表示順 1 有効
		1 ページ中 1 ページ目 30 1件中 1 - 1 を表示						

図 6-93 意思決定支援レイヤ情報画面

(1) 意思決定支援レイヤ情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

外部地図データ

通知

監視観測

避難動向・指示

本部設置

広報

意思決定支援

避難者推定

公共情報コモンズ

意思決定支援レイヤ情報

意思決定支援レイヤ情報

ID	自治体ID	意思決定支援レイ	テーブルID	属性ID 1	属性ID 2	備考	表示順	有効・無効
1	1: 愛知	1: 建物被害推定	1: 体制発令				1	有効

1 ページ中 1 ページ目 30 1件中 1 - 1 を表示

登録ボタン

追加・意思決定支援レイヤ情報

追加・意思決定支援レイヤ情報

自治体ID(*)

1: 愛知

意思決定支援レイヤ種別ID(*)

1: 建物被害推定レイヤ

テーブルID(*)

1: 体制発令

属性ID 1

属性ID 2

備考

表示順(*)

有効・無効(*)

有効

保存

キャンセル

追加・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される

*は必須入力項目

図 6-94 登録ボタン>追加・意思決定支援レイヤ情報

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-89 追加・意思決定支援レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市

②	意思決定支援レイヤ種別 ID	意思決定支援のレイヤ種別 ID を指定する。	1:建物被害推定レイヤ
③	テーブル ID	テーブルマスター情報に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	4:体制発令
④	属性 ID 1	属性 ID を指定する。	attr0
⑤	属性 ID 2	属性 ID を指定する。	attr1
⑥	備考	備考欄	
⑦	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
⑧	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

必須項目および任意情報を設定し保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存され、意思決定支援レイヤ情報一覧にデータが新規追加される。

2) 編集する

編集したい意思決定支援レイヤ情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された意思決定支援レイヤ情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-89 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい意思決定支援レイヤ情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・意思決定支援レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の意思決定支援レイヤ情報を削除することができる。削除・意思決定支援レイヤ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに意思決定支援レイヤ情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み意思決定支援レイヤ情報をコピーし、それをもとに新たに意思決定支援レイヤ情報を作成することが出来る。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・被災項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-89 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに意思決定支援レイヤ情報が作成される。

6.1.11. 公共情報コモンズ

6.1.11.1 公共情報コモンズ避難勧告情報

公共情報コモンズに送信する、避難勧告情報を格納するレイヤ名および、属性名を登録する。ここで登録された情報を基に、公共情報コモンズに送信されるXMLデータが生成される。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-90 公共情報コモンズ避難勧告情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	テーブルID	避難勧告・指示状況のレイヤを選択する。	
③	地区	地区名を格納する属性の attr 番号を設定する。 ※attr 番号=e コミマップでレイヤの属性に発行されるID	attr1
④	発令状況	発令状況を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr2
⑤	地区世帯数	地区世帯数を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr3
⑥	人数	地区人数を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr4
⑦	発令日時	発令日時を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr5

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.11.2 公共情報コモンズ避難所情報

公共情報コモンズに送信する、避難所情報を格納するレイヤ名および、属性名を登録する。ここで登録された情報を基に、公共情報コモンズに送信されるXMLデータが生成される。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-91 公共情報コモンズ避難所情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14:〇〇県〇〇市
②	テーブルID	避難勧告・指示状況のレイヤを選択する。	
③	避難所名	避難所名を格納する属性の attr 番号を設定する。 ※attr 番号=e コミマップでレイヤの属性に発行されるID	attr1
④	地区	地区を格納する属性の attr 番号を設定する	attr2

		る。	
⑤	住所	住所（避難所の所在地）を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr3
⑥	電話番号	電話番号を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr4
⑦	F A X	F A X 番号を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr5
⑧	代表者名	代表者を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr6
⑨	開設状況	開設状況を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr7
⑩	収容定員数	収容定員数を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr8
⑪	開設日時	開設日時を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr9
⑫	閉鎖日時	閉鎖日時を格納する属性の attr 番号を設定する。	attr10

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.11.3 公共情報コモンズ発信先データ

公共情報コモンズのデータを送信する先のサーバおよび、アカウント情報を設定する。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-92 公共情報コモンズ発信先データ

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	体制区分の自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	エンドポイントURL	利用手続き後に、マルチメディア振興センターが提供する「マスタ管理システム」で、情報発信するための設定をする際に、生成されるURLを登録する。	http://xxxx
③	ユーザ名	利用手続き後に、マルチメディア振興センターが提供する「マスタ管理システム」から発行されるアカウントのユーザ名を登録する。	user
④	パスワード	上記ユーザのパスワードを登録する。	pass
⑤	エンドポイントURL バックアップノード	②のエンドポイントURL が使えない場合のバックアップノードを指定する。	http://yyy
⑥	ユーザ名バックアップノード	バックアップノードのユーザ名指定する。	xxxx
⑦	パスワードバックアップノード	バックアップノードのパスワードを指定する。	xxxxxx

⑧	表示順	未使用	
⑨	運用種別	運用種別を設定する。 ・本番 ・訓練 ・テスト 公共情報コモンズに送信されるXMLの「運用種別」に反映する。	テスト

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

6.1.12. その他

6.1.12.1 被災項目情報

自治体>その他>被災項目情報を選択すると下図のような画面が表示される。被災項目情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

ID	自治体ID	行番号	項目名称
1	1: 愛知	1	

図 6-95 被災項目情報画面

(1) 被災項目情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・被災項目情報ダイアログが表示される。

ID	自治体ID	行番号	項目名称
1	1: 愛知	1	

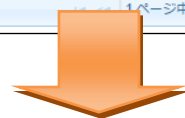


図 6-96 登録ボタン>被災項目情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-93 追加・被災項目情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	行番号	被災項目情報の行番号を指定する。	1
③	項目名称	項目名称を指定する。	人的被害

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを押下することで設定した内容が保存され、メニュー設定情報一覧にデータが新規追加される。

2) 編集する

編集を行いたい被災項目情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・被災項目情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された被災項目情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-93 を参照

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい被災項目情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・被災項目情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の被災項目情報を削除することができる。削除・被災項目情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに被災項目情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みの被災項目情報をコピーし、それをもとに新たに被災項目情報を作成することが出来る。コピーボタンを押下すると、レコードコピー・被災項目情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-93 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに被災項目情報が作成される。

6.1.12.2 ランドマーク

自治体>その他>ランドマークを選択すると下図のような画面が表示される。目標物情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。



図 6-97 目標物情報画面

(1) 目標物情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・目標物情報ダイアログが表示される。



図 6-98 登録ボタン>追加・目標物情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-94 追加・目標物情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体 I D	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	有効・無効	メニュー設定情報の有効・無効を設定する。	有効

2) 編集する

編集を行いたい目標物情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・目標物情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された目標物情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-94 を参照。

設定後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい目標物情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・目標物情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の目標物情報を削除することができる。削除・目標物情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに目標物の絞り込みを行うことが出来る。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みの目標物情報をコピーし、それをもとに新たに目標物を作成することができる。

コピー元となる目標物情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・目標物情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-94 を参照

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに目標物が作成される。

6.1.12.3 一括削除

自治体>その他>一括削除を選択する下図のような画面が表示される。メニューテーブル情報のサブテーブルである「テーブルリスト項目情報」および地図レイヤ情報の「地図レイヤ属性情報」をチェックボックスによって項目を選択し、一括で削除する。

一括削除

災害種別 班	メニュープロセス	メニュータスク	メニュー	テーブルリスト項目情報 全て選択 ☒	地図レイヤ属性情報 全て選択 ☒		
	38:1.監視・観測	377:A.監視・観測情報	80:①監視・観測情報（一元表示）	☒	☒		
			5:②監視カメラ情報	☒	☒		
			81:③テレメータ水位情報	☒	☒		
			82:④テレメータ水位情報	☒	☒		
			83:⑤テレメータ雨量情報	☒	☒		
			84:⑥ダム放流情報	☒	☒		
	116:2.本部設置	325:A.体制発令	77:①体制の発令、移行、解除	☒	☒		
			78:②対応状況	☒	☒		
			79:③対応履歴	☒	☒		
		532:B.庁舎の被災状況確認	100:①建物の被災	☒	☒		
			101:②ライフラインの被災と復旧見込	☒	☒		
			102:③代替拠点への移行	☒	☒		
			103:④対応状況	☒	☒		
			104:⑤対応履歴	☒	☒		
		62:C.職員参集	6:①参集メールの送信	☒	☒		
			7:②安否確認・参集状況の管理	☒	☒		
			8:③対応状況	☒	☒		
	249:3.避難所開設	181:A.避難所（一般）の開設	17:①開設要請避難所の選択	☒	☒		
			18:②開設要請	☒	☒		
			34:③開設状況の管理	☒	☒		
			35:④避難所の追加登録	☒	☒		
			36:⑤Lアラート（ｽﾏｰﾄﾞ）発信	☒	☒		
			40:⑥対応状況	☒	☒		
			41:⑦対応履歴	☒	☒		
		584:B.福祉避難所の開設	106:①開設要請福祉避難所の選択	☒	☒		
			113:②開設要請	☒	☒		
			114:③開設状況の管理	☒	☒		
			115:④避難所の追加登録	☒	☒		
			116:⑤対応状況	☒	☒		
			117:⑥対応履歴	☒	☒		
		262:4.避難動向・指示	649:A.避難動向・指示の発令状況と追加情報	121:①避難動向等の発令・更新	☒	☒	
				123:②Lアラート（ｽﾏｰﾄﾞ）発信	☒	☒	
				134:⑥対応状況	☒	☒	
				135:⑦対応履歴	☒	☒	
		一括削除実行					

6.1.12.4 投稿写真レイヤ

自治体>その他>投稿写真レイヤを選択すると下図のような画面が表示される。投稿写真レイヤが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

設定・管理メニュー		投稿写真レイヤ	
全て新規に追加		投稿写真レイヤ情報	
自由体 システム主権 外部地図データ 通知 監視機能 避難動向・指示	ID	テーブルID	コメント属性ID
	0:0	1:体制発令	123
			123
			123
			123
		123 1:体制発令	
		1 ページ中 1 ページ 30 表示	
		1件中 1 - 1 を表示	

図 6-99 投稿写真レイヤ画面

(1) 投稿写真レイヤの編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。

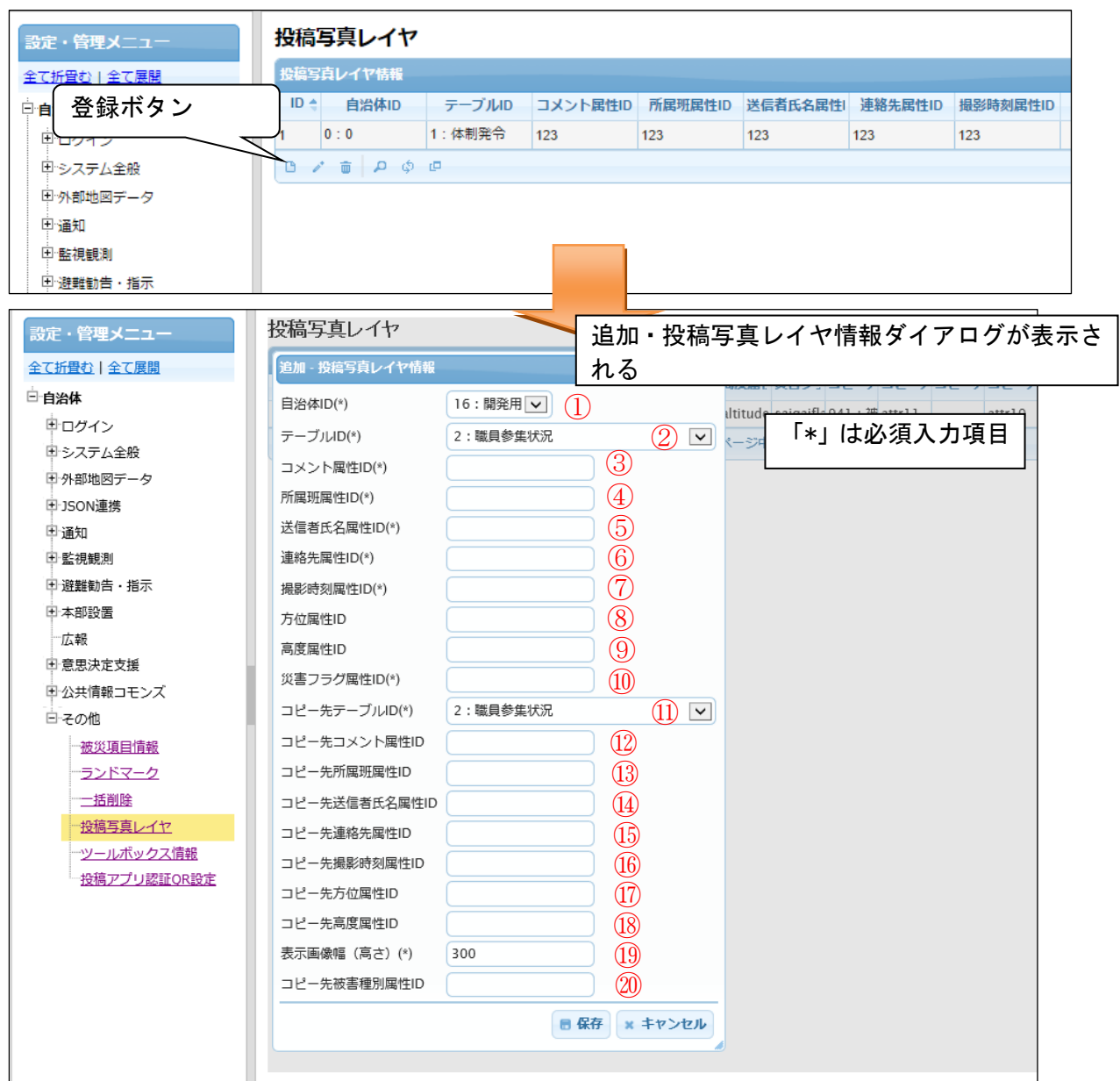


図 6-100 登録ボタン>追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-95 追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	テーブルID	テーブルマスター情報に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。	94: 写真投稿レイヤ
③	コメント属性ID	入力したコメントが登録する属性IDを指定	comment

		する。	
④	所属班属性 ID	スマホ操作者の所属班が登録される属性 ID を指定する。	groupname
⑤	送信者氏名属性 ID	スマホ操作者の氏名が登録される属性 ID を指定する。	senduser
⑥	連絡先属性 ID	スマホ操作者の連絡先が登録される属性 ID を指定する。	sendusertel
⑦	撮影時刻属性 ID	撮影時間が登録される属性 ID を指定する。	registtime
⑧	方位属性 ID	撮影時の方位情報が登録される属性 ID を指定する。	compass
⑨	高度属性 ID	撮影時の高度情報が登録される属性 ID を指定する。	altitude
⑩	災害フラグ属性 ID	撮影時の災害モード(true)、平時モード(false)が登録される属性 ID を指定する。	saigaiflag
⑪	コピー先テーブル ID	投稿写真のコピー先となるテーブル ID を指定する。	41:被災箇所
⑫	コピー先コメント属性 ID	投稿写真のコピー先となるコメント属性 ID を指定する。	attr0
⑬	コピー先所属班属性 ID	投稿写真のコピー先となる所属班属性 ID を指定する。	attr1
⑭	コピー先送信者氏名属性 ID	投稿写真のコピー先となる送信者指名属性 ID を指定する。	attr2
⑮	コピー先連絡先属性 ID	投稿写真のコピー先となる連絡先属性 ID を指定する。	attr3
⑯	コピー先撮影時刻属性 ID	投稿写真のコピー先となる撮影時刻属性 ID を指定する。	attr4
⑰	コピー先方位属性 ID	投稿写真のコピー先となる方位属性 ID を指定する。	attr5
⑱	コピー先高度属性 ID	投稿写真のコピー先となる高度属性 ID を指定する。	attr6
⑲	表示画像幅(高さ)	表示画像の幅をピクセル単位で指定する。	300
⑳	コピー先被害種別属性 ID	被災レイヤ側の被災の種類属性	attr7

※94：写真投稿レイヤの属性 ID (comment～saigaiflag、adoptionstate) はレイヤ作成時、固定値設定が必要となる。

2) 編集する

編集を行いたい投稿写真レイヤを選択後、編集ボタンを押下することで、編集・投

稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された投稿写真レイヤのデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-95 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい投稿写真レイヤを選択後、削除ボタンを押下すると削除・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の投稿写真レイヤを削除することが出来る。削除・投稿写真レイヤ情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに投稿写真レイヤの絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み投稿写真レイヤの情報をコピーし、それをもとに新たに投稿写真レイヤを作成することができる。コピー元となる投稿写真レイヤ情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-95 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに投稿写真レイヤが作成される。

(2) 投稿写真画面の設定

投稿写真画面を出す場合、メニューテーブル情報の設定は必須となる。また、地図画面を使用しているため、背景地図や被災箇所レイヤの表示設定も必須となる。

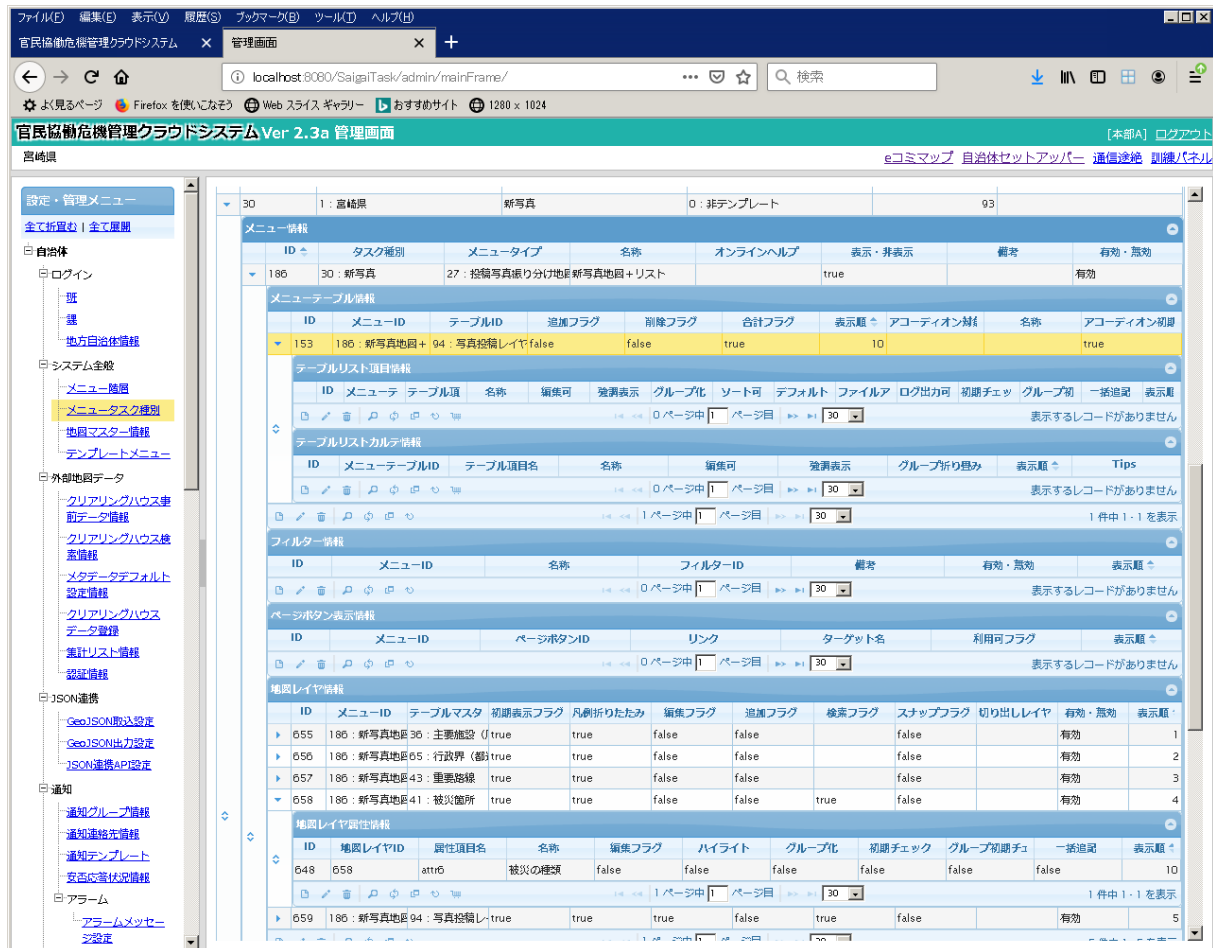


図 6-101 投稿写真画面のメニューテーブル情報の設定例

※テーブルリスト項目情報は未使用。

※地図レイヤ情報に被災レイヤを設定する場合、地図レイヤ属性情報の編集フラグの指定は特になし。(編集フラグ false でも true でも投稿写真画面に制約は出ない)

自治体>その他>ツールボックス情報を選択すると下図のような画面が表示される。ツールボックス情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

[illegible]

図 6-102 ツールボックス情報画面

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・ツールボックス情報ダイアログが表示される。

登録ボタン



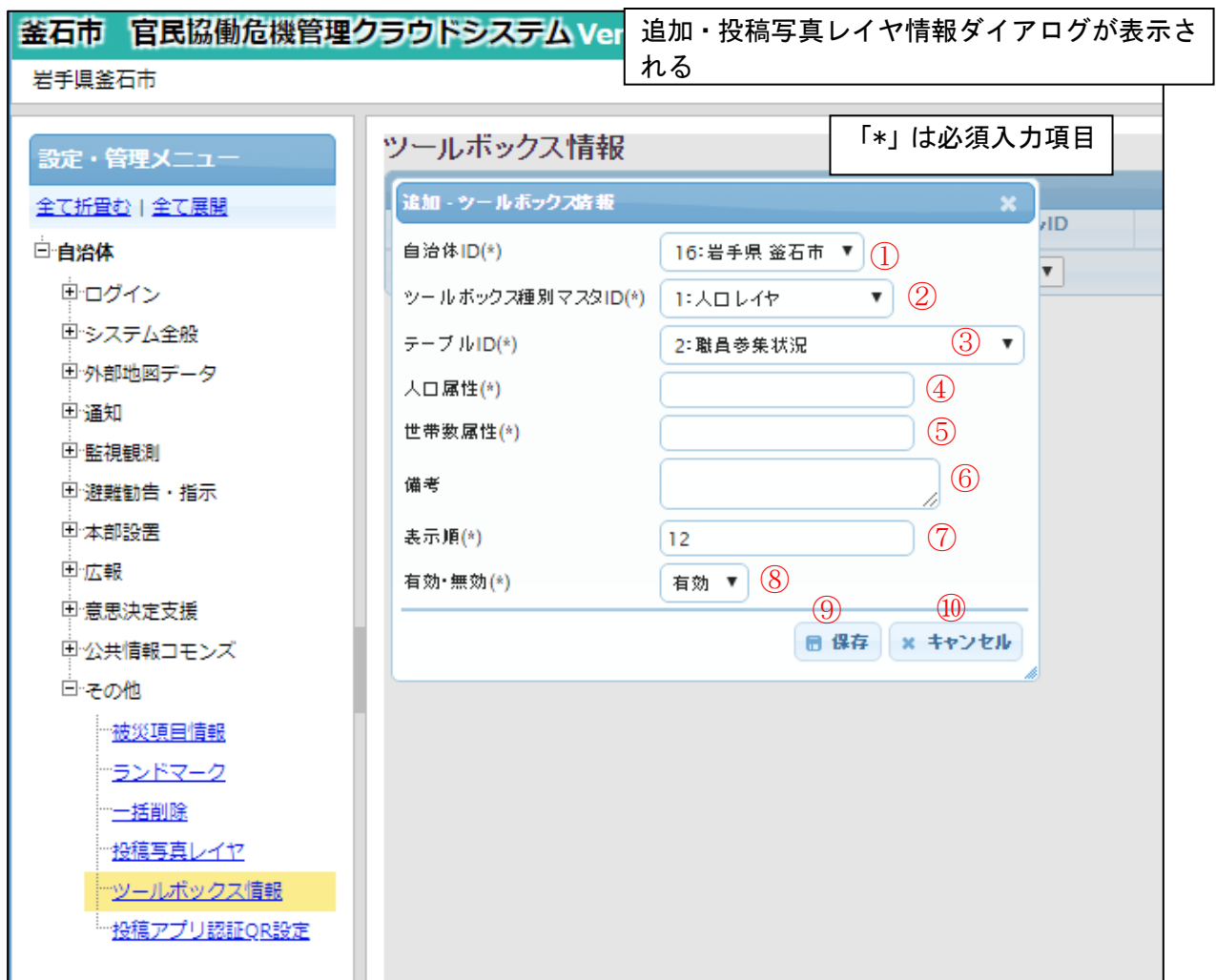


図 6-103 登録ボタン>追加・ツールボックス情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-96 追加・ツールボックス情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	ツールボックス種別マスタID	地図画面のツールボックスで人口計測する場合は「1:人口レイヤ」を選択する。	1:人口レイヤ
③	テーブルID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。 ※自治体セットアップの人口インポートツールで作成した「人口メッシュ」レイヤを	100:人口メッシュ

		選択すること。	
④	人口属性 ID	人口データのある属性 ID を指定する。	attr6
⑤	世帯数属性 ID	世帯数データのある属性 ID を指定する。	attr9
⑥	備考	備考欄。	
⑦	表示順	表示順を設定する。番号が一番若いものが利用者画面に表示される。	1
⑧	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

※複数設定することも可能です。(例：市町村単位で登録するなど)

※人口メッシュレイヤを複数設定して重なっている地点がある場合は、推定値は合計した値になります。

2) 編集する

編集を行いたいツールボックス情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・ツールボックス情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択されたツールボックス情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-95 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたいツールボックス情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・ツールボックス情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象のツールボックス情報を削除することが出来る。削除・ツールボックス情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとにツールボックス情報の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みツールボックス情報の情報をコピーし、それをもとに新たにツールボックス情報を作成することができる。コピー元となるツールボックス情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・ツールボックス情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-95 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たにツールボックス情報が作成される。

6.1.12.6 投稿アプリ認証 QR 設定

自治体>その他>投稿アプリ認証 QR 設定を選択すると下図のような画面が表示される。投稿アプリ認証 QR 設定が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

ID	自治体ID	投稿アプリ	QRコード名称	認証種ID	認証課ID	投稿先テブ	認証終了日	備考	表示順	有効・無効
5	3:テスト県	1:本部A	本部A専用	27:本部A		245:写真投稿	2018-07-30		4	有効

図 6-104 投稿アプリ認証 QR 設定画面

(1) 投稿アプリ認証 QR 設定の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。

ID	自治体ID	投稿アプリ	QRコード名称	認証種ID	認証課ID	投稿先テブ	認証終了日	備考	表示順	有効・無効
5	3:テスト県	1:本部A	本部A専用	27:本部A		245:写真投稿	2018-07-30		4	有効



V2.2試験用 Ver 2.2.0 管理画面

テスト県

追加・投稿写真レイヤ情報ダイアログが表示される

「*」は必須入力項目

投稿アプリ認証QR設定

追加・投稿アプリ認証QR設定

自治体ID(*) ① 3:テスト県 ▼

投稿アプリ(*) ② 1:本部A ▼

QRコード名称(*) ③

認証班ID ④

認証課ID ⑤

投稿先テーブルID(*) ⑥ 2:職員参集状況 ▼

認証終了日(*) ⑦

備考 ⑧

表示順(*) ⑨ 5

有効・無効(*) ⑩ 有効 ▼

保存 キャンセル

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

- ログイン
- システム全般
- 外部地図データ
- 通知
- 監視観測
- 避難勧告・指示
- 本部設置
- 広報
- 意思決定支援
- 公共情報commons
- その他

被災項目情報

ランドマーク

一括削除

投稿写真レイヤ

ツールボックス情報

投稿アプリ認証QR設定

図 6-105 登録ボタン>追加・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-97 追加・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	自治体ID	SIP4D利活用システムに登録されている自治体をドロップダウンリストから選択する。	14：〇〇県〇〇市
②	投稿アプリ	e コミマップの OAuth アプリケーションの選択リストが表示される。投稿アプリを選択すること。	1:投稿アプリ
③	QRコード名称	利用者画面の「アプリ認証QR」ダイアログでQRコードと一緒に表示される名称である。	本部A専用
④	認証班ID	QRコード認証時の班IDを指定する。	1:本部A

		特定の班を設定した場合、投稿アプリの認証班が自動設定され、利用者側で変更が出来ないよう固定値となる。 全班共通を設定した場合、投稿アプリの認証班は空欄となり、利用者側の操作で班一覧から任意の班を選択する。 ※認証班 ID を指定した場合は、認証課 ID は指定しないこと。	
⑤	認証課 ID	QR コード認証時の課 ID を指定する。 特定の課を設定した場合、投稿アプリの認証課が自動設定され、利用者側で変更が出来ないよう固定値となる。 全班共通を設定した場合、投稿アプリの認証課は空欄となり、利用者側の操作で課一覧から任意の課を選択する。 ※認証課 ID を指定した場合は、認証班 ID は指定しないこと。	
⑥	投稿先テーブル ID	項目(レイヤ)を選択する。「自治体>地図マスター情報>テーブルマスター情報」に登録されているテーブル名をドロップダウンリストから選択する。 ※投稿写真レイヤで設定したレイヤを選択すること。	245:写真投稿
⑦	認証終了日	認証可能な期間を設定する。 認証終了日を過ぎた場合はその QR コードでは認証ができなくなる。	2018-07-30
⑧	備考	備考欄。	
⑨	表示順	表示順を設定する。番号が一番若いものが利用者画面に表示される。	1
⑩	有効・無効	有効・無効の切り替えをする。	有効

2) 編集する

編集を行いたい投稿アプリ認証 QR 設定を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された投稿アプリ認証 QR 設定のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-95 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい投稿アプリ認証 QR 設定を選択後、削除ボタンを押下すると削除・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の投稿アプリ認証 QR 設定を削除することが出来る。削除・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに投稿アプリ認証 QR 設定の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済み投稿アプリ認証 QR 設定の情報をコピーし、それをもとに新たに投稿アプリ認証 QR 設定を作成することができる。コピー元となる投稿アプリ認証 QR 設定を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・投稿アプリ認証 QR 設定ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-95 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに投稿アプリ認証 QR 設定が作成される。

6.2. 設定・管理メニュー(システム)

本システムの基幹機能の設定を行う。

システム管理者権限を持つユーザのみ閲覧、編集ができる。

6.2.1. ログイン

6.2.1.1 地方自治体種別

自治体の種別を登録する。

初期値：県、市区町村、その他

6.2.1.2 地方自治体情報

自治体を登録する。本システムは、自治体ごとにサイトが生成され、独自のドメインが割り当てられる。

1) 新規で登録する

登録ボタンを押すと、登録・編集ダイアログが表示される。

表 6-98 地方自治体情報

番号	名称	概要	設定例
①	自治体毎のドメイン	サイトにアクセスするURLのトップドメインを設定する。 ※DNSの登録が別途必要になる。	xxx. xxx. xxx
②	システム名	本システムのシステム名を設定する。 初期値：SIP4D 利活用システム	危機管理
③	地方自治体種別	6.2.1.1 地方自治体種別で登録した種別を選択する。	県
④	県名	県名を設定する。	愛知県
⑤	県コード	県コードを設定する。	23
⑥	市区町村	市区町村名を設定する。	
⑦	市区町村コード	地区町村コードを設定する。	
⑧	予備	未使用	
⑨	自動発報フラグ	True のときシステムの自動発報処理が許可される。	true
⑩	アラームの取得間隔	アラームメッセージの取得するためのポーリング間隔を設定する（単位：秒）。 ここで設定される間隔ごとに、ブラウザからサーバへ定期的に通信が発生する。	120
⑪	SMTP サーバ	SMT Pサーバアドレスを設定する。	xxx. xxxxxx. x

		ここで設定されるサーバでメール送信処理を行う。	xx
⑫	送信用メールアドレス	システムから送信されるメールの From アドレスの設定をする。	xxx@xxx
⑬	備考	備考欄	
⑭	有効・無効	自治体の有効・無効を切り替える。 ※無効にするとログイン不可になる。	有効

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.2. システム全般

6.2.2.1 メニュータイプマスタ

メニュータイプを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.2.2 テーブル項目マスタ

システムテーブル項目の、NULL可チェックを行うために定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.2.3 ページボタンマスタ

ボタンを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.3. 通知

6.2.3.1 通知種別マスタ

システム>通知>通知種別マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。通知種別マスタが登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

通知種別マスタは、通知方法を種類毎に分類するためのマスタ情報を定義するものである。

ID	名称	表示順
1	メール	1
2	アラーム	2
3	テロップ	3
4	公共情報コモンズ（緊急通報メール）発信	4
5	公共情報コモンズ（メディア）発信	5
6	facebook	6
7	twitter	7
8	eコミグループウェア	8

図 6-106 通知種別マスタ画面

(1) 通知種別マスタの編集

通知種別マスタでは、メール、アラーム、テロップなどの通知種別を設定し、各通知関連設定において利用可能とする。

以下ではこの通知種別マスタの新規作成、編集、削除、検索、コピーについて説明する。

1) 通知種別マスタを新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・通知種別マスタダイアログが表示される。



図 6-107 登録＞追加・通知種別マスタダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-99 追加・通知種別マスタダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	通知種別の名称を設定する。	メール
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、管理者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1
③	保存	設定された情報を保存する。保存されたデータは通知種別マスター一覧に表示される。	
④	キャンセル	追加・通知種別マスタダイアログを閉じる。	

必須情報および任意情報を設定し、保存ボタンを選択することで、設定した内容が保存され、通知種別マスター一覧にデータが新規登録される。

2) 通知種別マスタを編集する

編集を行いたい通知種別マスタを選択後、編集ボタンを押下することで編集・通知種別マスタダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には選択された通知種別マスタのデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-99 を参照。

設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 通知種別マスタを削除する

データの削除を行いたい通知種別マスタを選択後、削除ボタンを押下すると削除・通知種別マスタダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下後、対象の通知種別マスタを削除することができる。削除・通知種別マスタダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 通知種別マスタを検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに通知種別マスタの絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) 通知種別マスタをコピーする

登録済み通知種別マスタをコピーし、それをもとに新たに通知種別マスタを作成することができる。コピー元となる通知種別マスタを選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・通知種別マスタダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-99 を参照。

送信ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに通知種別マスタが作成される。

6.2.3.2 通知テンプレート種別マスタ

通知テンプレートの種別を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.3.3 アラーム

(1) アラームタイプマスタ

アラームタイプを定義する。

システムセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.3.4 テロップ種別マスタ

テロップ種別を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.4. 監視観測

6.2.4.1 気象情報

(1) 気象・地震・火山情報/市区町村等コードマスタ

気象・地震・火山情報/市区町村等コードマスタを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(2) 気象情報等取得種別マスタ

気象情報の種類を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(3) 地震速報エリア情報

地震速報のエリアコードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(4) 火山名マスタ

火山コードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(5) 河川マスタ

河川コードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(6) 河川区域マスタ

河川地区コードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

(7) 雨量エリアマスタ

雨量エリアコードを定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしないこと。

6.2.4.2 河川情報

(1) 監視観測マスタ

システム>監視観測>河川情報>監視観測マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

ID	監視観測名	表示順
1	雨量	1
2	水位	2
3	ダム流量	3

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・監視観測マスタダイアログが表示される。

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-100 追加・監視観測マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	監視観測名	監視観測の名称を設定する。	雨量
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し(黄色にハイライト表示される)、削除ボタンから、削除を行う。

(2) データ判定式マスタ

システム>監視観測>河川情報>データ判定式マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

システム全般 外部地図データ 通知 監視観測 避難勧告・指示 本部設置 広報 意思決定支援 公共情報コモンズ その他	データ判定式マスタ			
	データ判定式マスタ			
	ID	式	名称	表示順
	1	$r1 \leq v1$	以上	1
	2	$r1 \geq v1$	以下	2
	3	$r1 < v1$	より上	3
	4	$r1 > v1$	より下	4
	5	$r1 == v1$	等しい	5
	1ページ中 1 ページ目 30 5件中 1 - 5 を表示			

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・データ判定式マスタダイアログが表示される。

追加 - データ判定式マスタ

式

名称

表示順 6

保存

キャンセル

表 6-101 追加・データ判定式マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	式	データの判定式を設定する。 閾値が v1、値が r1 で式を表す。	$r1 \leq v1$
②	名称	データ判定式の名称を設定する。	以上
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.4.3 JAlert

(1) JAlert 種別マスタ

システム>監視観測>JAlert>JAlert 種別マスタを選択すると、下図のような画面が表示される。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

外部地図データ

通知

監視観測

避難勧告・指示

本部設置

広報

JAlert種別マスタ

ID	名称	表示順
10	緊急地震速報	1
3	津波情報	2
9	火山情報	3
2	地震情報	4
1	気象情報	5
11	国民保護情報	6
12	緊急連絡	7

1ページ中 1ページ目 30 7件中 1 - 7 を表示

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・JAlert 種別マスタダイアログが表示される。

追加 - JAlert種別マスタ

名称(*)

表示順(*) 8

保存

キャンセル

表 6-102 追加・JAlert 種別マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	JAlert 種別の名称を設定する。	緊急地震速報
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.5. 本部設置

6.2.5.1 安否確認状況マスタ

安否確認の選択肢を定義する。
システムのセットアップ時に初期設定される。

6.2.5.2 体制マスタ

体制の種類を定義する。

システムのセットアップ時に初期設定される。登録、変更、削除をしてはいけない。

6.2.6. 広報

6.2.6.1 Twitter マスタ

Twitter へ投稿するためのアプリケーション登録を設定する。

下記URLを参照

<https://dev.twitter.com/>

6.2.6.2 Facebook マスタ

Facebook へ投稿するためのアプリケーション登録を設定する。

下記URLを参照

<https://developers.facebook.com/>

6.2.7. 意思決定支援

6.2.7.1 意思決定支援レイヤタイプマスタ

システム>意思決定支援>意思決定支援レイヤタイプマスタを選択すると下図のような画面が表示される。

設定・管理メニュー		意思決定支援レイヤ種別マスタ		
全て折返す 全て再読		意思決定支援レイヤ種別マスタ		
自治体		ID	名称	表示順
ログイン		1	建物被害推定レイヤ	1
システム全般		2	人口レイヤ	2
外部地図データ		3	停電エリアレイヤ	3
通知		4	断水エリアレイヤ	4
監視観測		5	250mメッシュレイヤ	5
避難勧告・指示		6	建物被害による避難者数推定レイヤ	6
本部設置		7	停電、断水による避難者数推定レイヤ	7
広報		8	帰宅困難者推定レイヤ	8
意思決定支援		9	総避難者数推定レイヤ	9
公共情報 commons		10	避難所レイヤ	10
その他				

1) 新規で登録する

登録ボタンを押下することで、追加・意思決定支援レイヤ種別マスタダイアログが表示される。

追加 - 意思決定支援レイヤ種別マスタ

名称(*)

①

表示順(*)

11

②

保存

キャンセル

表 6-103 追加・意思決定支援レイヤ種別マスタダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	意思決定支援レイヤ種別マスタの名称を設定する。	建物被害推定レイヤ
②	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、編集ボタンから、登録・編集ダイアログを開く。

3) 削除する

削除するデータをリストから選択し（黄色にハイライト表示される）、削除ボタンから、削除を行う。

6.2.8. 多言語対応

6.2.8.1 言語管理

システム>多言語対応>言語管理を選択すると、下図のような画面が表示される。言語情報が登録されている場合はその情報が一覧で表示される。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

外部地図データ

言語情報

言語情報

ID	言語コード	言語名称	表示順	最終更新日時
1	en	English	1	27年09月28日 11時11分
2	ja	日本語	2	27年09月28日 11時11分

< 1ページ中 1 ページ目 30

2件中 1 - 2 を表示

図 6-108 言語管理画面

(1) 言語情報の編集

1) 新規で作成する

登録ボタンを押下することで、追加・言語情報ダイアログが表示される。

設定・管理メニュー

全て折畳む | 全て展開

自治体

ログイン

システム全般

外部地図データ

言語情報

言語情報

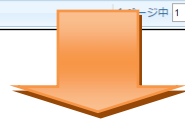
登録ボタン

ID	言語コード	言語名称	表示順	最終更新日時
1	en	English	1	27年09月28日 11時11分
2	ja	日本語	2	27年09月28日 11時11分

1ページ目

30

2件中 1 - 2 を表示



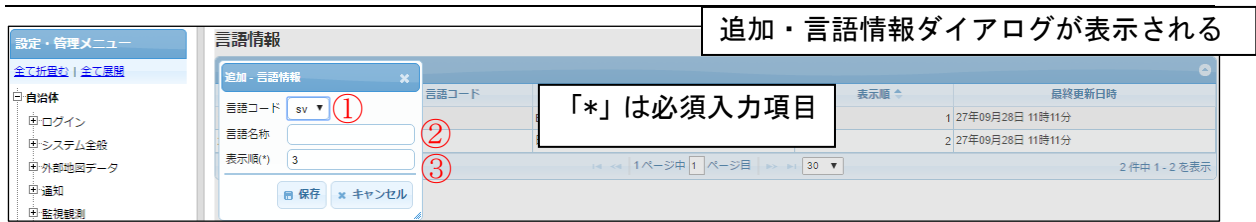


図 6-109 登録ボタン>追加・言語情報ダイアログ

また、ダイアログの各項目の入力、表示内容は次のようになっている。

表 6-104 追加・言語情報ダイアログの入力項目の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	言語コード	言語コードを設定する。	ja
②	言語名称	言語名称を設定する。	日本語
③	表示順	表示順を設定する。番号が若いほど、利用者画面に表示されるとき、上位に表示される。	1

2) 編集する

編集を行いたい言語情報を選択後、編集ボタンを押下することで、編集・言語情報ダイアログが表示される。開かれたダイアログの各項目には、選択された言語情報のデータが設定されている。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。設定変更後、保存ボタンを押下することで、設定した内容が保存される。

3) 削除する

データの削除を行いたい言語情報を選択後、削除ボタンを押下すると削除・言語情報ダイアログが表示される。表示されたダイアログの削除ボタンを押下時、対象の言語情報を削除することができる。削除・言語情報ダイアログの詳細は 4.2.1 を参照。

4) 検索する

検索ボタンを押下すると検索ダイアログが表示される。検索条件をもとに言語の絞り込みを行うことができる。検索ダイアログの詳細は 4.2.2 を参照。

5) コピーする

登録済みの言語情報をコピーし、それをもとに新たに言語を作成することができる。

コピー元となる言語情報を選択後、コピーボタンを押下するとレコードコピー・言語情報ダイアログが表示される。ダイアログの各項目の入力、表示内容は表 6-104 を参照。

保存ボタンを押下すると、入力されている情報をもとに新たに言語が作成される。

6.2.8.2 言語インポート

設定・管理メニュー 全て折畳む 全て展開 自治体 ログイン システム全般 外部地図データ 通知 監視観測 避難勧告・指示 本部設置 広報 意思決定支援 公共情報 commons その他 システム ログイン	言語リソースインポート CSVファイル形式の言語データをインポートします。 対応するファイルの文字コードはUTF-8、区切り文字はタブ文字です。 インポート方式の選択 インポート方式を選択して下さい ☒ 言語セットを新規作成 ☐ 既存の言語セットの入れ替え ☐ 既存の言語セットの更新 言語の選択 インポート対象の言語を指定して下さい 言語コード: sv 言語名: test ファイルの指定 インポートするファイルを指定して下さい ファイルを選択 選択されていません インポート
--	---

図 6-110 言語インポート画面

6.2.8.3 言語エクスポート

設定・管理メニュー 全て折畳む 全て展開 自治体 ログイン システム全般 外部地図データ 通知 監視観測	言語リソースエクスポート インストール済みの言語データを、文字コードUTF-8で区切り文字がタブのCSVファイル形式でエクスポートします。 エクスポートする言語の選択 エクスポートする言語を選択して下さい en:English ▼ エクスポート
--	--

図 6-111 言語エクスポート画面

7. その他の設定

7.1. エクセル帳票

7.1.1. エクセル帳票機能とは

マイクロソフト社製のエクセルを使用して書式（エクセルシート）を作成し、そのファイルのアップロードによって、本システムの画面レイアウトおよび、出力する書類の書式を定義することができる。

アップロードするエクセルファイルはテンプレート化する必要があり、データ埋め込み用のタグを設定しておくことで、地図データの任意のレイヤ、任意の地物および任意の属性を帳票のレイアウトに合わせて表示することができる。

なお、書式（エクセルシート）に定義してある行数を超える場合、自動的に同じ書式の繰り返しとして、複数ページのシートを作成する。

7.1.2. エクセル帳票の管理画面の設定方法

ここではエクセル帳票メニューを利用するための管理画面で必要な設定について説明する。

- 1) **エクセル帳票の入力用、出力用のレイヤを e コミマップで作成する**
(8.4 項目 (レイヤ) の作成 を参照すること)
 - 4 号様式の出力用レイヤの作成例
 - ◇ レイヤ名「消防 4 号様式一覧」
 - ◇ 形状「点」
 - ※エクセル帳票では位置情報を登録しないため、形状はなんでもよい。
 - ◇ エクセル帳票の出力に必要な属性を追加
 - 「登録日時」をデータ型「日付と時間」で追加
 - 「ダウンロードリンク」をデータ型「URL」で追加
 - ◇ そのほか「備考」など、ユーザに必要な属性があれば追加する
- 2) **コミマップで作成したレイヤをテーブルマスター情報に登録する**
(6.1.2.3 (2) 1) テーブルマスター情報を新規で作成する を参照すること)
※自治体セットアップの時系列化も行うこと。
- 3) **メニュー情報でエクセル帳票メニューを設定する。**
(6.1.2.2 (2) 1) メニュー情報を新規に登録する を参照すること)
 - メニュータイプ「26:エクセル帳票」
 - エクセル帳票テンプレートファイルをアップロード
 - エクセル帳票の出力先として下記を設定する
 - 「エクセル帳票出力テーブル ID」
 - 「エクセル帳票出力テーブル 登録日時の属性 ID」
 - 「エクセル帳票出力テーブル ダウンロードリンクの属性 ID」

※メニュー作成時にテンプレートファイルが必要となる。テンプレートファイルが未作成の場合は「エクセル帳票テンプレートファイルの作成方法」を参照し、テンプレートファイルを作成すること。
- 4) **タスクメニュー情報に作成したメニューを追加する(6.1.2.1 (4) 1) タスクメニュー情報を新規に登録する を参照すること)**

7.1.3. エクセル帳票テンプレートファイルの作成方法

エクセル帳票メニューにはテンプレート化したエクセルファイルをアップロードする。
テンプレート化する上で利用可能なタグについて説明する。

- 本機能タグの書式について
<% ~ %>の書式で記述する。

- 本システム固有値参照関数

本システムがもつ情報を参照する関数として下記をサポートしている。

下記のタグを埋め込むことで、都道府県名や災害名が自動で入力される。

<%pref_name0%> 都道府県名称の参照

<%city_name0%> 市町村名称の参照

<%disaster_name0%> 災害名の参照

<%disaster_start(“yyyy 年 MM 月 dd 日 hh 時 mm 分”)%> 災害開始日時

- セル編集可能タグ

<%is_editable="true"%>

セルにこのタグを埋め込むと、エクセル帳票メニューで入力が可能になる。

様式出力する際に入力したいセルはこのタグを利用すること。

例) 消防4号様式 その1

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1																
2				第4号様式(その1)												
3				[災害概況即報]							報 告 日 時		<%disaster_start("yyyy 年 MM 月 dd 日 :hh 時 mm 分 ")%>			
4				消防庁受信者氏名							都 道 府 県		<%pref_name0%>			
5											市 町 村 (消 防 本 部 名)		<%city_name0%>			
6				災害名 <%disaster_name0%> (第 報)							報 告 者 名		<%is_editable:"true"%>			
7																
8				発 生 場 所 <%is_editable:"true"%>					発 生 日 時			<%disaster_start("MMdd:hhmm")%>				
9				<%is_editable:"true"%>												
10																
11				災害の概況												
12																
13																
14																
15																
16																

- レイヤの属性値の参照タグ

ここではレイヤの属性値を参照するタグについて説明する。

※layerid は入力用のレイヤのレイヤ ID を指定すること。

※attr には入力する項目の項目名を指定すること。

- 一覧表でレイヤの属性値を参照する場合

指定レイヤの N 番目の地物の属性値 attr を参照する

<%val("layerid", attr).id(N)%>

例えば、管理番号と名称の 2 つの列をもつ一覧表を表示する場合、

id 関数を 1 から順に指定することでレイヤの地物を順番に出力することができる。

管理番号	名称
<%val("c12", attr0).id(1)%>	<%val("c12", attr1).id(1)%>
<%val("c12", attr0).id(2)%>	<%val("c12", attr1).id(2)%>
<%val("c12", attr0).id(3)%>	<%val("c12", attr1).id(3)%>

※この例では 1 ページ当たり 3 件となり、実際のデータが 3 件以上ある場合は、自動で 1 ページ目をコピーして必要な分だけページが作成されます。

- フィルターされた一覧表を出力する場合

filter 関数にフィルタ ID を指定することで、フィルタを適用することができる。

例えば、管理番号と名称の 2 つの列をもつ一覧表で、

フィルタ ID=5 のフィルタを適用した一覧表を表示する場合、

id 関数の前に filter(5) と指定しておくことで出力することができる。

管理番号	名称
<%val("c12", attr0).filter(5).id(1)%>	<%val("c12", attr1).filter(5).id(1)%>
<%val("c12", attr0).filter(5).id(2)%>	<%val("c12", attr1).filter(5).id(2)%>
<%val("c12", attr0).filter(5).id(3)%>	<%val("c12", attr1).filter(5).id(3)%>

- 集計表でレイヤの属性値を参照する場合

集計タグとして下記のタグをサポートしている。

<%val("layerid", attr).sum(0)%>

<%val("layerid", attr).sumif("条件式")%>

条件式を適用した val("layerid", attr) の合計値を当該セルに出力する。

・条件式例 収容人数 attr5 が 100 人以上 300 以下

attr5 >= 100 and attr5 <= 300

・条件式例 名称 attr3 に「市立」が含まれる

```

attr3 = "**市立*"
<%val("layerid", attr).max0%>
<%val("layerid", attr).min0%>
<%val("layerid", attr).count0%>
<%val("layerid", attr).countif("条件式")%>
<%val("layerid", attr).average0%>

```

◇ 条件式については、下記の演算子が利用できる。

● 文字列の比較演算子

演算子	使用例	意味
=	attr3 = "南中学校"	attr3 が 南中学校 である
!=	attr3 != "南中学校"	attr3 が 南中学校 でない
<>	attr3 <> "南中学校"	attr3 が 南中学校 でない
includes	attr3 includes "学校"	attr3 に 学校 が含まれる
not includes	attr3 not includes "学校"	attr3 に 学校 が含まれない

● 数値の比較演算子

演算子	使用例	意味
=	attr5 = 100	attr5 が 100 である
!=	attr5 != 100	attr5 が 100 でない
<>	attr5 <> 100	attr5 が 100 でない
<	attr5 < 100	attr5 が 100 より小さい
<=	attr5 <= 100	attr5 が 100 以下である
>	attr5 > 100	attr5 が 100 より大きい
>=	attr5 >= 100	attr5 が 100 以上である

● 論理演算子 and or not

● 括弧 ()

◇ 数値書式の指定について

count と countif 以外の集計関数では、関数の引数に数値書式を指定できる。なにも指定しない場合は集計結果がそのまま出力される。

sum と sumif 関数の数値書式の指定例

```

<%val("layerid", attr).sum("数値書式")%>
<%val("layerid", attr).sumif("条件式","数値書式")%>

```

● カンマ区切り表記にしたい場合

- 結果 1000 を 1,000 で表示する
`<%val("layerid",attr).average("#,###.#")%>`
- 桁数を指定したい場合
 - 結果 0.5 を少数第 2 位まで表示 0.50 にする
`<%val("layerid",attr).average("0.00")%>`

※詳しくは Java の数値フォーマットのクラスである [DecimalFormat](https://docs.oracle.com/javase/jp/8/docs/api/java/text/DecimalFormat.html) の JavaDoc のフォーマットを確認すること。

<https://docs.oracle.com/javase/jp/8/docs/api/java/text/DecimalFormat.html>

8. e コミマップのセットアップ

e コミマップをインストール後に本システムにおいて使用する際に各種情報を準備する必要がある。下記に基本的な設定内容を示す。

8.1. 用語の説明

e コミマップを活用するために確認しておくべき用語について説明する。

(1) 地物

マップ上の1つ1つの図形や点のこと。点、線、面の3種類がある。

(2) 項目（レイヤ）

複数の地物で構成されたまとまりで、分類や種類によってまとめられている。1つの項目には、点・線・面を混在させることはできない。

(3) 属性

地物に付加される情報のこと。項目ごとに属性を設定することができる。

(4) 背景地図

登録情報の下敷きとなる項目のこと。主題図と基本地図がある。

(5) 主題図

特定の利用目的を表現した地図のこと。（例：ハザードマップ）

(6) 基本地図

ベースとなる地図のこと。（例：航空写真、地形図、都市地図）

8.2. 画面構成

8.2.1. 地図一覧画面（e コミマップの地図一覧画面）

- 「http://サーバ名/map/」にアクセスすることでログイン画面が表示される。ユーザ ID 及びパスワードを入力し、ログインボタンを押下する

図 8-1 e コミマップログイン画面

表 8-1 e コミマップログイン画面の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	ユーザ ID 入力 エリア	e コミマップに登録されている ID を入力する	user
②	パスワード入 力エリア	班名に紐づくパスワードを入力する。	password
③	ログイン	ログイン ID とパスワードが一致している場合、地図一覧画面に遷移する。	

- 地図一覧画面が表示される。

図 8-2 地図一覧画面

8.2.2. 管理画面（e コミマップの管理画面）

- 地図一覧画面のメニューから「e コミマップ管理画面へ」を選択する。



図 8-3 地図一覧画面：「e コミマップ管理画面へ」

- 新しいウィンドウで管理画面が表示される。



図 8-4 管理画面

8.2.3. 地図画面（e コミマップの地図画面）

- 地図一覧画面のタブ「地図一覧」から、表示したい地図の名称を選択する、もしくは管理画面のタブ「地図」から、表示したい地図の名称のリンクを選択する。

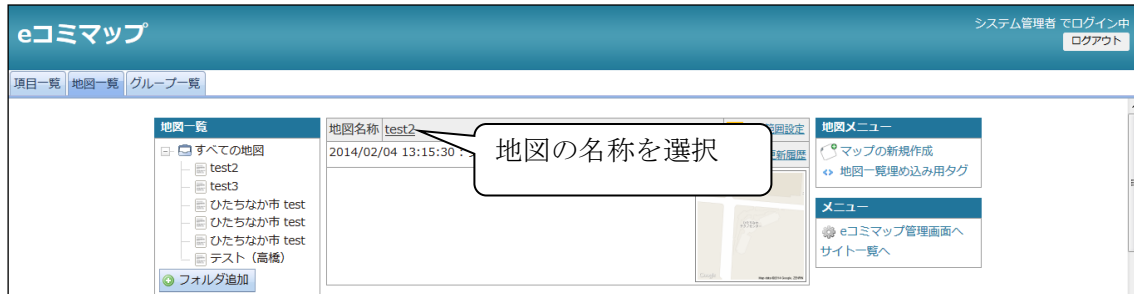


図 8-5 地図一覧画面：地図画面へ



図 8-6 管理画面：地図画面へ

- 新しいウィンドウで地図画面が表示される。

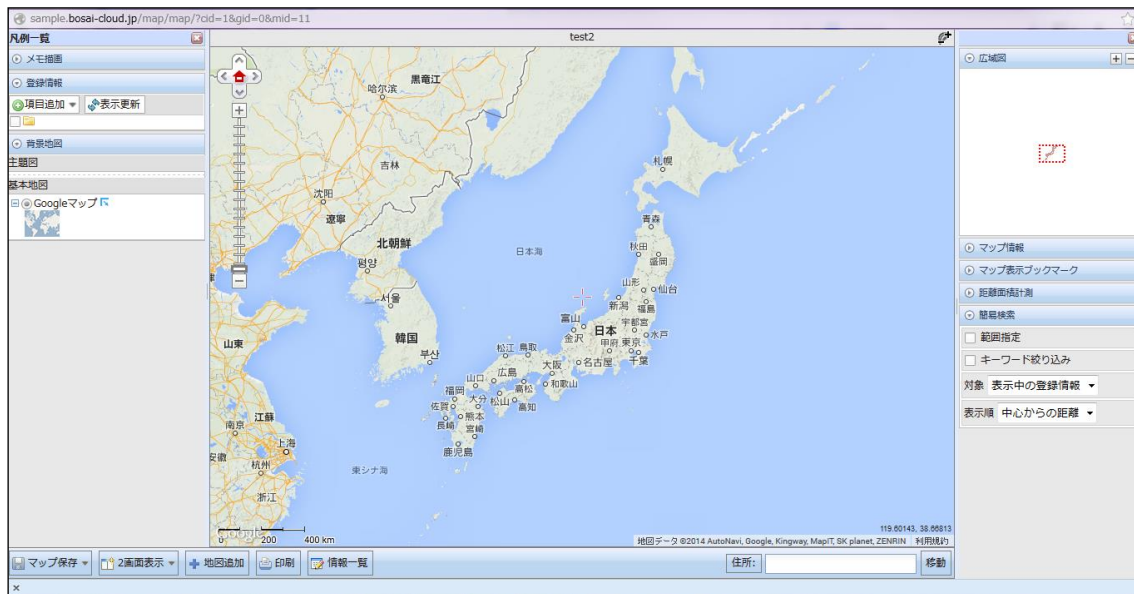


図 8-7 地図画面

8.3. マスタマップの作成

最初に本システム上で基本となるマスタマップと呼ばれる地図を作成する。

8.3.1. マップの作成

8.3.1.1 地図一覧画面から地図を作成

- タブ「地図一覧」の地図メニューからマップの新規作成を選択する。「マップの新規作成」ダイアログが表示される。

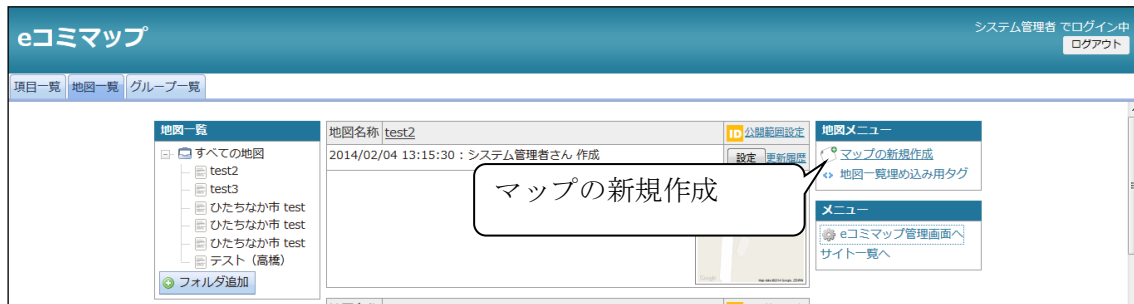


図 8-8 地図一覧画面：「マップの新規作成」

- マップタイトルと基本地図を入力し、「マップの新規作成」ボタンを押下する。

マップの新規作成

マップの新規作成

マップタイトル

マップの説明
マップの説明を入力してください。

追加する基本地図を選んでください

追加	凡例	項目名	作成日時
☐		標準地図（地理院タイル） （地理院タイル利用規約に従ってご利用ください。）	2014/01/30 11:50:09
☐		電子国土基本図（地理院タイル 航空写真） （地理院タイル利用規約に従ってご利用ください。）	2014/01/30 11:50:09
☐		OpenStreetMap	2014/01/30 11:50:09
☐		Googleマップ	2014/01/30 11:50:09
☐		Google航空写真	2014/01/30 11:50:09
☐		Google航空写真+ラベル	2014/01/30 11:50:09
☐		Google地形	2014/01/30 11:50:09
☐		基盤地図情報25000	2014/01/30 11:50:09

マップの新規作成

キャンセル

図 8-9 地図一覧画面：「マップの新規作成」ダイアログ

表 8-2 地図一覧画面：「マップの新規作成」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	マップタイトル	マップのタイトルを入力する。	〇〇市マスタマップ
②	マップ説明	マップの説明を入力する。	(なし)
③	基本地図選択	追加したい基本地図のチェックボックスにチェックを入れる。	
④	マップの新規作成	設定された内容でマップを新規作成する。	
⑤	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

- (1) マップが新規作成される。

8.3.1.2 管理画面から地図を作成

- タブ「地図」内の「地図を新規作成」を表示させる。

図 8-10 管理画面：「地図を新規作成」の表示

- 「マップタイトル」「マップの説明」などを入力し「地図を新規作成」を押下する。

図 8-11 管理画面：「地図を新規作成」

表 8-3 管理画面：「地図を新規作成」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	マップタイトル	マップのタイトルを入力する。	〇〇市マスターマップ
②	マップ説明	マップの説明を入力する。	(なし)
③	表示範囲	マップの初期表示範囲の座標を入力する。	北：47.60792 西：123.62192 南：23.438 東：149.46176
④	マップの解像度	表示範囲よりも解像度での表示設定を優先したい場合に設定する。	150
⑤	2画面表示	2画面表示で選択可能にするマップを選択する。	航空写真
⑥	初期2画面表示	最初からマップを②画面で表示する場合にドロップダウンリストから設定する。	なし
⑦	地図を新規作成	設定された内容でマップを新規作成する。	

- マップが新規作成される。

8.3.2. マップに主題図と基本地図を追加

8.3.2.1 管理画面から主題図と基本地図を追加

- 主題図を追加する
 - タブ「地図」内の地図一覧から、表示したい項目の「項目一覧」を選択する。



図 8-12 管理画面：「項目一覧」の選択

- 「主題図項目」を選択する。



図 8-13 管理画面：「主題図項目」の選択

- 「主題図項目を追加」の主題図の情報を入力する。

主題図項目を追加

項目名称 (日本語表示名)		①	
凡例や検索時に表示される項目名称です。			
初期表示状態	☒ 表示する	②	
マップ起動時の項目表示状態。			
透明度	1.0	③	
項目の表示不透明度(透明=0.0~不透明=1.0)			
標準縮尺	0	④	
この項目を表示するのに標準的な縮尺(拡大にこの縮尺で表示されます)(0=指定無し)			
表示可能縮尺	0	⑤	
項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)			
LAYERS		⑥	
相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)			
WMS URL		⑦	
GetMapリクエストURLを直接指定します。 (例: http://sample.bosai-cloud.jp/wms?SERVICE=WMS&)			
WMS画像フォーマット	image/png24 WMSで取得する画像のフォーマットを選択	⑧	
データ帰属先		⑨	
マップ上に表示される項目の著作者情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述			
主題図項目を追加			⑩

図 8-14 管理画面：「主題図項目を追加」

- 主題図が追加される。

表 8-4 管理画面：「主題図項目を追加」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	初期表示状態	マップ起動時の表示・非表示を設定する。	表示する
③	透明度	項目の透明度を設定する。	1.0
④	表示縮尺	項目を表示するときの標準縮尺を設定する。 拡大時にこの縮尺で表示される。	0
⑤	表示可能縮尺	項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺では項目を表示しない。	0
⑥	LAYERS	相互運用リクエスト LAYER パラメータに設定する。	(LAYER パラメータ)
⑦	WMS URL	GetMap リクエスト URL を直接指定する。	(URL)
⑧	WMS 画像フォーマット	WMS で取得する画像のフォーマットをドロップダウンリストから選択する。	image/png24
⑨	データ帰属先	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列を入力する。	〇〇市防災危機管理課
⑩	主題図項目を追加	設定された内容で主題図項目を追加する。	

- 基本地図を追加する
 - タブ「地図」内の地図一覧から、表示したい項目の「項目一覧」を選択する。



図 8-15 管理画面：「項目一覧」の選択

- 「基本地図項目」を選択する。



図 8-16 管理画面：「基本地図項目」の選択

- 「共通項目を追加」のドロップダウンリストから基本地図を追加する。



図 8-17 管理画面：「共通項目を追加」

- 基本地図が追加される。

8.3.2.2 地図画面から地図を追加

- 画面下部の「地図追加」を押下する。地図追加のダイアログが表示される。

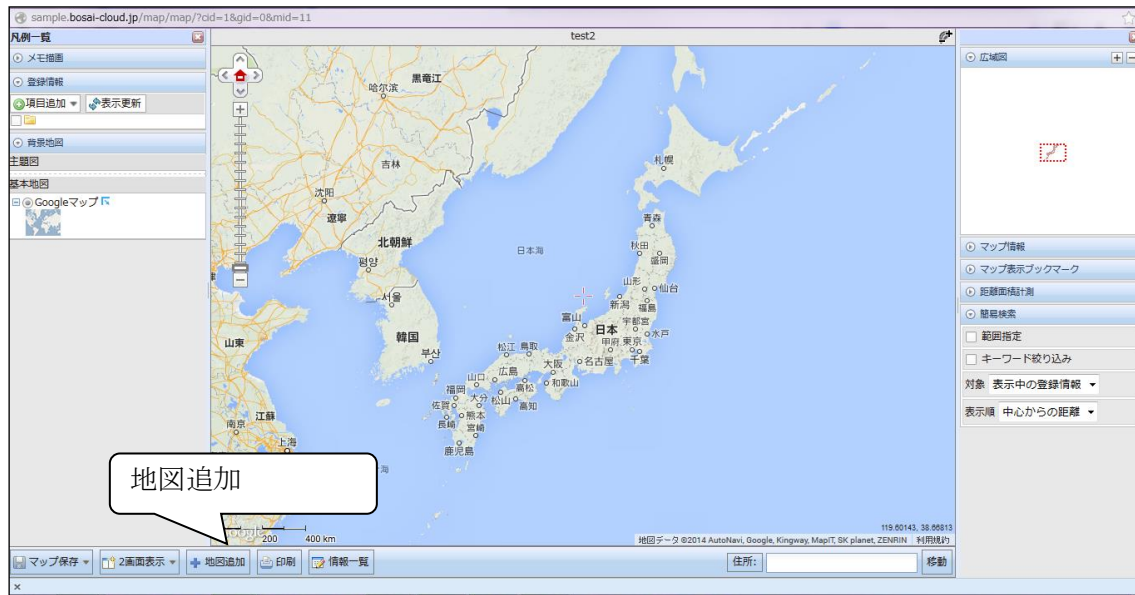


図 8-18 地図画面：「地図追加」の押下

- タブ「地図を検索」から WMSCapabilities の URL を検索する。もしくはタブ「基本地図追加」から追加したい地図を選択する。



図 8-19 地図画面：「地図追加」ダイアログ

8.4. 項目（レイヤ）の作成

マスタマップ上に項目の作成を行う。

8.4.1. 地図一覧画面から項目を作成

- 「項目メニュー」の「項目を新規作成」を選択する。「項目を新規追加」ダイアログが表示される。



図 8-20 地図一覧画面：「項目を新規作成」の選択

- 「項目名称」などを入力し、「項目を追加」を押下する。

図 8-21 地図一覧画面：「項目を新規追加」ダイアログ

表 8-5 地図一覧画面：「項目を新規追加」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	追加先グループ	追加先のグループをドロップダウンリストから選択する。	サイト全体
②	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
③	項目説明	項目の説明を入力する。	(なし)
④	位置情報	項目に位置情報がある場合に変更する。	位置情報なし
⑤	項目を追加	設定された内容で項目を追加する。	
⑥	閉じる	ダイアログを閉じる。	

- 項目が追加される。

8.4.1.1 管理画面から項目を作成

- タブ「地図」内の地図一覧から「項目一覧」を選択する。

図 1 1



図 8-22 管理画面：「項目一覧」の選択

- 「登録情報項目を追加」の名称、説明文などを入力する。点、線、面から形状を選択し、「項目を新規作成」を押下する。

登録情報項目を追加

項目名称 (日本語表示名)		①
凡例や検索時に表示される項目名称です。		
グループ	なし ▼	②
選択したグループに追加されます。		
初期表示状態	☒ 表示する	③
マップ起動時の項目表示状態。		
標準縮尺	0	④
この項目を表示するのに標準的な縮尺 (拡大にこの縮尺で表示されます) (0=指定無し)		
表示可能縮尺	0	⑤
項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)		
形状	点 ▼	⑥
項目の位置情報の形状を選択してください。		
登録情報項目を追加 ⑦		

図 8-23 管理画面：「登録情報項目を追加」

表 8-6 管理画面：「登録情報項目を追加」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	グループ	登録先グループをドロップダウンリストから選択する。	なし
③	初期表示状態	マップ起動時の項目表示状態を設定する。	表示する
④	標準縮尺	この項目を表示するのに標準的な縮尺を設定する。拡大時にこの縮尺で表示される。	0
⑤	表示可能縮尺	項目の表示可能な縮尺を設定する。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しない。	0
⑥	形状	項目の形状をドロップダウンリストから選択する。	点
⑦	登録情報項目を追加	設定された内容で項目を追加する。	

- 項目一覧に登録した項目が追加される。

8.4.2. 地図画面から項目を作成

8.4.2.1 「項目の新規作成」から作成する方法

- 登録情報の「項目追加」から、「項目を新規作成」を選択する。

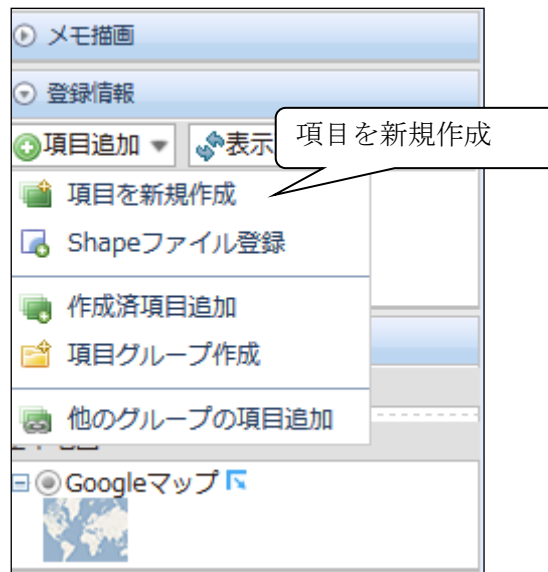


図 8-24 地図画面：「項目を新規作成」の選択

- 「名称」「データの説明」などを入力し、「項目を新規作成」を押下する。

図 8-25 地図画面：「項目を新規作成」ダイアログ

表 8-7 地図画面：「項目を新規作成」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	項目データの説明	項目の説明を入力する。	(なし)
③	形状	項目の形状をドロップダウンリストから選択する。	点
④	著作者情報	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列を入力する。	〇〇市防災危機管理課
⑤	項目を新規追加	設定した内容で項目を作成する。	
⑥	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

- 凡例一覧に項目が追加される。

8.4.2.2 Shape データから項目を作成する方法

- 登録情報の「項目追加」から、「Shape ファイル登録」を選択する。

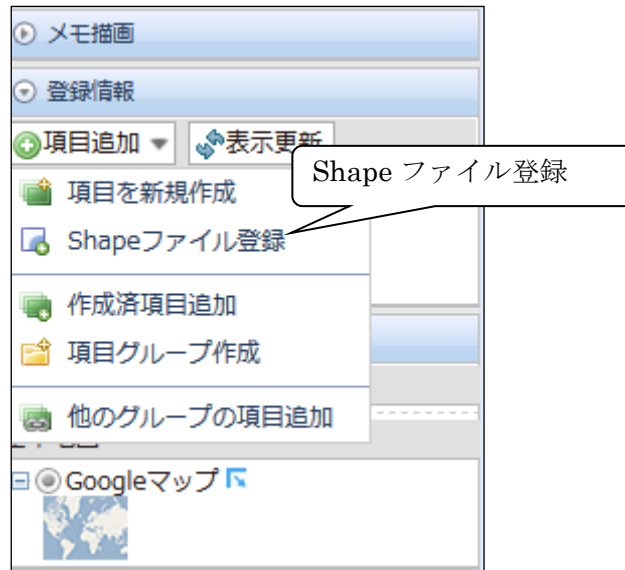


図 8-26 地図画面：「Shape ファイル登録」の選択

- 「参照」を押下、追加する Shape ファイルを選択し、「アップロード」を押下する。Shape ファイル設定画面が表示される。

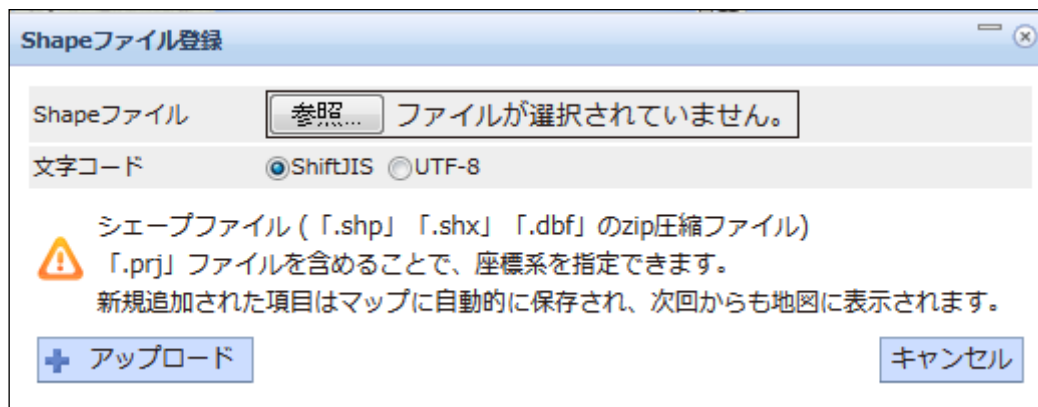


図 8-27 地図画面：「Shape ファイル登録」ダイアログ

- 「データ登録」を押下する。描画設定ウィンドウが表示される。

The screenshot shows the 'Shapeファイル設定' (Shape File Settings) dialog box. It contains several sections: '名称' (Name) with a text field 'SHAPEファイル' (1); 'データの説明' (Data Description) with a text area (2); '著作者情報' (Author Information) with a text field and a note '項目表示時にマップ右下に表示する著作者情報のクレジット文字列' (3); '座標系設定' (Coordinate System Setting) with a dropdown menu set to 'EPSG:4612' (4); '属性設定' (Attribute Setting) with a table of attributes (5); '高度な設定 [↓表示]' (Advanced Settings [Show ↓]); and two buttons at the bottom: '+ データ登録' (6) and 'キャンセル' (7).

登録	属性名	データ型	サイズ
☒	JCODE	文字列	5
☒	KEN	文字列	10
☒	SICHO	文字列	20
☒	GUN	文字列	20
☒	SEIREI	文字列	20
☒	SIKUCHOSON	文字列	20
☒	CITY_ENG	文字列	50
☒	P_NUM	数値(整数)	9
☒	H_NUM	数値(整数)	9

図 8-28 地図画面：「Shape ファイル設定」ダイアログ

表 8-8 地図画面：「Shape ファイル設定」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	項目名称	凡例や検索時に表示される項目名を入力する。	避難所
②	データの説明	項目の説明を入力する。	(なし)
③	著作者情報	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列を入力する。	〇〇市防災危機管理課
④	Shape ファイル座標系を指定	アップロードした Shape ファイルの座標系をドロップダウンリストから選択する。	緯度経度（日本測地系）
⑤	属性設定	アップロードした Shape ファイルから、登録する属性の選択と属性名の入力を行う。	JCODE CITY_ENG
⑥	データ登録	設定した内容で Shape ファイルを登録する。	
⑦	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

- 色などを設定し「共通描画設定更新」を押下する。

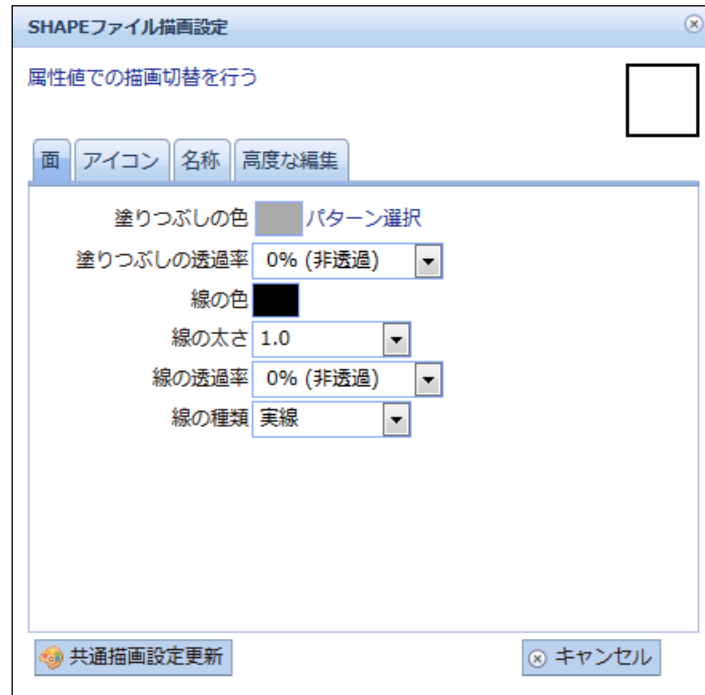


図 8-29 地図画面：「Shape ファイル描画設定」ダイアログ

- 項目が追加される。

8.5. 属性の設定

8.5.1. 管理画面から属性を設定

- タブ「地図」内の地図一覧右のリンクから「項目一覧」リンクを選択し画面上部から「登録情報項目」を選択する。項目一覧の右のリンクから「属性設定」を押下する。



図 8-30 管理画面：「属性設定」の押下

- 「属性を追加」から属性情報を入力し、「属性を追加」を押下する。

属性を追加

属性名称 (日本語表示名)	① 属性の表示名称です。内部的なIDは自動的に割り振られます。
データ型	文字列 ②
必須入力条件	☒ 空欄可 ③ 値が入力されていなくてもよい場合はチェックします。
文字数	20 ④ 画面表示時の文字数を設定します。(0以下の場合は20に設定されます)
状態	編集可 ⑤
属性を追加 ⑥	

図 8-31 管理画面：「属性を追加」

表 8-9 管理画面：「属性を追加」の各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	属性名称	属性の表示名称を入力する。	管理番号
②	データ型	属性のデータ型をドロップダウンリストから選択する。	文字列
③	必須入力条件	その属性の値を入力しなくてもよい場合はチェックする。	空欄可
④	文字数	画面表示時の文字数を入力する。	20
⑤	状態	その属性が編集・閲覧可能かどうか、ドロップダウンリストから選択する。	編集可
⑥	属性を追加	設定の内容で属性を追加する。	

- 新しい属性が追加される

8.5.2. 地図画面から属性を設定

- 項目右側の水色のマークを押下し「属性設定」を選択する。

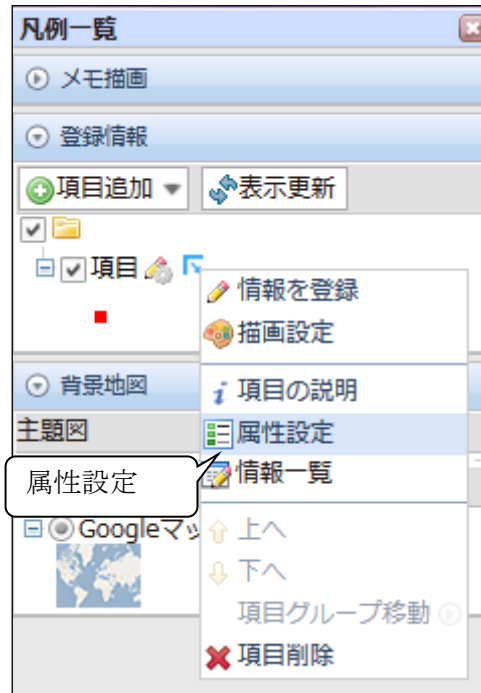


図 8-32 地図画面：「属性設定」の選択

- 「属性追加」を押下する。



図 8-33 地図画面：「項目の属性を編集」ダイアログ

- 「名称」「データの説明」などを入力し、「項目を新規作成」を押下する。

属性を追加します

名称

データ型

文字列

必須入力条件

☒ 空欄可

値が入力されていなくてもよい場合はチェックします。

文字数

20

画面表示時の文字数を設定します。(0以下の場合は20に設定されます)

属性を追加

キャンセル

図 8-34 地図画面：「属性追加」ダイアログ

表 8-10 地図画面：「属性追加」ダイアログの各名称と概要

番号	名称	概要	設定例
①	名称	属性の表示名称を入力する。	管理番号
②	データ型	属性のデータ型をドロップダウンリストから選択する。	文字列
③	必須入力条件	その属性の値を入力しなくてもよい場合はチェックする。	空欄可
④	文字数	画面表示時の文字数を入力する。	20
⑤	属性を追加	設定の内容で属性を追加する。	
⑥	キャンセル	ダイアログを閉じる。	

8.6. 地物の登録

e コミマップのマップ画面から、項目、属性を入力した地物をマスタマップ上に配置する。凡例一覧から1つずつ登録する方法、一括して登録する方法がある

8.6.1. 一つずつ地物を登録

- 凡例一覧から、地物を登録したい項目の右側の水色のマークを押下し「情報を登録」を選択する。

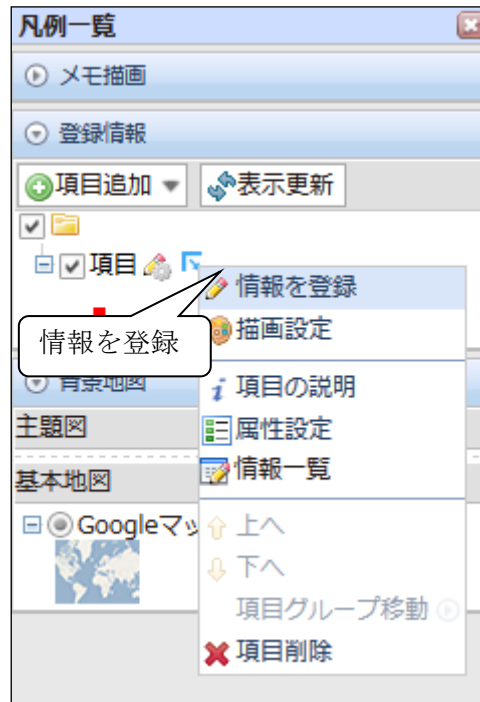


図 8-35 地図画面：「情報を登録」の選択

- 項目の形状により点、線、面の三種類毎に分かれるので各々設定を行う。
点：画面中央に赤矢印が配置されるので、赤矢印をドラッグしたまま登録する位置までドラッグして移動する。

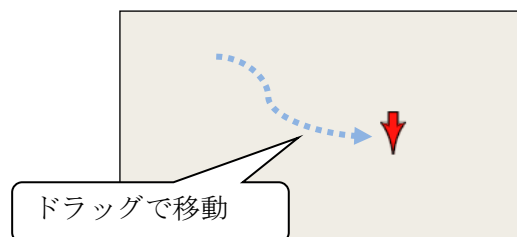


図 8-36 地図画面：点の登録

線：線の角をクリックして描く。最後の頂点でダブルクリックして描画を止める。赤い矢印を押下したまま移動することによって線は微調整できる。

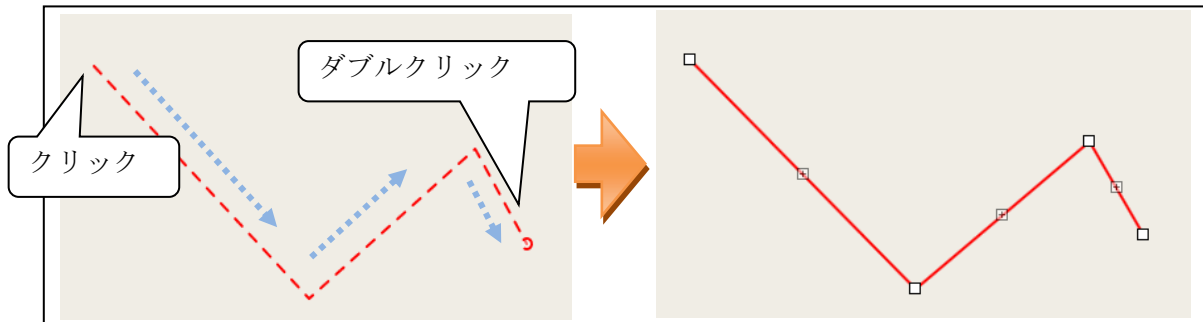


図 8-37 地図画面：線の登録

面：頂点をクリックして面を描く。最後の頂点でダブルクリックして確定します。面を囲む線は微調整できる。

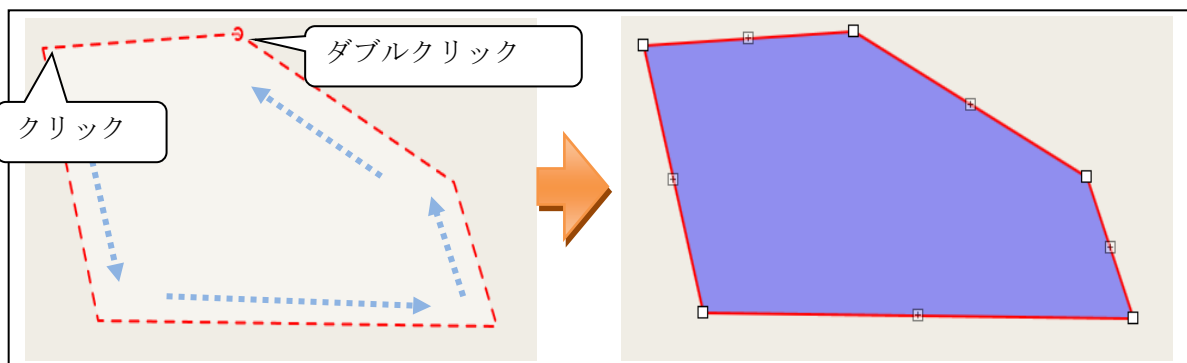


図 8-38 地図画面：面の登録

- 表示される属性を入力し「情報登録」を押下する。

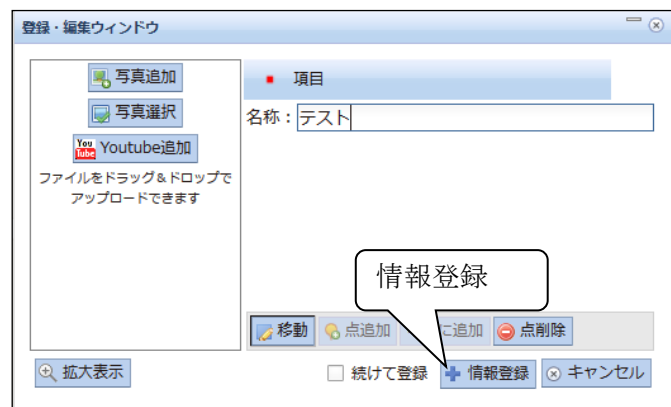


図 8-39 地図画面：「登録・編集ウィンドウ」

- 地物が登録される。

8.6.2. 一括して地物を登録

予め表形式の情報を用意する。

8.6.2.1 データの一括登録

- 画面下部の「情報一覧」を選択する。「項目」のドロップダウンリストから、地物を登録したい項目を選択する。



図 8-40 地図画面：「情報一覧」

- 「高度な処理」から「一括登録」を選択する。「データ一括登録」のダイアログボックスが開く。

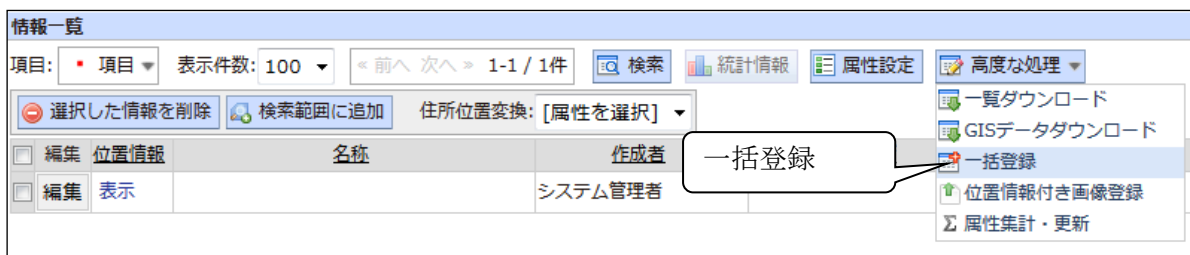


図 8-41 地図画面：「一括登録」の選択

- タブ「テキスト登録」で「登録する項目」のドロップダウンリストから項目を選択する。表形式の情報をコピーして、枠に貼りつける。

データー一括登録

テキスト登録 アップロード

登録する項目: 項目 登録する項目

データ区切り文字: ☒ タブ ☐ カンマ 文字列の引用符: "

登録する一覧データのテキストを貼り付けてください。

名称 住所 区分

〇〇研究所 茨城県つくば市天王台3-1 研究施設

△△研究所 茨城県つくば市天王台3-2 研究施設

◇◇研究所 茨城県つくば市天王台3-3 研究施設

××研究所 茨城県つくば市天王台3-4 研究施設

〇〇病院 茨城県つくば市天王台3-5 病院

△△医院 茨城県つくば市天王台3-6 病院

◇◇クリニック 茨城県つくば市天王台3-7 病院

〇〇銀行つくば支店 茨城県つくば市天王台3-8 銀行

△△銀行つくば支店 茨城県つくば市天王台3-9 銀行

××銀行つくば支店 茨城県つくば市天王台3-10 銀行

プレビューで確認

	A	B	C
1	名称	住所	区分
2	〇〇研究所	茨城県つくば市天王台3-1	研究施設
3	△△研究所	茨城県つくば市天王台3-2	研究施設
4	◇◇研究所	茨城県つくば市天王台3-3	研究施設
5	××研究所	茨城県つくば市天王台3-4	研究施設
6	〇〇病院	茨城県つくば市天王台3-5	病院
7	△△医院	茨城県つくば市天王台3-6	病院
8	◇◇クリニック	茨城県つくば市天王台3-7	病院
9	〇〇銀行つくば支店	茨城県つくば市天王台3-8	銀行
10	△△銀行つくば支店	茨城県つくば市天王台3-9	銀行
11	××銀行つくば支店	茨城県つくば市天王台3-10	銀行

図 8-42 地図画面：「データー一括登録」ダイアログ

- プレビューで確認し、「データ登録」「OK」を押下する。

8.6.2.2 位置情報の取得

- 「情報一覧」の「項目」のドロップダウンリストから位置情報を取得したい項目を選択する。

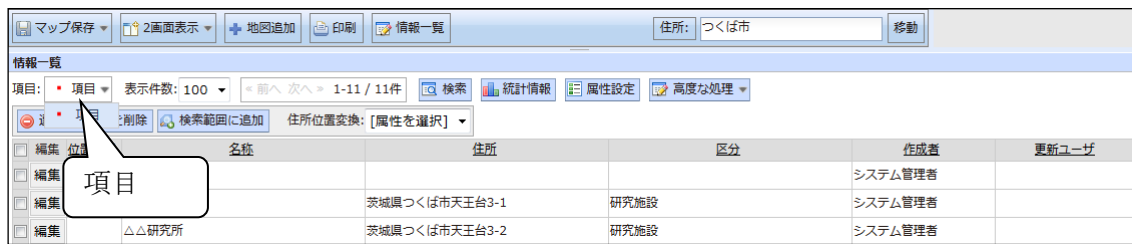


図 8-43 地図画面：「情報一覧」>「項目」の選択

- 「編集」の左のチェックボックスにチェックを入れ、「住所位置変換」のドロップダウンリストから住所の記載されている属性を選択する。



図 8-44 地図画面：「住所位置変換」の属性設定

- 「位置確認」を押下する。位置情報が取得される。



図 8-45 地図画面：「位置確認」の押下

- 「一括登録」を押下する。「位置情報」の欄に「表示」という文字が表示されれば、正常に処理が完了している。

登録された項目

一括登録

位置情報が登録されると、「位置情報」に「表示」の文字が表示される

編集	位置情報	名称	住所	区分	作成者	更新ユーザ
編集	表示	〇〇研究所	茨城県つくば市天王台3-1	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	△△研究所	茨城県つくば市天王台3-2	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	◇◇研究所	茨城県つくば市天王台3-3	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	××研究所	茨城県つくば市天王台3-4	研究施設	システム管理者	システム管理者
編集	表示	〇〇病院	茨城県つくば市天王台3-5	病院	システム管理者	システム管理者
編集	表示	△△医院	茨城県つくば市天王台3-6	病院	システム管理者	システム管理者
編集	表示	◇◇クリニック	茨城県つくば市天王台3-7	病院	システム管理者	システム管理者
編集	表示	〇〇			システム管理者	システム管理者
編集	表示	△△			システム管理者	システム管理者
編集	表示	××			システム管理者	システム管理者

図 8-46 地図画面：「一括登録」の押下

9. 問い合わせ先

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

レジリエント防災・減災研究推進センター

E メールアドレス：support_cloud@bosai.go.jp

住所：〒305-006 茨城県つくば市天王台 3-1

<http://ecom-plat.jp/k-cloud/>